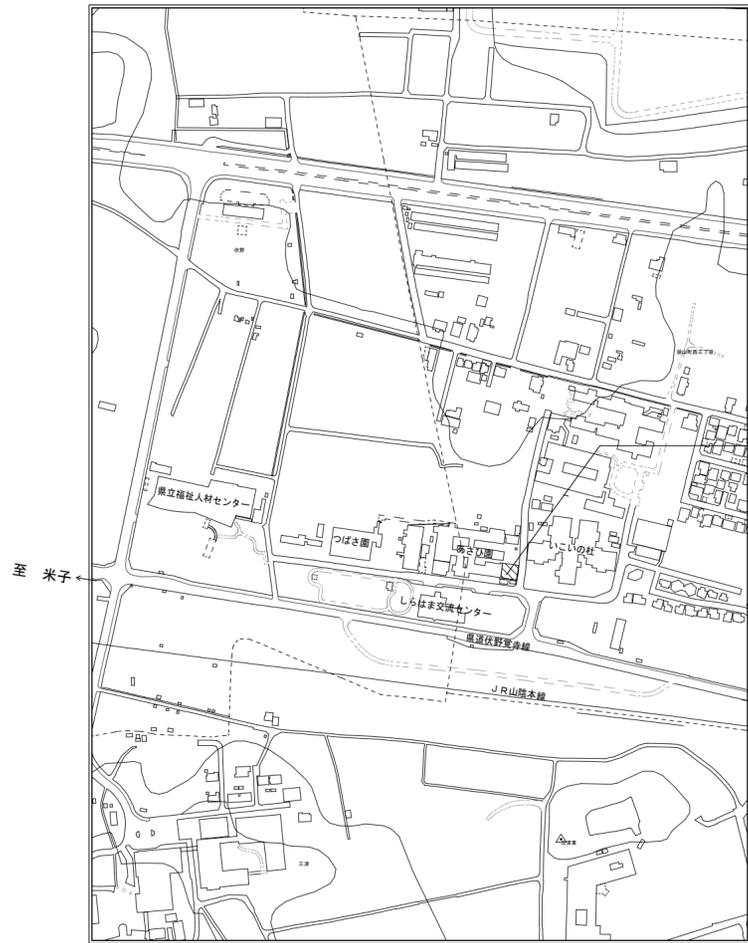


伏野つばさ園パン工房改修工事

図面番号	図面名称
A - 1	配置図・付近見取図
A - 2	仕上表
A - 3	改修前・改修後 平面図
A - 4	改修前・改修後 矩計図 1
A - 5	改修前・改修後 矩計図 2
A - 6	改修前 展開図 1
A - 7	改修前 展開図 2
A - 8	改修前 展開図 3・家具詳細図
A - 9	改修後 展開図 1
A - 10	改修後 展開図 2・家具詳細図
A - 11	改修前・改修後 天井伏図
A - 12	改修前・改修後 建具キープラン
A - 13	改修前・改修後 建具表
A - 14	改修前・改修後 立面図・詳細図
A - 15	【参考】はまなす園位置図・配置図
E - 1	電気設備工事仕様書(1)
E - 2	電気設備工事仕様書(2)
E - 3	既設分電盤改修結線図(1)・新設動力盤結線図・参考姿図
E - 4	既設分電盤改修結線図(2)・照明器具参考姿図
E - 5	幹線・一般動力設備平面図撤去参考図
E - 6	厨房動力設備平面図撤去参考図
E - 7	電灯設備平面図撤去参考図
E - 8	コンセント設備平面図撤去参考図
E - 9	通信・情報設備平面図撤去参考図
M - 1	機械設備工事特記仕様書(1)
M - 2	機械設備工事特記仕様書(2)
M - 3	機械設備工事 冷暖房設備 改修前・改修後 機器表
M - 4	機械設備工事 冷暖房設備 改修前・改修後 平面図
M - 5	機械設備工事 換気設備 改修前・改修後 機器表
M - 6	機械設備工事 換気設備 改修前・改修後 平面図
M - 7	機械設備工事 給排水衛生設備 改修前・改修後 平面図

株式会社 白兔設計事務所



工事場所：鳥取市湖山町西三丁目113-1

至鳥取市

見取図

I. 工事概要

1. 工事場所 鳥取市湖山町西三丁目113-1
2. 敷地面積 - m²
3. 地域地区 都市計画地域 (○内・外) 市街化調整区域 (○内・外) 用途地域 () 防火地域 ()
4. 建物概要

番号	名称	工事種別	構造	階数	延べ面積 (m ²)
1	障害者福祉センター伏野つばさ園	改修	鉄骨造	平屋	130.24m ²

完成写真 下記ものを監督職員に提出する。

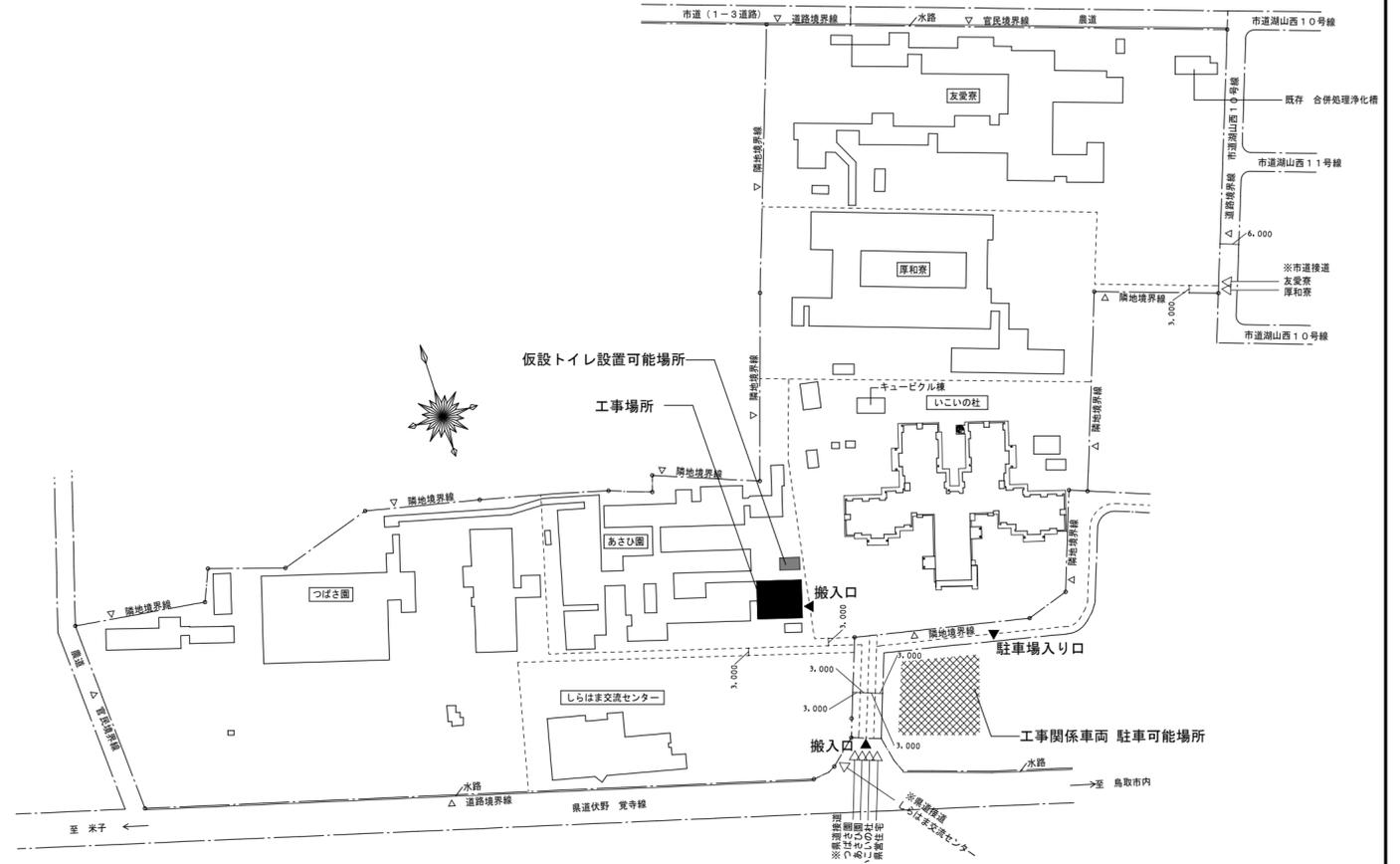
区分	分類・規格	撮影箇所	部数	備考
※ 工事記録写真	カラーサービス判	各工種の工程毎	1部	
※ 完成写真	カラーサービス判	○ 内部 20箇所 ・ 外部 箇所	2部	

完成時の提出図書 下記ものを監督職員に提出する

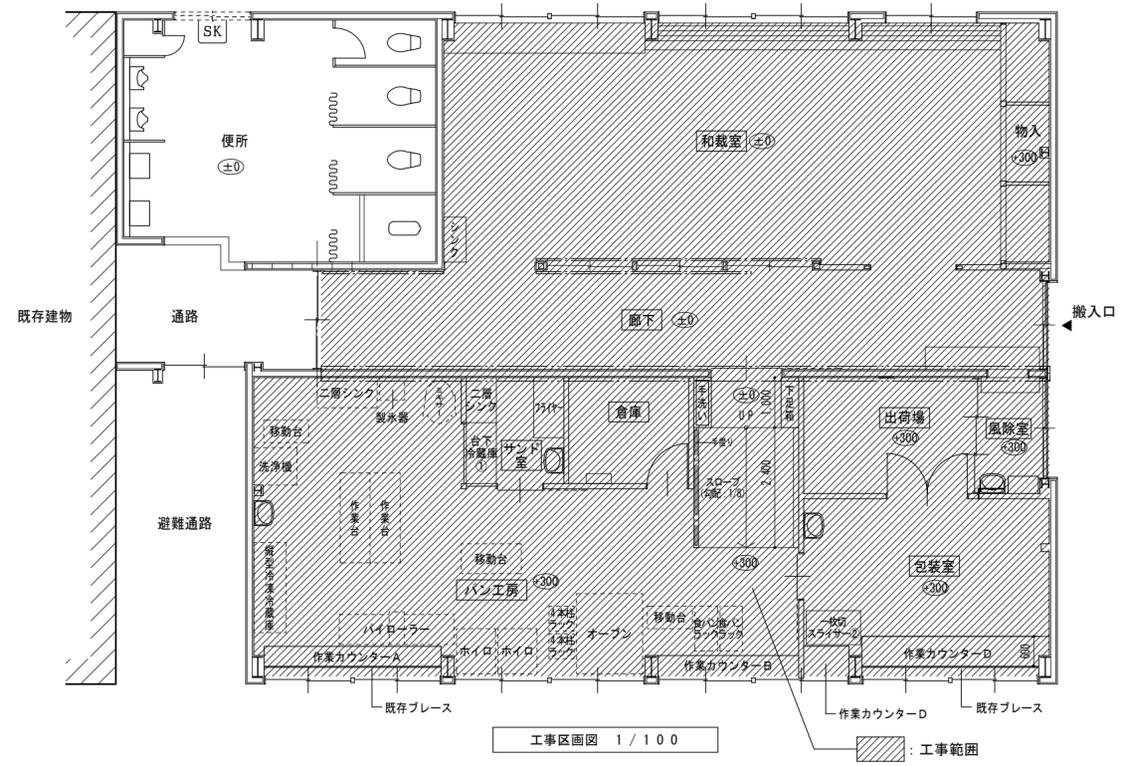
- ※ 原図 A1 版又は A2 版 1部
- ※ CADデータ 1式
- ※ 原図の大型コピー (白抜) の2つ折製本 2部
- ※ 縮小版2つ折製本 (A4版) 2部

完成図の種類及び内容 (改修前後の状態が分かるように整備する) ○設計図書全て

- ・ 案内図・配置図：配置図には外構整備、屋外給排水系統図含む
- ・ 改修概要図：改修概要、部位等を表示する
- ・ 平面図：室名、耐震壁 (防火壁)、避難施設等を表示する
- ・ 立面図：外壁仕上、補修範囲等を表示する
- ・ 断面図：階高、天井高等を表示する
- ・ 仕上表：屋外、屋内 (各階) の仕上表を表示する
- ・ 原図ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼付する



配置図 S=1/2000



工事区画図 1/100

伏野つばさ園パン工房改修工事

案内図・配置図

CHECKED BY.

株式会社 白兔設計事務所

鳥取県知事 登録番号 第05-142
管理建築士 (一級建築士登録番号 202791) 萩田 浩明

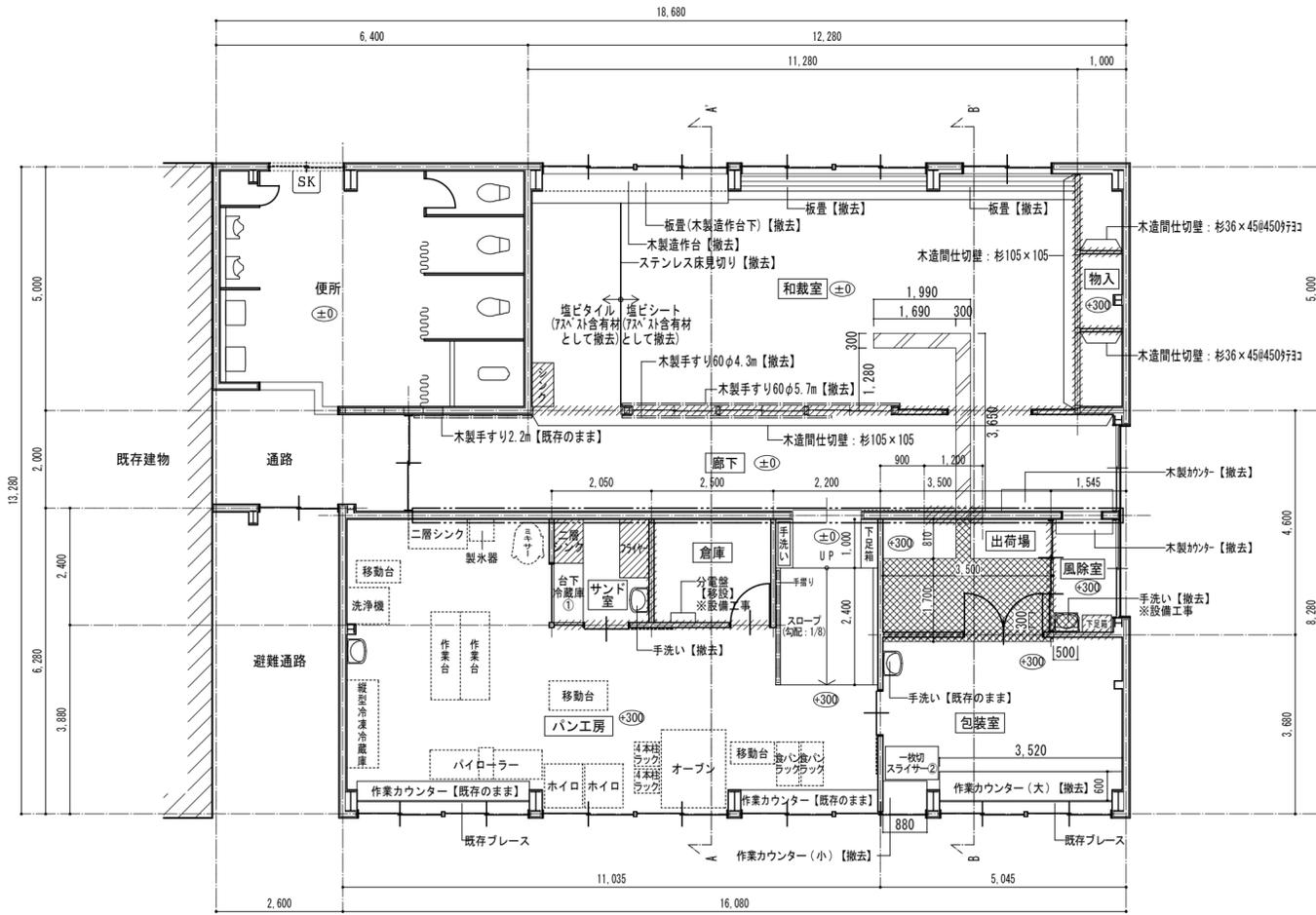
PROJECT NO	DATE	DRAWING BY.
2024-28	2024.12	二級建築士登録番号 第4438号 加賀田 ゆかり
DRAWING NO	SCALE	
A-1	A2:1/2000 A3:1/2820	

工事概要	外部仕上表	特記事項
・サンド室、倉庫、パン工房 → 食パン冷却庫、パン工房	屋根 長尺カラー鉄板瓦葺き【既存のまま】	○図面に記載されていない事項は、次による。
→間仕切り壁撤去、補修、建具新設	外壁 角波カラー鉄板（ビス止め）【一部SOP塗装】 付柱【新設】	・国土交通省大臣官房官丁営繕部監修・公共建築工事標準仕様書（建築工事編・令和4年度版）、
・包装室、出荷場、風除室 → 菓子工房	庇 長尺カラー鉄板平葺き【既存のまま】	公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編・令和4年度版）による。
→間仕切り壁撤去、補修、建具新設	軒天 石綿板5t A-EMP塗装 LGS下地【既存のまま】	・改修工事に関わる改修工事範囲以外の既存仕上の撤去跡で特記無きはすべて、同材復旧とする。
・和裁室、物入、廊下 → 倉庫、パン包装スペース、菓子包装スペース、販売スペース、廊下	樋 塩ビ製100φ、120φ【既存のまま】 応用：塩ビ製90φ、75φ【既存のまま】	・ホルムアルデヒド発散材料については、JIS・JAS規格によるF☆☆☆☆表示及びF☆☆☆☆に準ずる
→間仕切り壁撤去、新設、建具新設、内装改修	換気口 小屋裏：アルミ製ガラリ500×300【既存のまま】 壁面：塩ビ50φ	大臣認定表示等のあるものとする。その他の材料に関しては、監督員と協議する事。
・はまなす園より厨房機器移設		・天井、壁の開口補強は建築工事とする。
		・和裁室のみなし7x6t含有材を撤去する際は適切な養生を行う

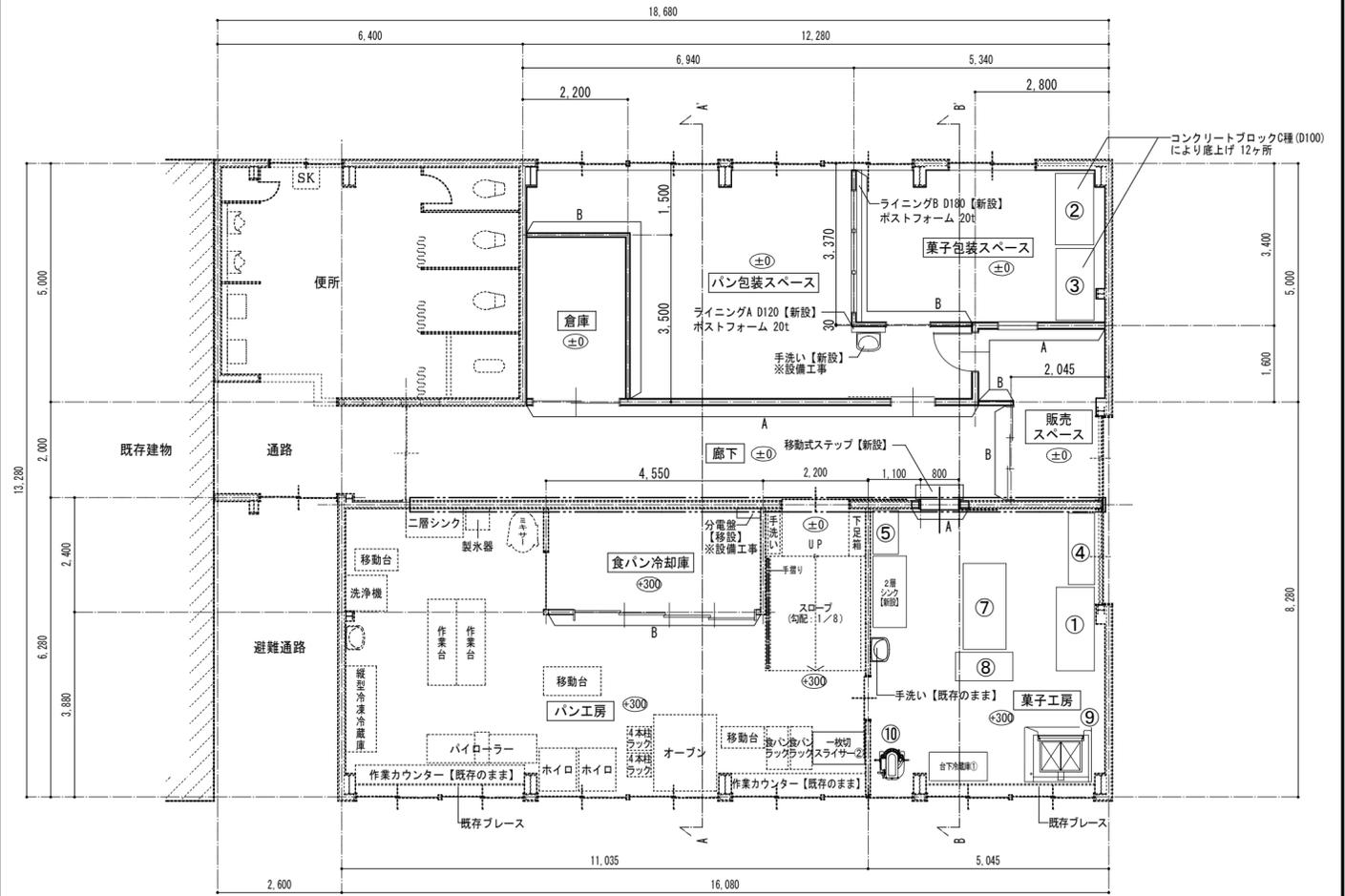
特記事項	使用材料については、参考品番又は同等品以上とする。	EP-G塗り	つや有合成エマルジョンペイント 関西ペイント アレスエコクリーングロス仕上 QM-9816	長尺塩ビシート張りA	東リ フロアリウムブレーションNW
化粧PB9.5t	化粧石こうボード9.5mm QM-0524	SOP塗装	合成樹脂調合ペイント塗り QM-9816	長尺塩ビシート張りB	東リ フロアリウムウッドNW
ケイカル板6.0t	繊維混入ケイ酸カルシウム板6.0mm NM-8578	OS塗装（内部）	保護着色塗料 オスモカラー エキストラクリアー	耐水クロス	表面撥水加工付 東リ WVP8328程度
PB12.5t	石こうボード12.5mm NM-8619	OS塗装（外部）	保護着色塗料 オスモカラー ウッドステインプロテクター ウォルナット	ステンレス板	0.6t SUS304
PB9.5t	石こうボード9.5mm NM-9828	塗床	合成樹脂系床仕上材 ABC商会 ケミクリートE防滑工法	ブラックボード	馬印 W0EB34
硬質PB9.5t	硬質石こうボード9.5mm NM-9645	下地調整（7x6t撤去範囲）	樹脂モルタル 薄塗	床点検口	450角 アルミ枠
防火上主要な間仕切り	両面 硬質PB9.5t+PB12.5t 重ね張り + LGS100 小屋裏まで 防火上主要な間仕切り壁 H12建告1358	下地調整（一般部）	ケレン	移動式ステップ	箱型 W1,000 D300 H150 ランパーコア20t 珪砂塗装

区分	室名	床	巾木	腰壁	壁	天井	廻り縁	床高	天井高	備考
改修前	パン工房	塗床仕上【一部撤去】 コンクリート金コテ押え下地【既存のまま】	塗床仕上 H100【既存のまま】	ステンレス板0.6t貼り（FL+1,000まで）【一部撤去】 ケイカル板6.0t下地【一部撤去】	EP-G塗り【一部撤去】 ケイカル板6.0t下地【一部撤去】	化粧PB9.5t張り 455×910【一部撤去】	塩ビ廻り縁【一部撤去】	FL+300 一部FL±0	CH=2,700 一部CH=3,000	
改修後	パン工房	塗床仕上【一部新設】 コンクリート金コテ押え下地【下地調整】	塗床仕上 H100【既存のまま】	ステンレス板0.6t貼り（FL+1,000まで）【一部新設】 ケイカル板6.0t下地【一部新設】	EP-G塗り【一部新設】 ケイカル板6.0t下地【一部新設】	化粧PB9.5t張り 455×910【一部新設】	塩ビ廻り縁【一部新設】	FL+300 一部FL±0	CH=2,700 一部CH=3,000	
改修前	サンド室	塗床仕上【既存のまま】 コンクリート金コテ押え下地【既存のまま】	塗床仕上 H100【一部撤去】	ステンレス板0.6t貼り（FL+1,000まで）【撤去】 ケイカル板6.0t下地【一部撤去】	EP-G塗り【一部撤去】 ケイカル板6.0t下地【一部撤去】	化粧PB9.5t張り 455×910【撤去】	塩ビ廻り縁【撤去】	FL+300	CH=2,400	
	倉庫	塗床仕上【既存のまま】 コンクリート金コテ押え下地【既存のまま】	塗床仕上 H100【一部撤去】	EP-G塗り【一部撤去】 ケイカル板6.0t下地【一部撤去】	EP-G塗り【一部撤去】 ケイカル板6.0t下地【一部撤去】	化粧PB9.5t張り 455×910【撤去】	塩ビ廻り縁【撤去】	FL+300	CH=2,400	
改修後	食パン冷却庫	塗床仕上【壁撤去部新設】 コンクリート金コテ押え下地【既存のまま】	塗床仕上 H100【壁撤去部新設】	EP-G塗り【一部新設】 ケイカル板6.0t下地【一部新設】	EP-G塗り【一部新設】 ケイカル板6.0t下地【一部新設】	化粧PB9.5t張り 455×910【新設】	塩ビ廻り縁【新設】	FL+300	CH=2,400	
改修前	包装室	塗床仕上【既存のまま】 コンクリート金コテ押え下地【既存のまま】	塗床仕上 H100【一部撤去】	ステンレス板0.6t貼り（FL+1,000まで）【一部撤去】 ケイカル板6.0t下地【一部撤去】	EP-G塗り【一部撤去】 ケイカル板6.0t下地【一部撤去】	化粧PB9.5t張り 455×910【撤去】	塩ビ廻り縁【撤去】	FL+300	CH=2,400	
	出荷場	塗床仕上【一部撤去】 コンクリート金コテ押え下地【既存のまま】	塗床仕上 H100【一部撤去】	EP-G塗り【一部撤去】 ケイカル板6.0t下地【一部撤去】	EP-G塗り【一部撤去】 ケイカル板6.0t下地【一部撤去】	化粧PB9.5t張り 455×910【撤去】	塩ビ廻り縁【撤去】	FL+300	CH=2,400	
	風除室	塗床仕上【既存のまま】 コンクリート金コテ押え下地【既存のまま】	塗床仕上 H100【一部撤去】	EP-G塗り【一部撤去】 ケイカル板6.0t下地【一部撤去】	EP-G塗り【一部撤去】 ケイカル板6.0t下地【一部撤去】	化粧PB9.5t張り 455×910【撤去】	塩ビ廻り縁【撤去】	FL+300	CH=2,400	
改修後	菓子工房	塗床仕上【一部新設】 コンクリート金コテ押え下地【既存のまま】	塗床仕上 H100【一部新設】	ステンレス板0.6t貼り（FL+1,000まで）【一部新設】 ケイカル板6.0t下地【一部新設】	EP-G塗り【一部新設】 ケイカル板6.0t下地【一部新設】	化粧PB9.5t張り 455×910【新設】	塩ビ廻り縁【新設】	FL+300	CH=2,400	
改修前	和裁室	塩ビタイル2.5t 接着剤共（7x6t含有材 レベル3）【撤去】 塩ビシート2.5t 接着剤共（7x6t含有材 レベル3）【撤去】 コンクリート金コテ押え下地【既存のまま】	塩ビ巾木 H100【撤去】 木巾木 H100【撤去】	じゅらく吹付（7x6t含有材 レベル3）【撤去】 PB12.0t下地（7x6t含有材 レベル3）【撤去】	じゅらく吹付【撤去】 PB12.0t下地【撤去】	化粧PB9.0t張り（杉柾柄）【撤去】	木製廻り縁 36×55【撤去】	FL±0	CH=3,000	板畳・木製作作台【撤去】 木製手すり60φ【撤去】
	物入	ラワン合板5.5t【撤去】 杉60×60@450下地【撤去】 根太 杉60×90【撤去】 コンクリート金コテ押え下地【既存のまま】	-	ラワン合板3.0t【撤去】 杉45×36@450下地【既存のまま】	ラワン合板3.0t【撤去】 杉45×36@450下地【撤去】	ラワン合板3.0t【撤去】	木製廻り縁 杉36×36【撤去】	FL+300	CH=2,300	
	廊下	長尺塩ビシート貼り2.5t【撤去】 コンクリート金コテ押え下地【既存のまま】	塩ビ巾木 H60【一部撤去】	ビニルクロス貼り【一部撤去】 防火上主要な間仕切壁下地【一部撤去】 PB12.0t下地 + 杉18×45@450下地【撤去】	ビニルクロス貼り【一部撤去】 防火上主要な間仕切壁下地【一部撤去】 PB12.0t下地 + 杉18×45@450下地【撤去】	化粧PB9.5t張り 455×910【一部撤去】	塩ビ廻り縁【一部撤去】	FL±0	CH=2,700	木製手すり60φ【撤去】
	倉庫	長尺塩ビシート貼りA2.0t【新設】 コンクリート金コテ押え下地【下地調整】	塩ビ巾木 H100【新設】	ビニルクロス貼り【新設】 防火上主要な間仕切壁下地【新設】 PB12.5t下地【新設】	ビニルクロス貼り【新設】 防火上主要な間仕切壁下地【新設】 PB12.5t下地【新設】	化粧PB9.5t張り 910×910【新設】	塩ビ廻り縁【新設】	FL±0	CH=3,000	
改修後	パン包装スペース	長尺塩ビシート貼りA2.0t【新設】 コンクリート金コテ押え下地【下地調整】	塩ビ巾木 H100【新設】	耐水ビニルクロス張り【新設】 防火上主要な間仕切壁下地【新設】 PB12.5t下地【新設】	耐水ビニルクロス張り【新設】 防火上主要な間仕切壁下地【新設】 PB12.5t下地【新設】	化粧PB9.5t張り 910×910【新設】	塩ビ廻り縁【新設】	FL±0	CH=3,000	
	菓子包装スペース	長尺塩ビシート貼りA2.0t【新設】 コンクリート金コテ押え下地【下地調整】	塩ビ巾木 H100【新設】	耐水ビニルクロス張り【新設】 防火上主要な間仕切壁下地【新設】 PB12.5t下地【新設】	耐水ビニルクロス張り【新設】 防火上主要な間仕切壁下地【新設】 PB12.5t下地【新設】	化粧PB9.5t張り 910×910【新設】	塩ビ廻り縁【新設】	FL±0	CH=3,000	
	販売スペース	長尺塩ビシート貼りB2.0t【新設】 コンクリート金コテ押え下地【下地調整】	木巾木12t（杉 OS塗装）H100【新設】	化粧杉羽目板 10.5t 120W 目透かし OS塗装（FL+975まで）【新設】 防火上主要な間仕切壁下地【新設】 PB12.5t下地【新設】	ビニルクロス貼り（一部貼り分け）【新設】 防火上主要な間仕切壁下地【新設】 PB12.5t下地【新設】	ビニルクロス貼り【新設】 PB9.5t下地【新設】	木製廻り縁【新設】	FL±0	CH=2,700	
廊下	長尺塩ビシート貼りA2.0t【新設】 コンクリート金コテ押え下地【下地調整】	塩ビ巾木 H60【既存のまま】	ビニルクロス貼り【一部新設】 防火上主要な間仕切壁下地【一部新設】 PB12.5t下地【新設】	ビニルクロス貼り【一部新設】 防火上主要な間仕切壁下地【一部新設】 PB12.5t下地【新設】	化粧PB9.5t張り 455×910【一部新設】	塩ビ廻り縁【一部新設】	FL±0	CH=2,700	移動式ステップ【新設】	

伏野つばさ園パン工房改修工事	CHECKED BY.					株式会社 白兔設計事務所	鳥取県知事 登録番号 第05-142	PROJECT NO	DATE	DRAWING BY.
							管理建築士（一級建築士登録番号 202791） 萩田 浩明	2024-28	2024.12	二級建築士登録番号 第4438号
								DRAWING NO	SCALE	加賀田 ゆかり
								A-2	-	
仕上表										



改修前平面図 1/100



改修後平面図 1/100

凡例

室名	改修する室を示す	※※※①	あさひ園パン工房内で移設する什器を示す
二層シンク	防火上主要な間仕切り壁：LGS100に両面PB12.5t+硬質PB9.5t重ね張り	---	既設手摺り
撤去壁範囲	撤去壁範囲（撤去高さは展開図を参照）※特記なき壁はLGS65下地 ※撤去壁の心から300程度の床、壁、天井仕上を撤去・新設とする	////	土間120t 撤去、復旧範囲 ハッチ部周囲100mmワイヤーメッシュはつり出し 復旧は土間コンクリートt120（F C 21 S L 15） 鉄筋ワイヤーメッシュ 6φ 150×150 一部 D10φ300
※※※	既存のままの什器を示す	□	二重床撤去範囲
※※※	撤去する什器を示す	■	

撤去・移設調理器具リスト

名称	区分	数量	大きさ(W×D×H)	備考
二層シンク	撤去	1	900×600×800	
フライヤー	撤去	1	700×600×1,000	
シンク	撤去	1	900×450×800	
台下冷蔵庫①	移設	1	1,200×600×800	
一本切りスライサー②	移設	1	680×1,090×1,565	

○二重床仕様
塗床仕上げ【撤去】
コンクリート金コ字下地【撤去】
コンクリート50~80 ワイヤーメッシュ6×150×150敷込【撤去】
キーストンプレート25h【撤去】
鋼製床下地組み（設計耐荷重【長期】900kg/m²）【既存再利用】

○床撤去・新設仕様
カッターによりコンクリート、ワイヤーメッシュ、キーストンプレートの撤去後、端部を清形鋼200×90×8 L=100φ450により端部補強を行う。
新設部分端部も同様に補強を行う。

凡例

室名	改修する室を示す	A	新設防火上主要な間仕切り壁（硬質PB9.5t+PB12.5t両面張り LGS100下地）範囲を示す
---	改修する部分を示す	B	新設間仕切り（PB12.5t両面張り LGS65下地）範囲を示す
.....	既存のままの部分を示す	※※※①	あさひ園パン工房内で移設する什器を示す
①	はまなす園から移設する什器を示す		

移設調理器具リスト

記号	名称	数量	大きさ(W×D×H)	備考
①	冷凍冷蔵庫	1	1,750×800×1,910	
②	冷凍冷蔵庫	1	1,500×800×1,910	
③	冷凍冷蔵庫	1	1,500×800×1,910	
④	コンロ台	1	1,500×550×800	
⑤	消毒保管庫	1	920×520×1,870	
⑦	作業台	1	1,800×900×800	
⑧	作業台	1	1,200×600×800	
⑨	オープン	1	1,200×600×1,700	
⑩	ミキサー	1	720×650×1,000	

伏野つばさ園パン工房改修工事

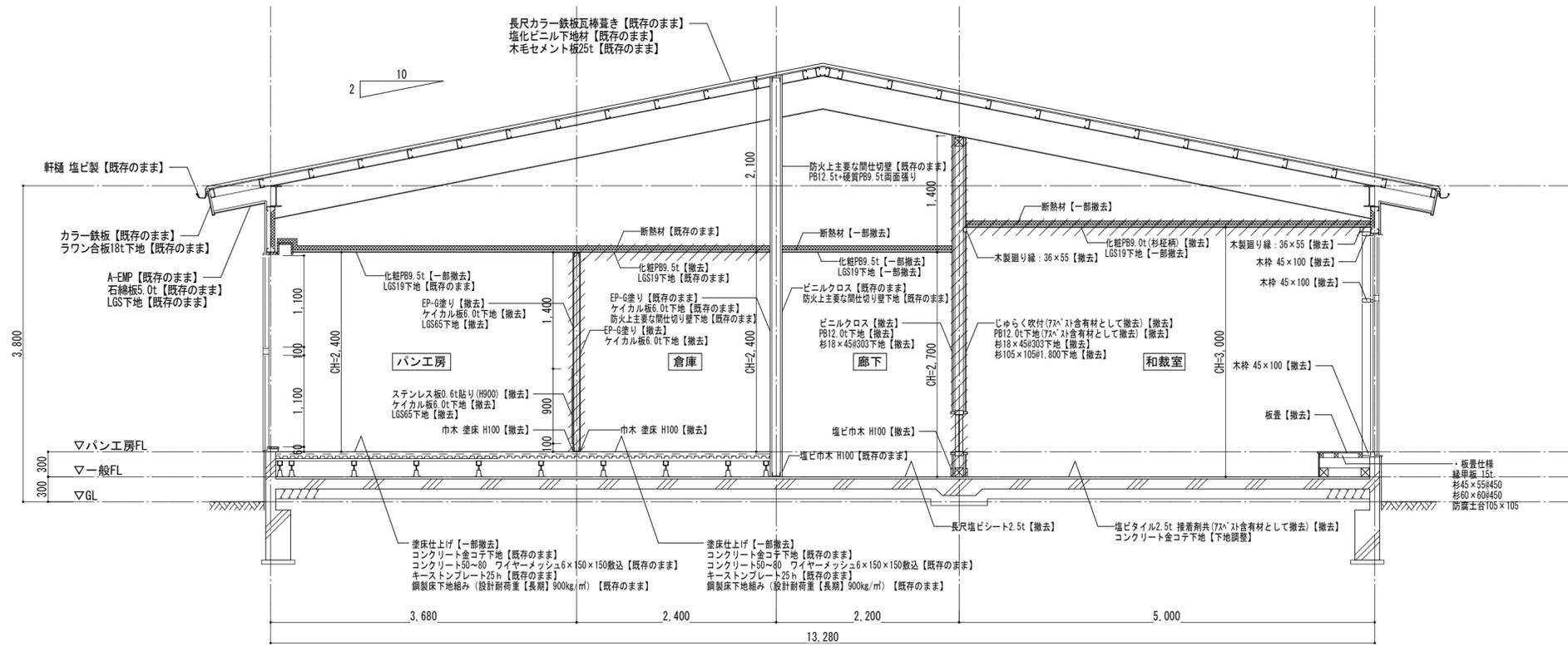
改修前・改修後 平面図

CHECKED BY.

株式会社 白兔設計事務所

鳥取県知事 登録番号 第05-142
管理建築士（一級建築士登録番号 202791） 藪田 浩明

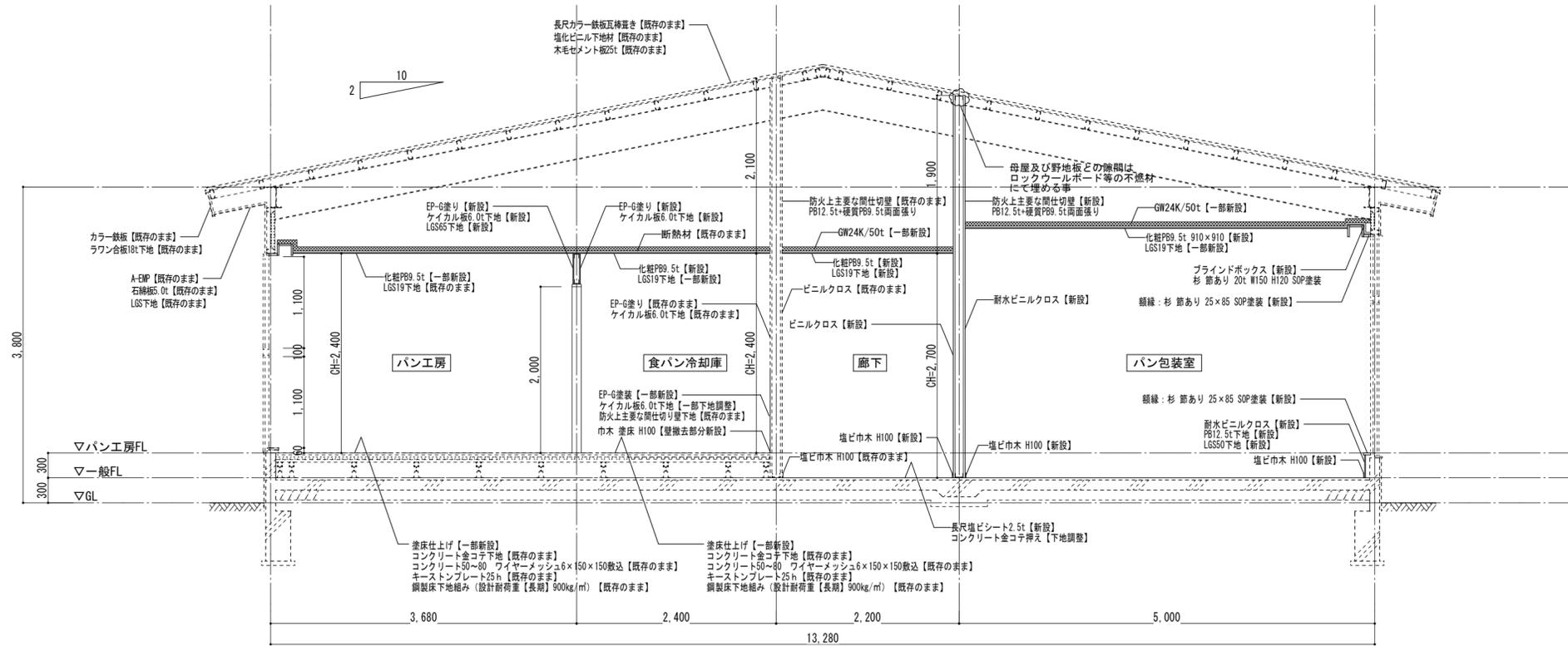
PROJECT NO	DATE	DRAWING BY.
2024-28	2024.12	二級建築士登録番号 第4438号 加賀田 ゆかり
DRAWING NO	SCALE	
A-3	A2:1/100 A3:1/141	



改修前矩計図A-A' 1/50

凡例

	RC部分を示す
	撤去範囲 ※撤去壁の心から300程度の床、壁、天井仕上を撤去・新設とする



改修後矩計図A-A' 1/50

凡例

	室名
	改修する室を示す
	RC部分を示す
	改修する部分を示す
	既存のままの部分を示す

伏野つばさ園パン工房改修工事
改修前・改修後 矩計図 1

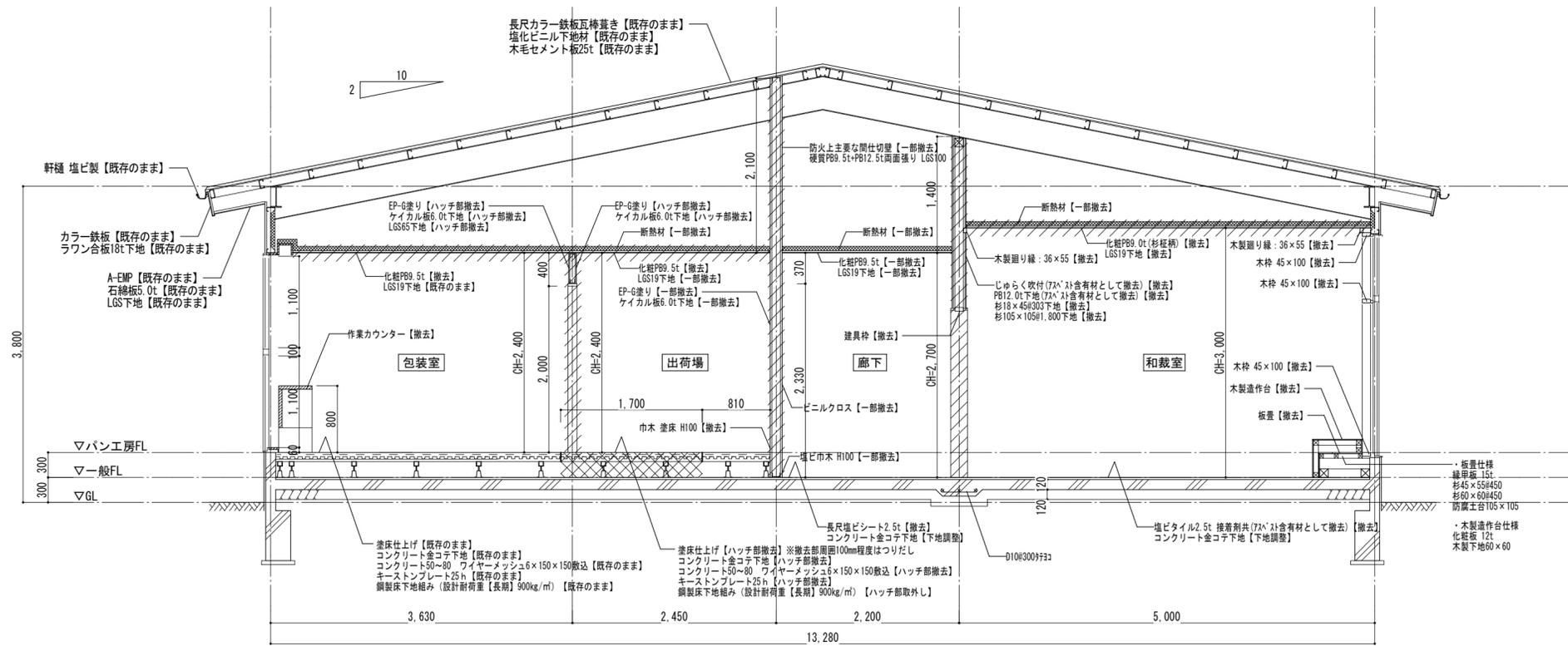
CHECKED BY.

--	--	--	--

株式会社 白兔設計事務所

鳥取県知事 登録番号 第05-142
管理建築士(一級建築士登録番号 202791) 萩田 浩明

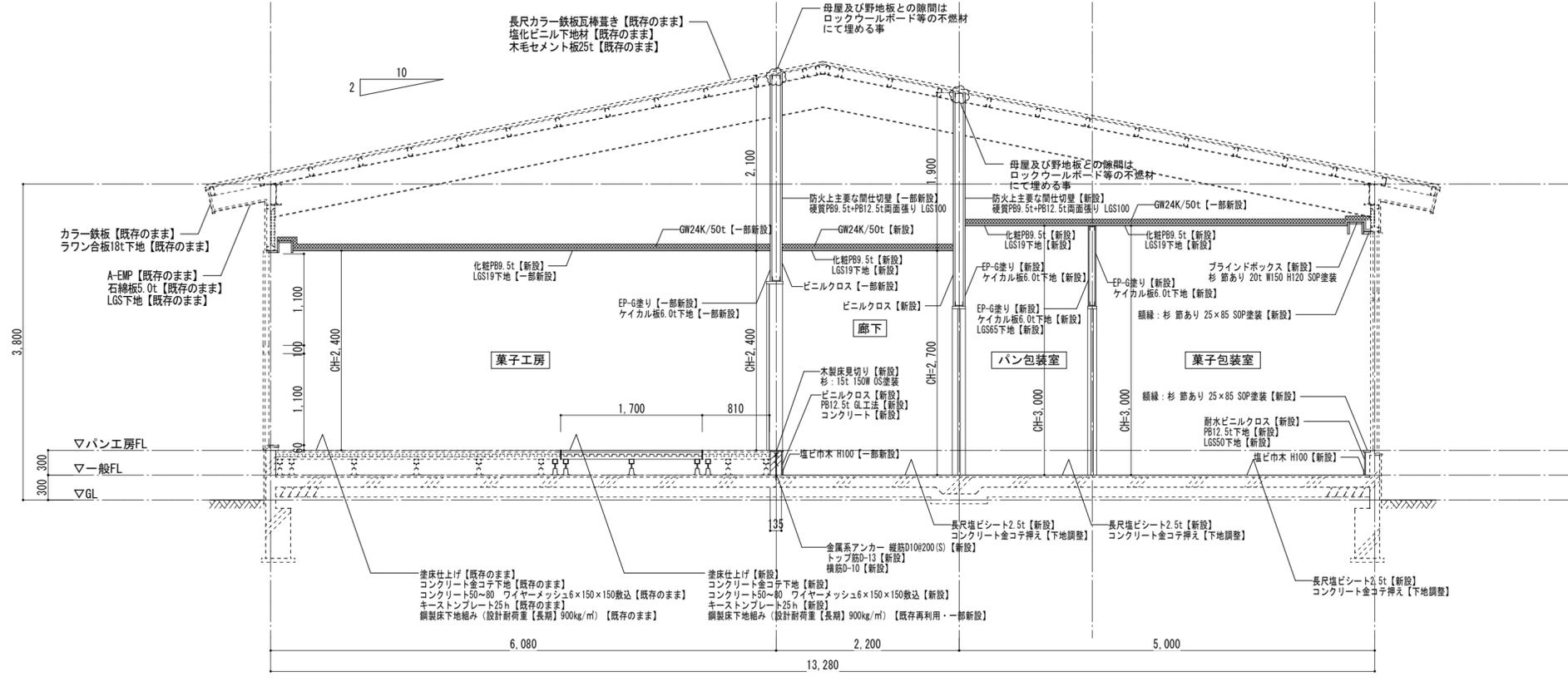
PROJECT. NO	DATE	DRAWING BY.
2024-28	2024. 12	二級建築士登録番号 第4438号 加賀田 ゆかり
DRAWING. NO	SCALE	
A-4	A2:1/50 A3:1/71	



改修前矩計図B-B' 1/50

凡例

室名	改修する室を示す
////	RC部分を示す



改修後矩計図B-B' 1/50

凡例

室名	改修する室を示す
////	RC部分を示す
---	改修する部分を示す
-----	既存のままの部分を示す

コンクリート仕様：FC21

伏野つばさ園パン工房改修工事
改修前・改修後 矩計図 2

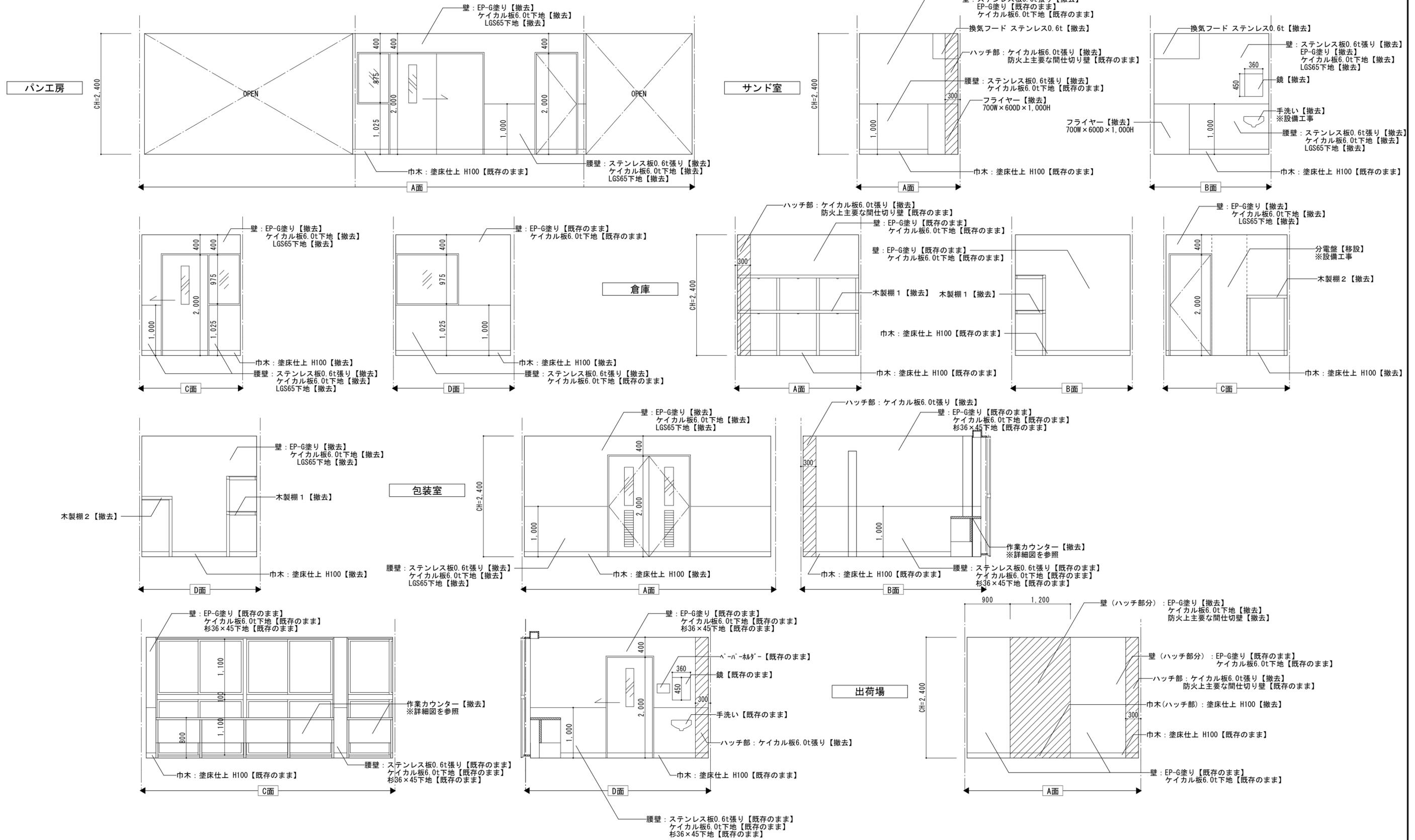
CHECKED BY.

--	--	--	--

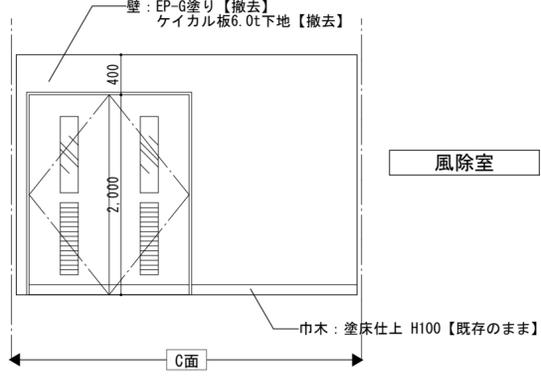
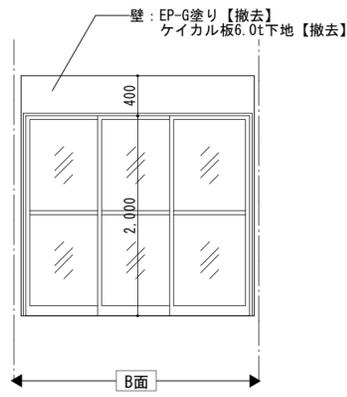
株式会社 白兔設計事務所

鳥取県知事 登録番号 第05-142
管理建築士（一級建築士登録番号 202791） 萩田 浩明

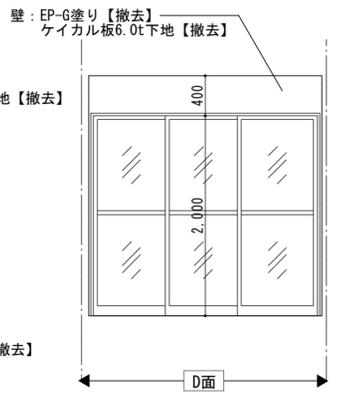
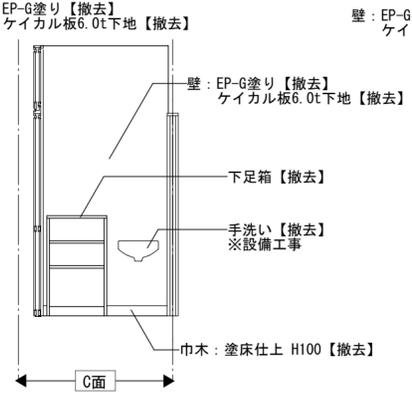
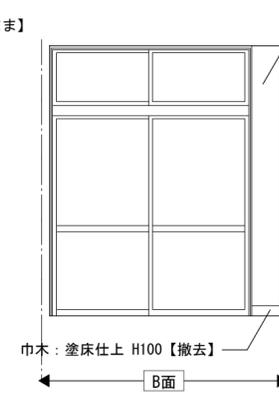
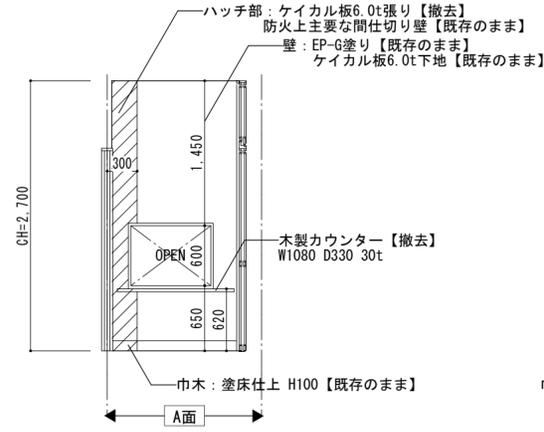
PROJECT NO	DATE	DRAWING BY.
2024-28	2024.12	二級建築士登録番号 第4438号 加賀田 ゆかり
DRAWING NO	SCALE	
A-5	A2:1/50 A3:1/71	



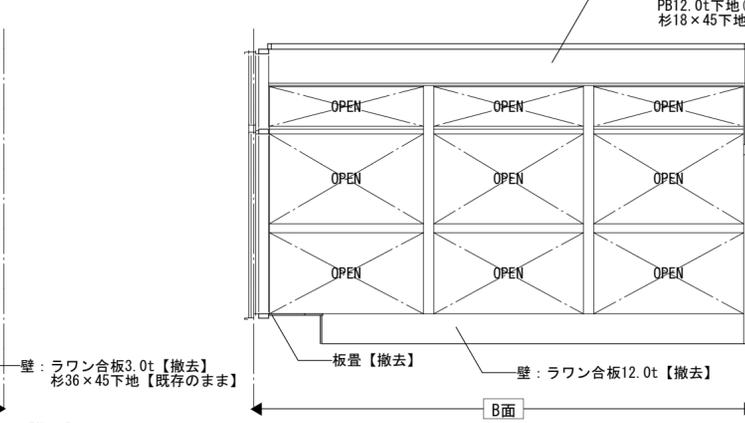
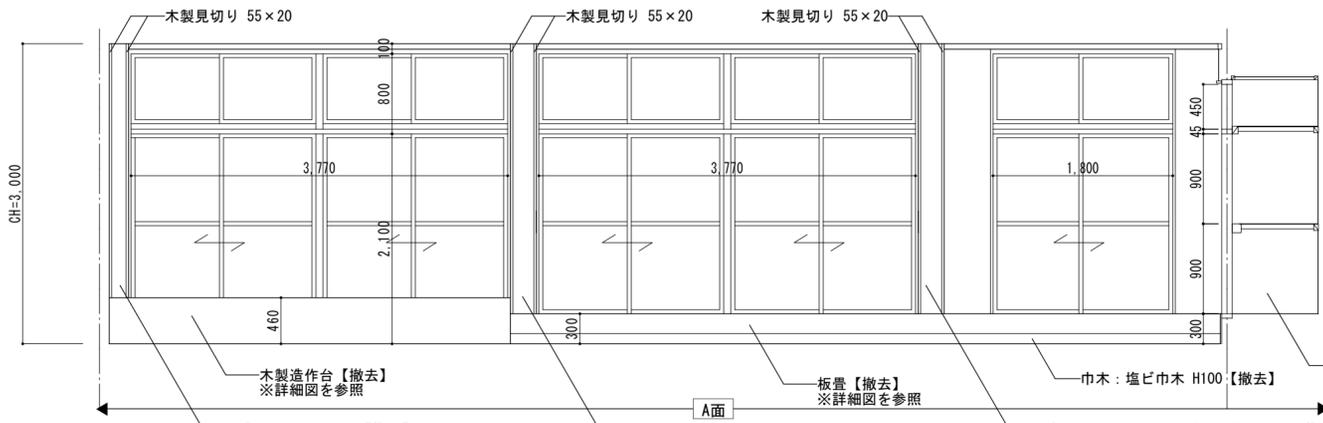
出荷場



風除室



和裁室・物入



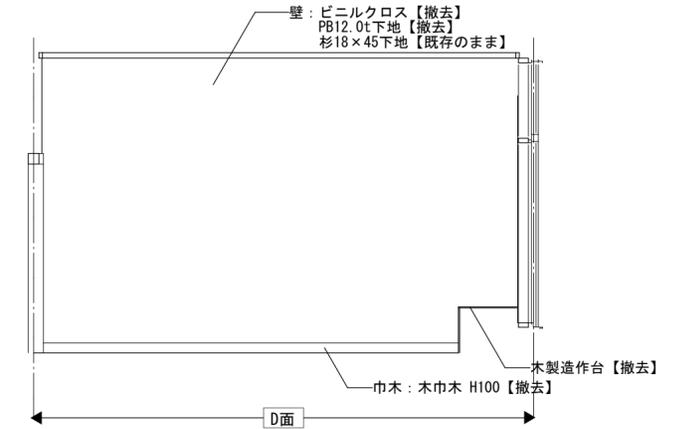
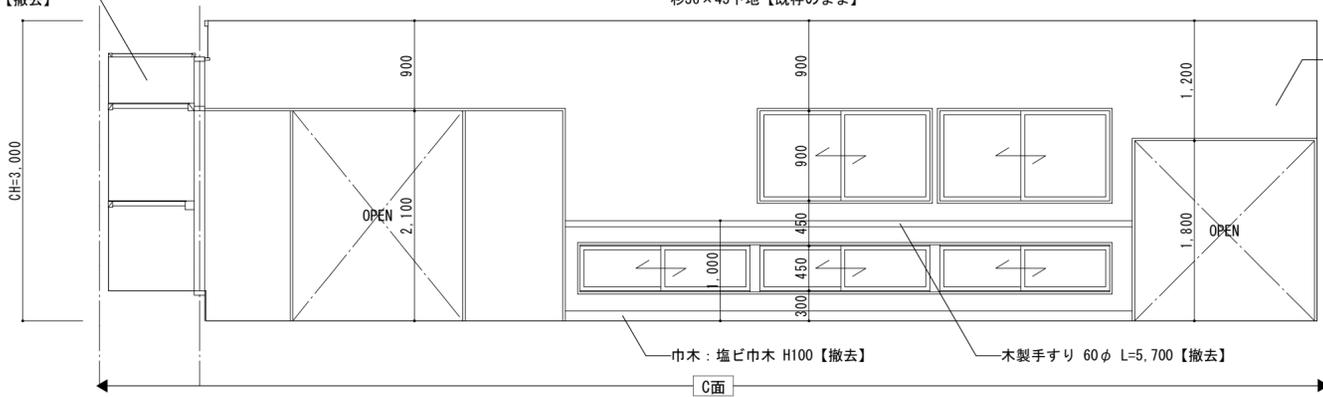
壁：ラワン合板3.0t【撤去】
杉18×45下地【撤去】

壁：じゅらく吹付【撤去】
PB12.0t下地【撤去】
杉36×45下地【既存のまま】

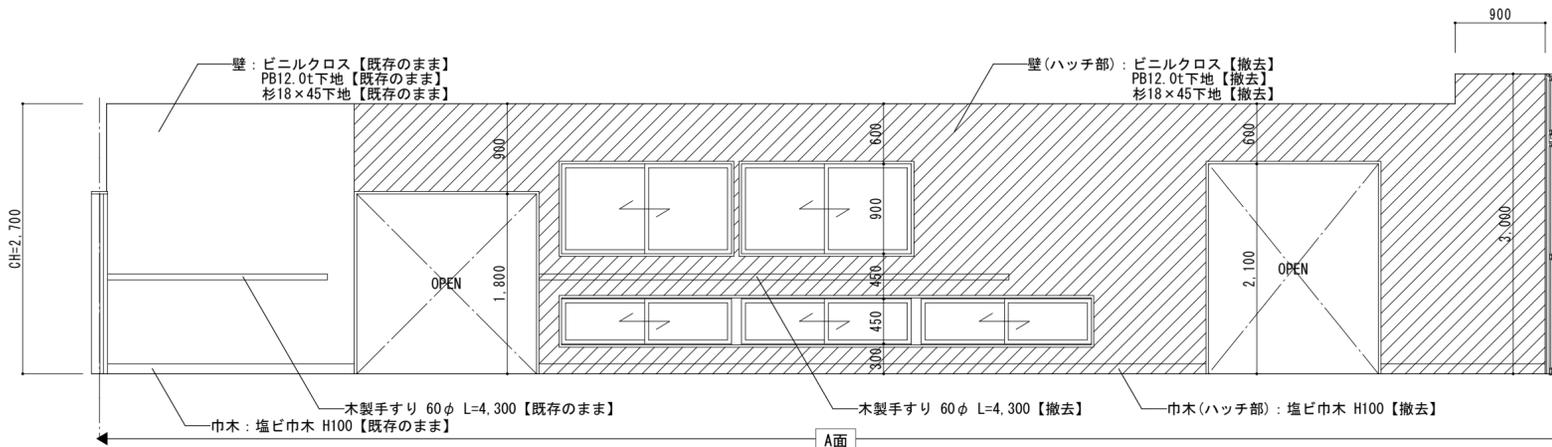
壁：じゅらく吹付【撤去】
PB12.0t下地【撤去】
杉36×45下地【既存のまま】

壁：じゅらく吹付(7ｽﾍﾞｽﾄ含有材として撤去)【撤去】
PB12.0t下地(7ｽﾍﾞｽﾄ含有材として撤去)【撤去】
杉36×45下地【既存のまま】

壁：じゅらく吹付(7ｽﾍﾞｽﾄ含有材として撤去)【撤去】
PB12.0t下地(7ｽﾍﾞｽﾄ含有材として撤去)【撤去】
杉18×45下地【撤去】



廊下



伏野つばさ園パン工房改修工事

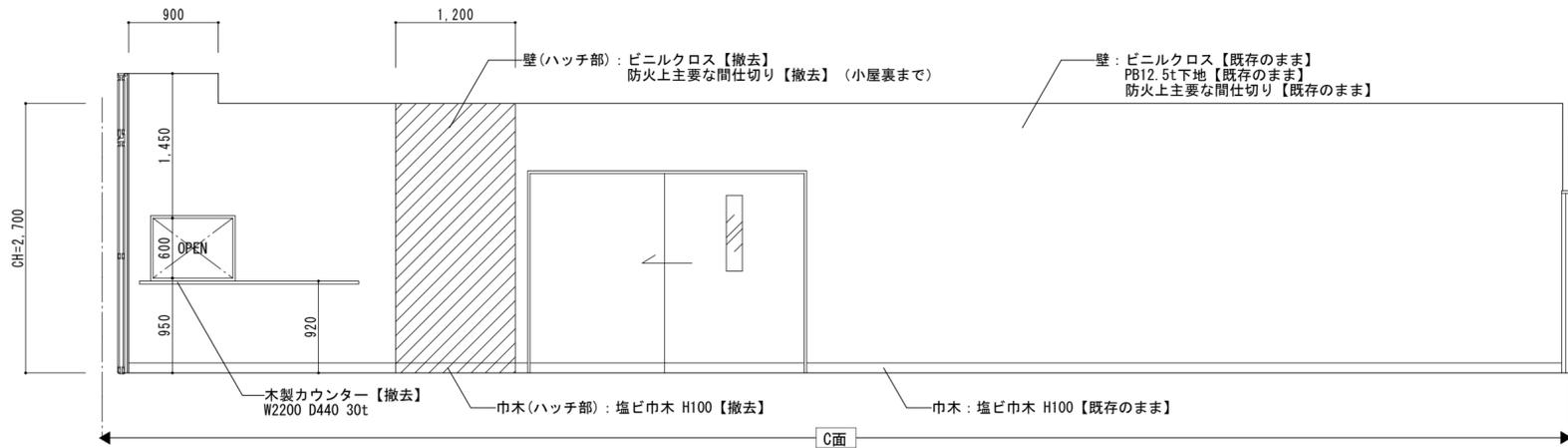
改修前 展開図 2

CHECKED BY.

株式会社 白兔設計事務所

鳥取県知事 登録番号 第05-142
管理建築士(一級建築士登録番号 202791) 萩田 浩明

PROJECT.NO	DATE	DRAWING BY.
2024-28	2024.12	二級建築士登録番号 第4438号 加賀田 ゆかり
DRAWING.NO	SCALE	
A-7	A2:1/50 A3:1/71	



撤去 家具詳細図 1/50

家具リスト			
<p>下足箱</p> <p>正面図 1/50</p> <p>下足入：ポリ合板 F P 2 5 t ※奥行=350</p>	<p>木製棚 1</p> <p>正面図 1/50</p> <p>断面図 1/50</p>	<p>木製棚 2</p> <p>正面図 1/50</p> <p>断面図 1/50</p>	<p>作業カウンター</p> <p>立面図</p> <p>側面図</p> <p>断面図</p> <p>作業カウンター：天板、側板、目隠し板 メラミン化粧板 F P 40 t 脚部300H 7 S U S 0.4 t 巻き 高さ調節用アジャスター付</p> <p>作業カウンター(大) W 880、D 600、H 800 作業カウンター(小) W 3,520、D 600、H 800</p>

伏野つばさ園パン工房改修工事

改修前 展開図 3・撤去家具詳細図

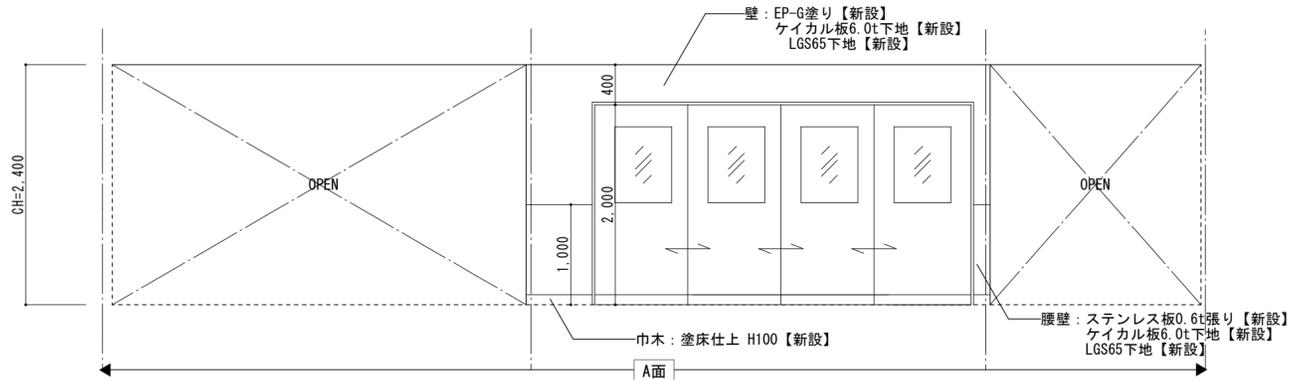
CHECKED BY.

株式会社 白兔設計事務所

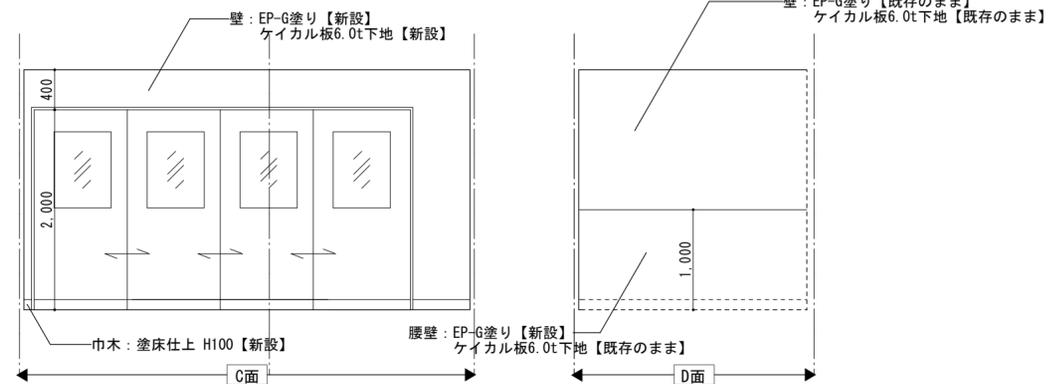
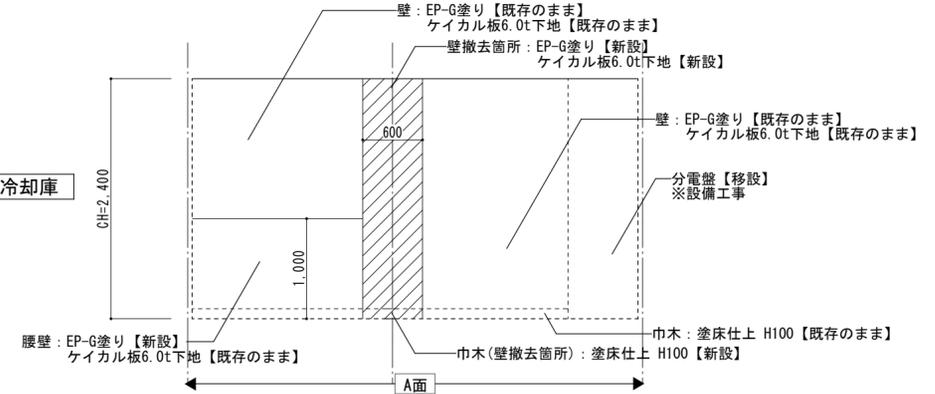
鳥取県知事 登録番号 第05-142
管理建築士(一級建築士登録番号 202791) 萩田 浩明

PROJECT. NO	DATE	DRAWING BY.
2024-28	2024.12	二級建築士登録番号 第4438号
DRAWING. NO	SCALE	加賀田 ゆかり
A-8	A2:1/50 A3:1/71	

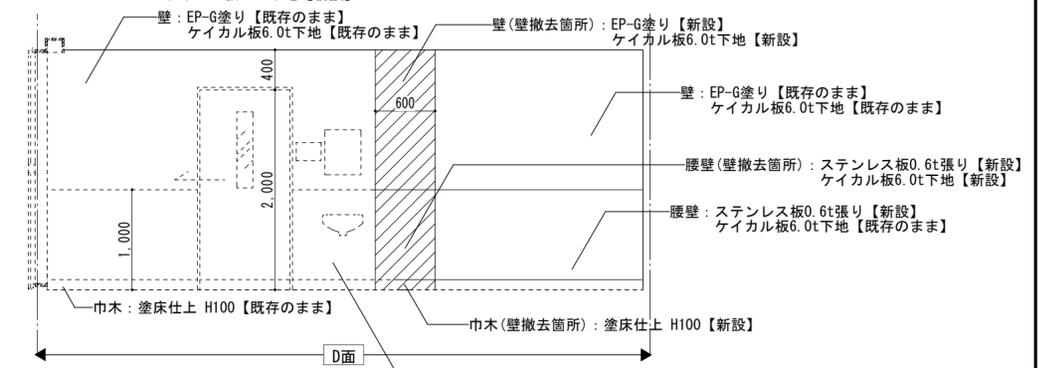
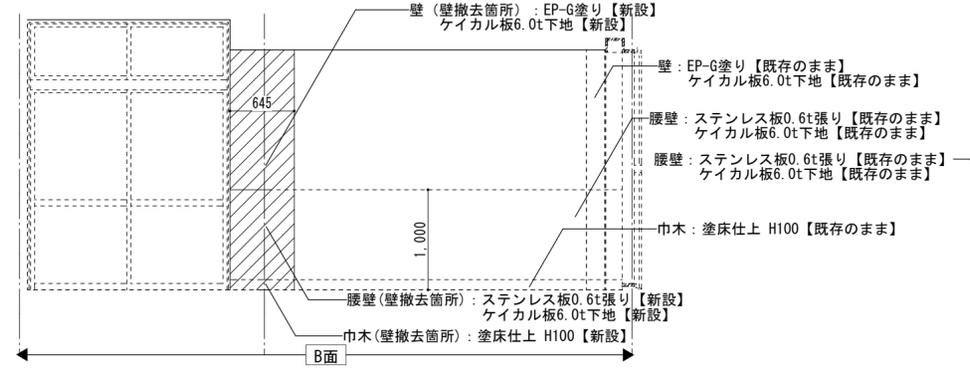
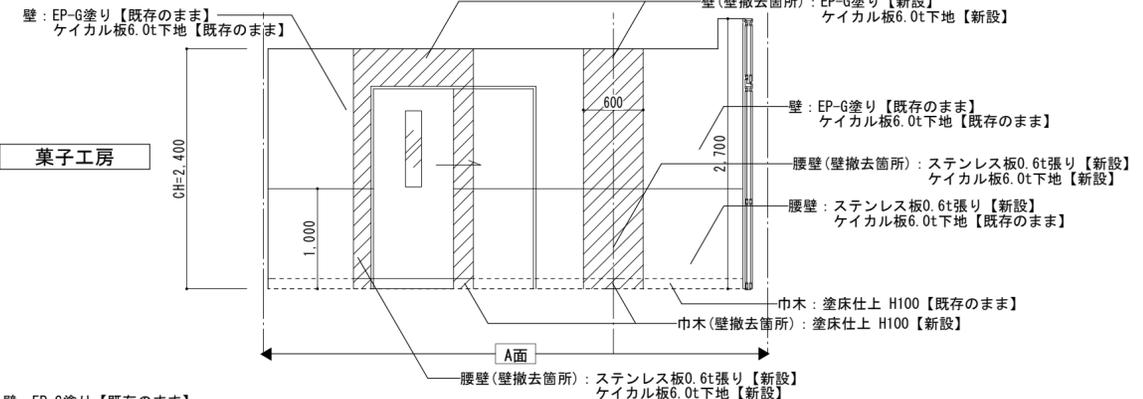
パン工房



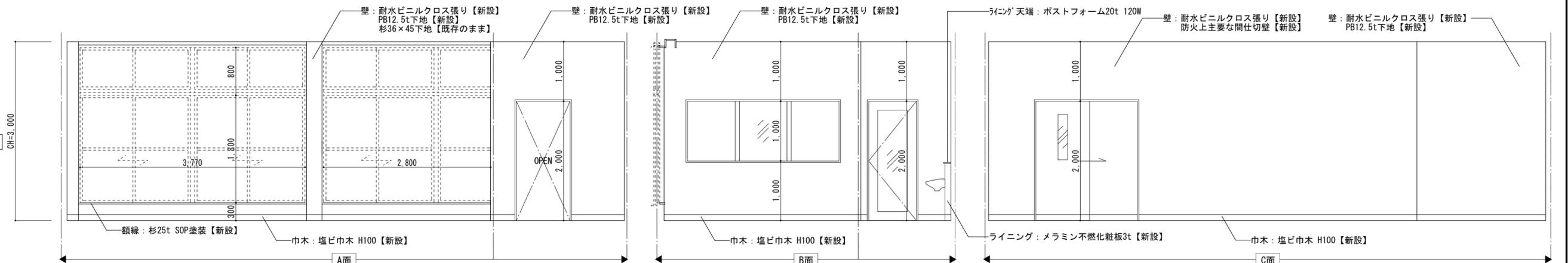
食パン冷却庫



菓子工房



パン包装スペース



伏野つばさ園パン工房改修工事

改修後 展開図 1

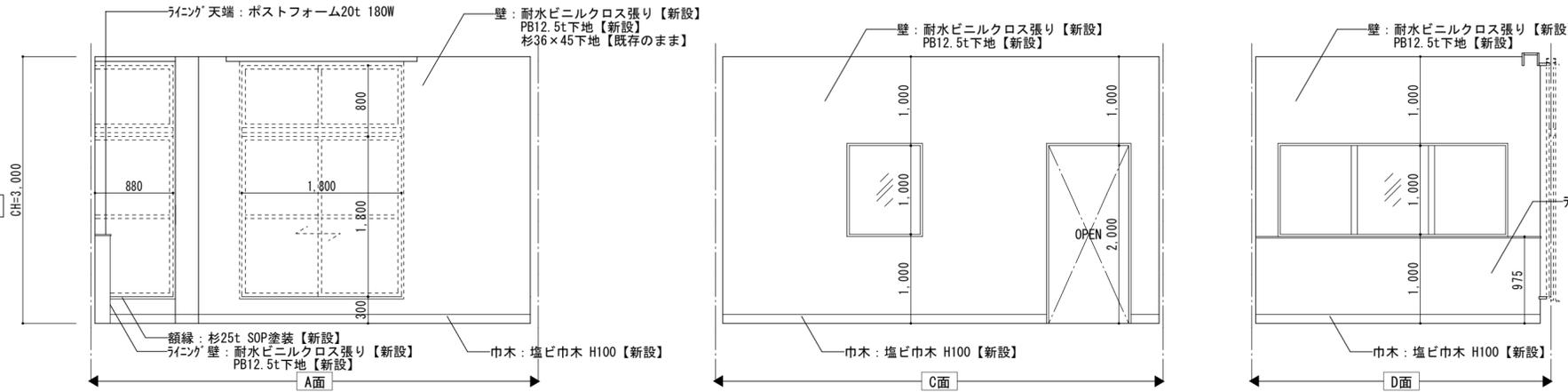
CHECKED BY.

株式会社 白兔設計事務所

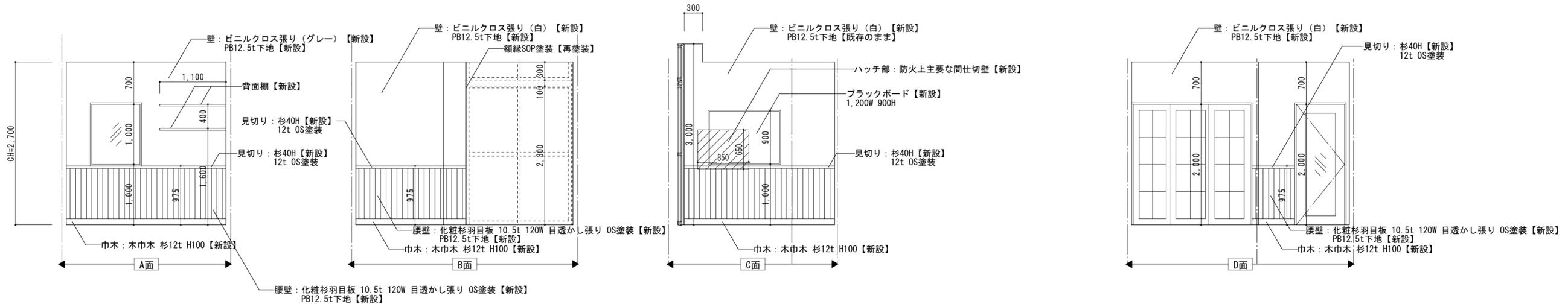
鳥取県知事 登録番号 第05-142
管理建築士(一級建築士登録番号 202791) 萩田 浩明

PROJECT NO	DATE	DRAWING BY.
2024-28	2024.12	二級建築士登録番号 第4438号 加賀田 ゆかり
DRAWING NO	SCALE	
A-9	A2:1/50 A3:1/71	

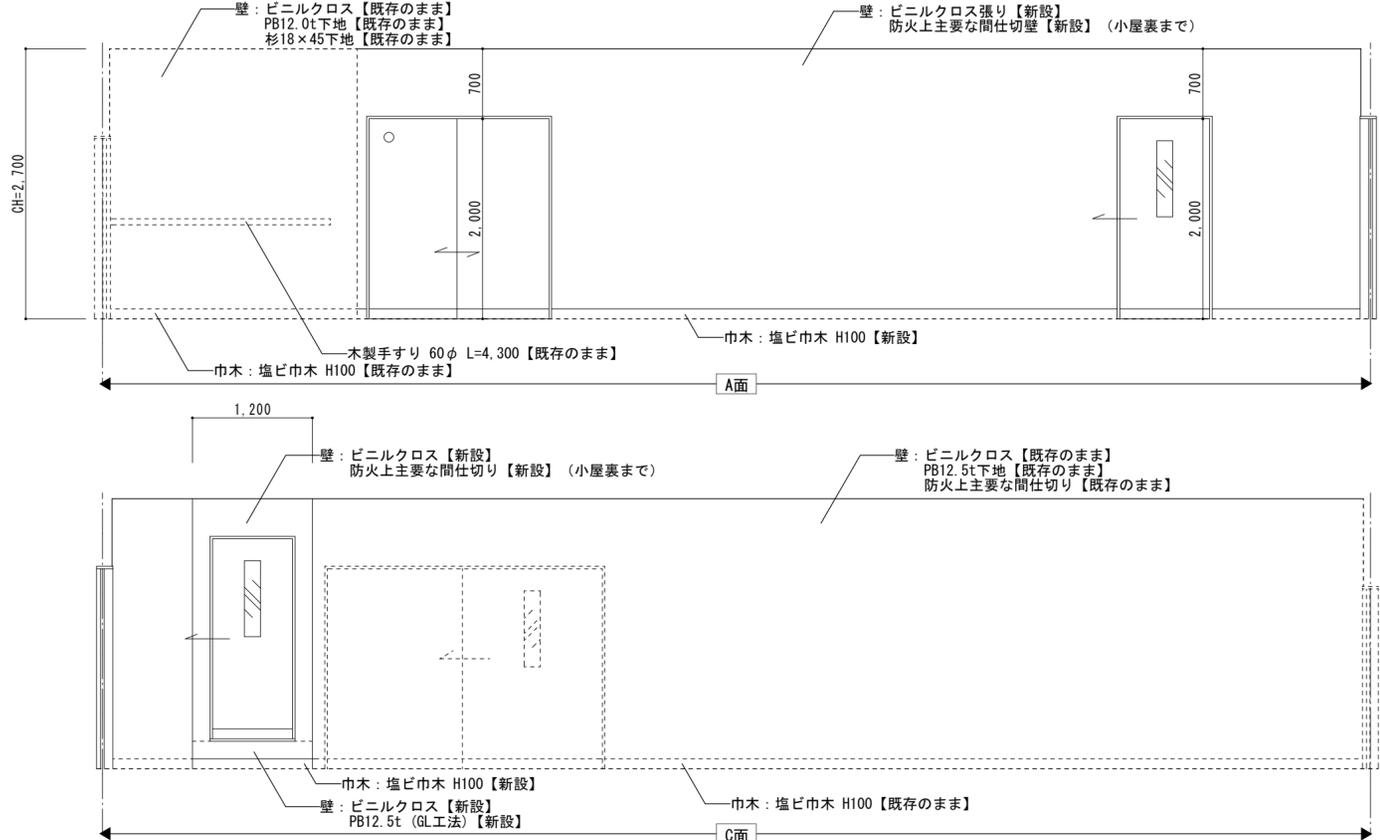
菓子包装スペース



販売スペース



廊下



新設 家具詳細図 1/50

家具リスト		
背面棚 1 / 3 0	ラインング A 1 / 3 0	ラインング B 1 / 3 0
<p>断面図 1/50</p>		
ブラケット: スガツネ BTK-UB-100B	シーリング MS-2 10×10を示す	シーリング MS-2 10×10を示す

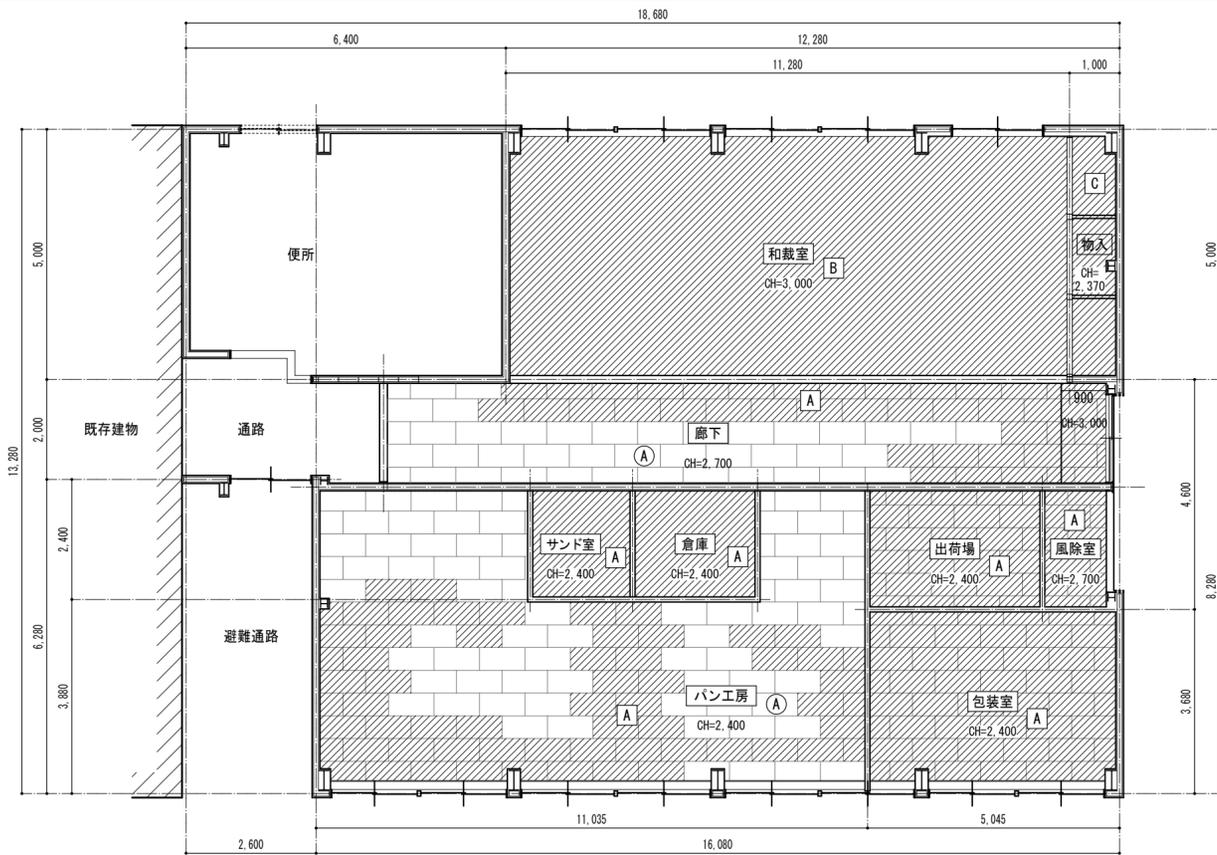
伏野つばさ園パン工房改修工事
改修後 展開図2・家具詳細図

CHECKED BY.				

株式会社 白兔設計事務所

鳥取県知事 登録番号 第05-142
管理建築士(一級建築士登録番号 202791) 萩田 浩明

PROJECT NO	DATE	DRAWING BY.
2024-28	2024. 12	二級建築士登録番号 第4438号 加賀田 ゆかり
DRAWING NO	SCALE	
A-10	A2:1/50 A3:1/71	



改修前天井伏図 1/100

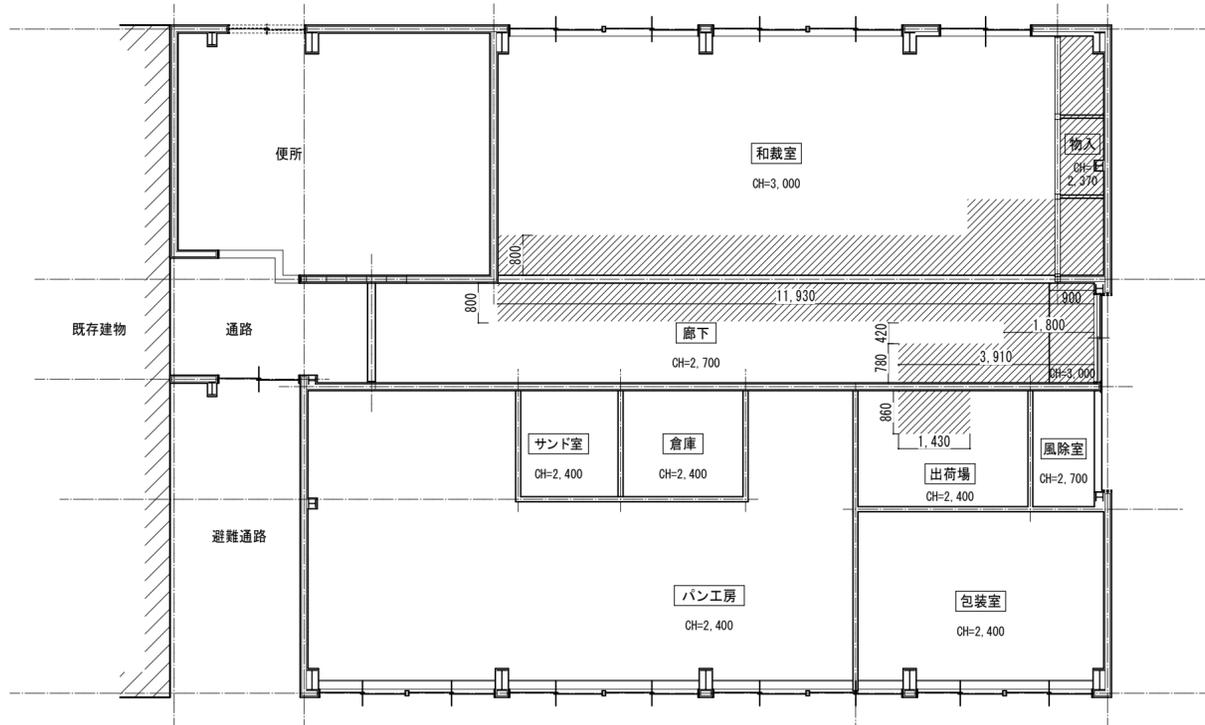
凡例

室名	改修する室を示す
撤去範囲を示す	撤去範囲を示す

凡例：天井仕上げを表記

A	化粧PB 9.5t
B	化粧PB 9.0t (杉証柄)
C	ラワン合板 3.0t

□：撤去する仕上げを表す
○：既存のままの仕上げを表す

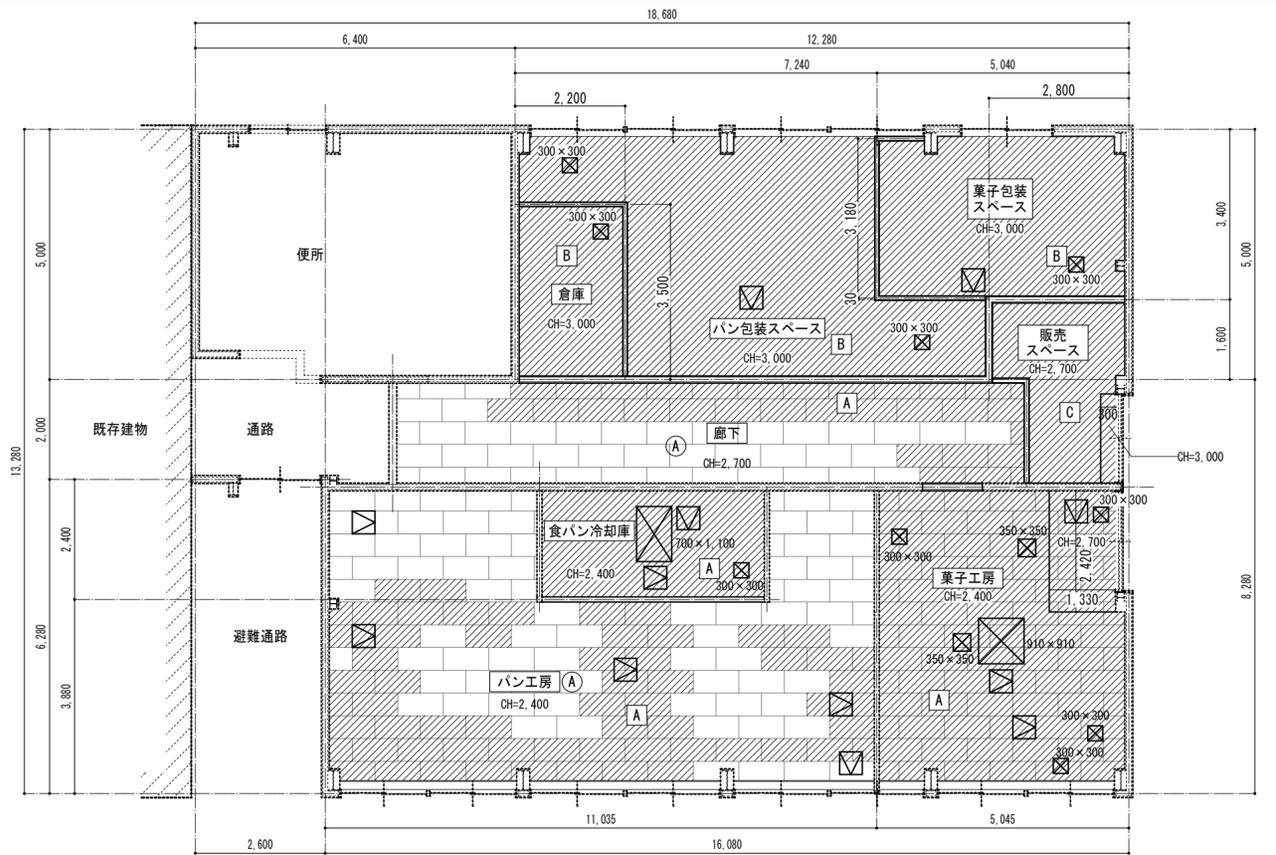


改修前天井下地撤去図 1/100

凡例

室名	改修する室を示す
撤去範囲を示す	撤去範囲を示す

撤去天井下地
物入：杉36×36@450#730
その他の室：LGS19下地@225
※天井下地撤去範囲と同じ範囲の断熱材を撤去とする



改修後天井伏図 1/100

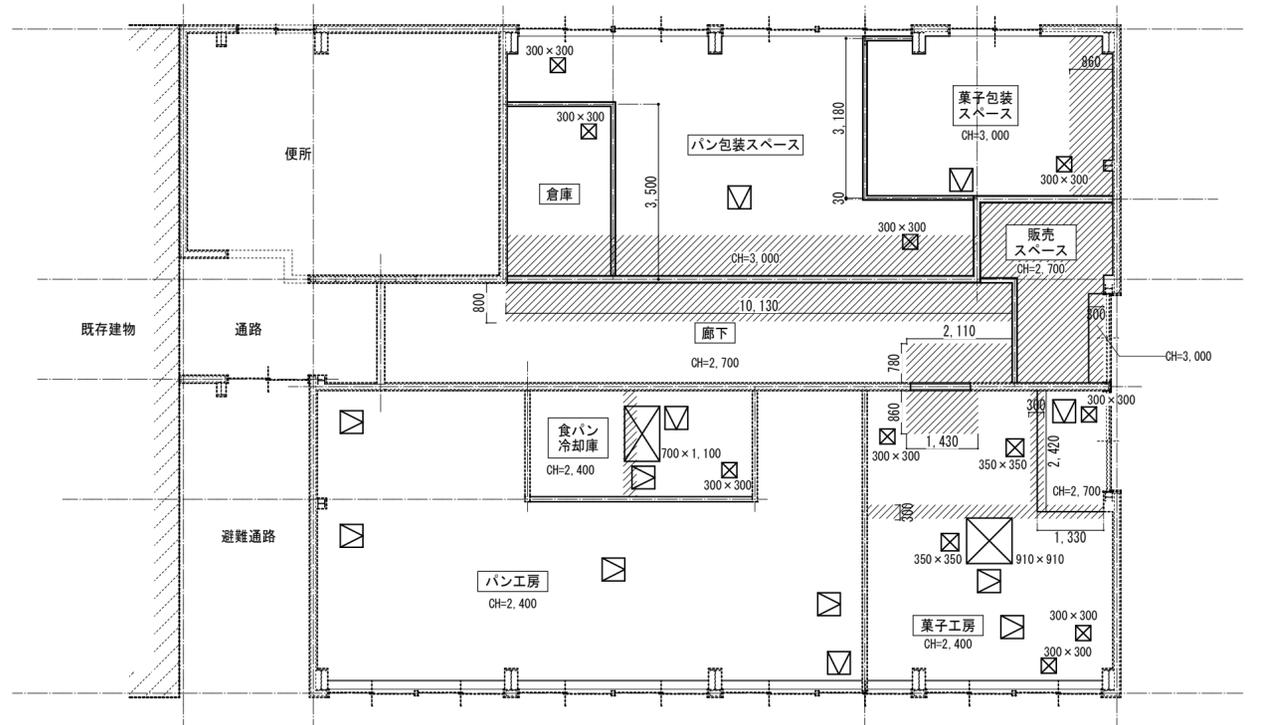
凡例

室名	改修する室を示す	天井点検口新設部を示す
新設範囲を示す	新設開口補強位置を示す	

凡例：天井仕上げを表記

A	化粧PB 9.5t 455×910
B	化粧PB 9.5t 910×910
C	ビニルクロス PB9.5t下地

□：新設する仕上げを表す
○：既存のままの仕上げを表す



改修後天井下地新設図 1/100

凡例

室名	改修する室を示す	天井点検口新設部を示す 450角開口補強を行うこと
新設範囲を示す	新設開口補強位置を示す	

新設天井下地：LGS19下地@225

※天井下地新設範囲と同じ範囲にGW24K/50tを新設とする

伏野つばさ園パン工房改修工事

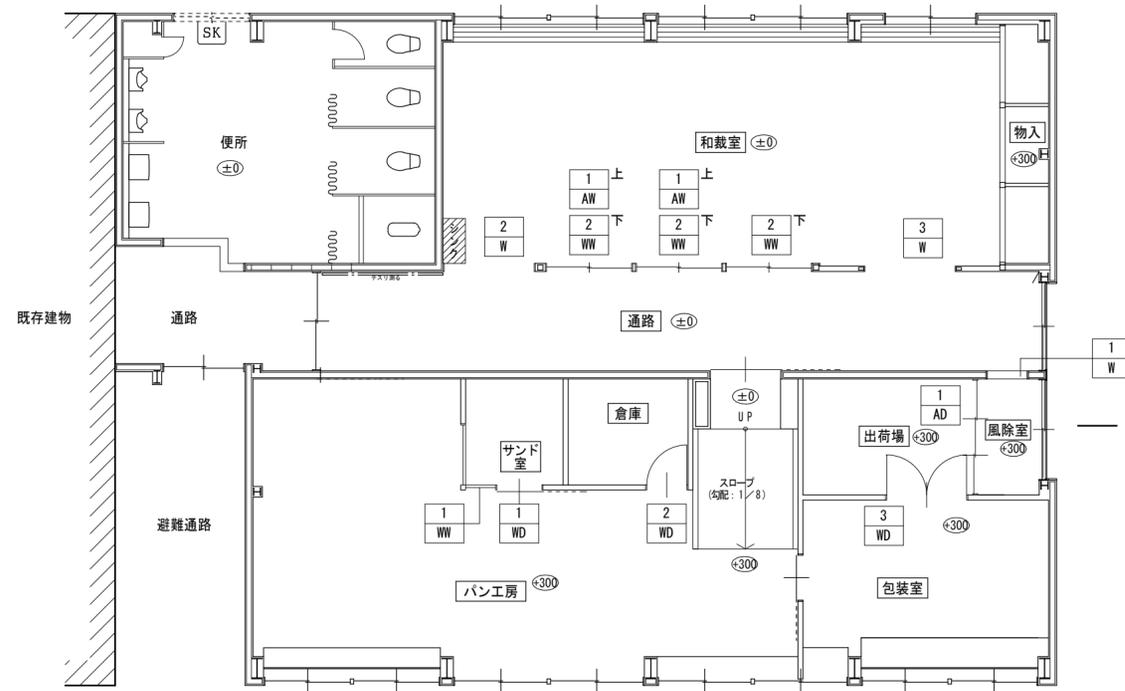
改修前・改修後 天井伏図

CHECKED BY.

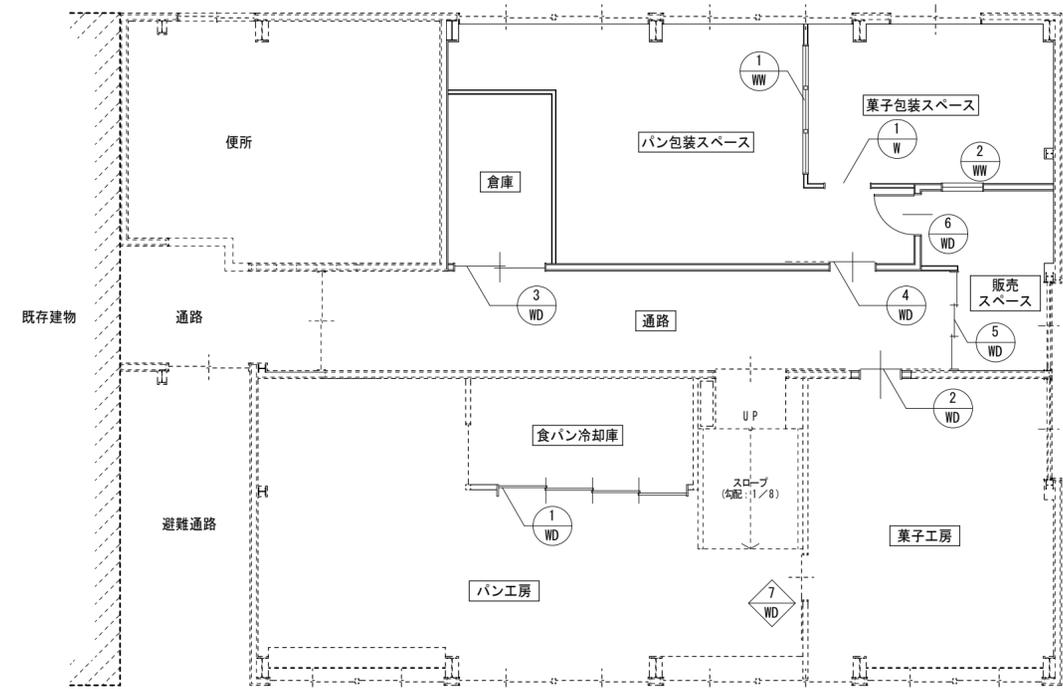
株式会社 白兔設計事務所

鳥取県知事 登録番号 第05-142
管理建築士 (一級建築士登録番号 202791) 森田 浩明

PROJECT NO	DATE	DRAWING BY.
2024-28	2024.12	二級建築士登録番号 第4438号 加賀田 ゆかり
DRAWING NO	SCALE	
A-11	A2:1/100 A3:1/141	



改修前建具キープラン 1/100



改修後建具キープラン 1/100

【特記事項】

-  撤去する建具を示す
-  ガラス改修する建具を示す
-  新設する建具を示す

伏野つばさ園パン工房改修工事

改修前・改修後 建具キープラン

CHECKED BY.

株式会社 白兔設計事務所

鳥取県知事 登録番号 第05-142
管理建築士 (一級建築士登録番号 202791) 萩田 浩明

PROJECT. NO	DATE	DRAWING BY.
2024-28	2024. 12	二級建築士登録番号 第4438号 加賀田 ゆかり
DRAWING. NO	SCALE	
A-12	A2:1/100 A3:1/141	

名称	1 WD	片引き戸	2 WD	片開き戸	3 WD	両開き戸	1 WW	FIX窓	2 WW	引違い窓	1 AD	引違い戸	1 AW	引違い窓		
形状																
対象室	サンド室		倉庫		包装室		サンド室		和裁室		風除室		和裁室			
材質	木製フラッシュ戸 ポリ合板4t 見込40		木製フラッシュ戸 ポリ合板4t 見込40		木製フラッシュ戸 ポリ合板4t 見込40		-		木製ガラス戸 ラワン製 見込40		アルミ 見込70		アルミ 見込70			
枠・額縁	木製 25t 枠見込110		木製 25t 枠見込110		木製 25t 枠見込110		木製 25t 枠見込110		木製 25t 枠見込200		アルミ額縁 ステンレス製下枠 見込70		木額縁 25t 見込200			
ガラス	F4t		F4t		F4t		FL3t		F4t		F4t		FL3t			
金物 他	平戸車、ステンレス製影込引手 ステンレスフラットレール		ステンレス丁番3点吊り、ステンレス製取手 ドアチェック		ステンレス丁番3点吊り、ステンレス製取手 ドアチェック						標準金物一式		標準金物一式			
下部ステンレス板2t張り			下部ステンレス板2t張り		下部ステンレス板2t張り											
名称	1 W	四方枠	2 W	三方枠	3 W	三方枠	△ W	片引き戸	1 WD	4枚引違い戸	2 WD	片引き戸	3 WD	引違い戸	4 WD	片引き戸
形状																
対象室	風除室		和裁室		和裁室		パン工房		食パン冷却庫		菓子工房		倉庫		パン包装スペース	
材質	木製 25t 見込165		木製 25t 見込200		木製 25t 見込200		木製フラッシュ戸 ポリ合板4t 見込40		木製フラッシュ戸 メラミン化粧板3t 見込40		木製フラッシュ戸 メラミン化粧板3t 見込40		木製フラッシュ戸 メラミン化粧板3t 見込40		木製フラッシュ戸 メラミン化粧板3t 見込40	
額縁	木製 25t 見込165		木製 25t 見込200		木製 25t 見込200		木製 25t 枠見込110		杉 節あり 25t SOP塗装 枠見込110		杉 節あり 25t SOP塗装 枠見込165		杉 節あり 25t SOP塗装 枠見込165		杉 節あり 25t SOP塗装 枠見込165	
ガラス	F4t		F4t		F4t		F4t → FL3t		FL3t		FL3t		FL3t		FL3t	
金物 他	平戸車、ステンレス製影込引手 ステンレスフラットレール		平戸車、ステンレス製影込引手 ステンレスフラットレール		平戸車、ステンレス製影込引手 ステンレスフラットレール		平戸車、ステンレス製影込引手 ステンレスフラットレール		平戸車、ステンレス製影込引手、引戸錠 ステンレスフラットレール		平戸車、ステンレス製影込引手 ステンレスフラットレール		平戸車、ステンレス製影込引手 ステンレスフラットレール		平戸車、ステンレス製影込引手 ステンレスフラットレール	
下部ステンレス板2t張り							下部ステンレス板2t張り		下部ステンレス板2t張り		下部ステンレス板2t張り		下部ステンレス板2t張り		明かり窓	
名称	5 WD	3枚引違い戸	6 WD	開き戸	1 WW	FIX窓	2 WW	FIX窓	1 W	三方枠						
形状																
対象室	販売スペース		販売スペース		菓子包装スペース		菓子包装スペース		菓子包装スペース							
材質	木製 25t 見込110		木製 25t 見込165		-		-		-							
額縁	杉 節あり 25t OS塗装 枠見込110		杉 節あり 25t SOP塗装 枠見込165		杉 節あり 25t SOP塗装 枠見込110		杉 節あり 25t SOP塗装 枠見込110		杉 25t 節あり SOP塗装 枠見込165							
ガラス	FL3t		アクリル5t		アクリル板3t		アクリル板3t		アクリル板3t							
金物 他	平戸車、ステンレス製影込引手 ステンレスフラットレール 木製格子 18x10.5(両面)		ステンレス丁番3点吊り、ステンレス製取手 ドアチェック													

【特記事項】



撤去する建具を示す



ガラス改修する建具を示す



新設する建具を示す

伏野つばさ園パン工房改修工事

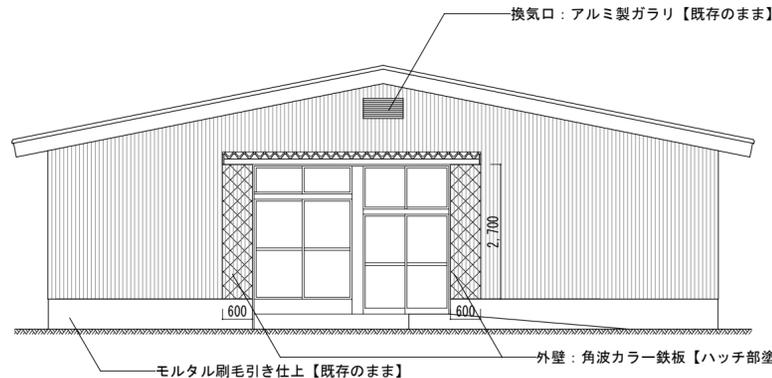
改修前・改修後 建具表

CHECKED BY.

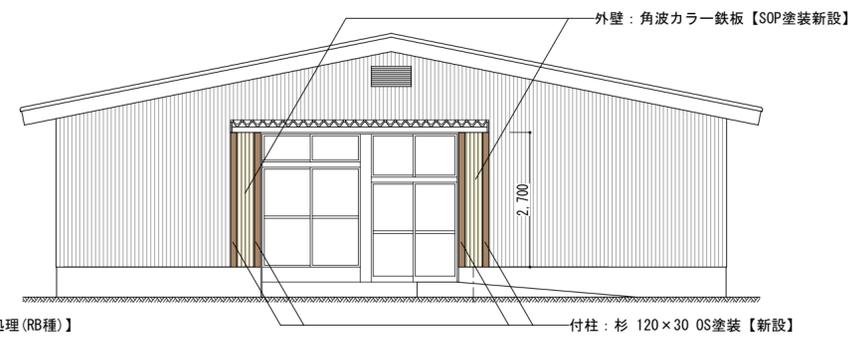
株式会社 白兔設計事務所

鳥取県知事 登録番号 第05-142
管理建築士(一級建築士登録番号 202791) 萩田 浩明

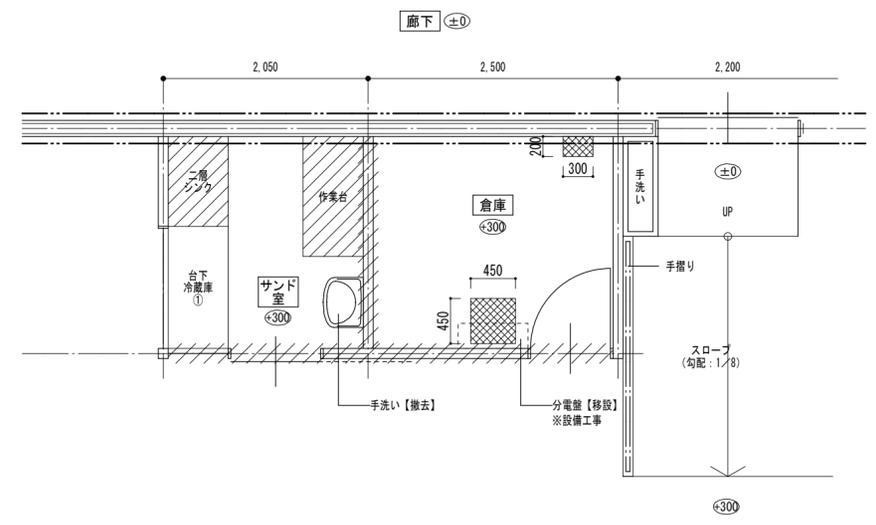
PROJECT NO	DATE	DRAWING BY.
2024-28	2024.12	二級建築士登録番号 第4438号 加賀田 ゆかり
DRAWING NO	SCALE	
A-13	A2:1/100 A3:1/141	



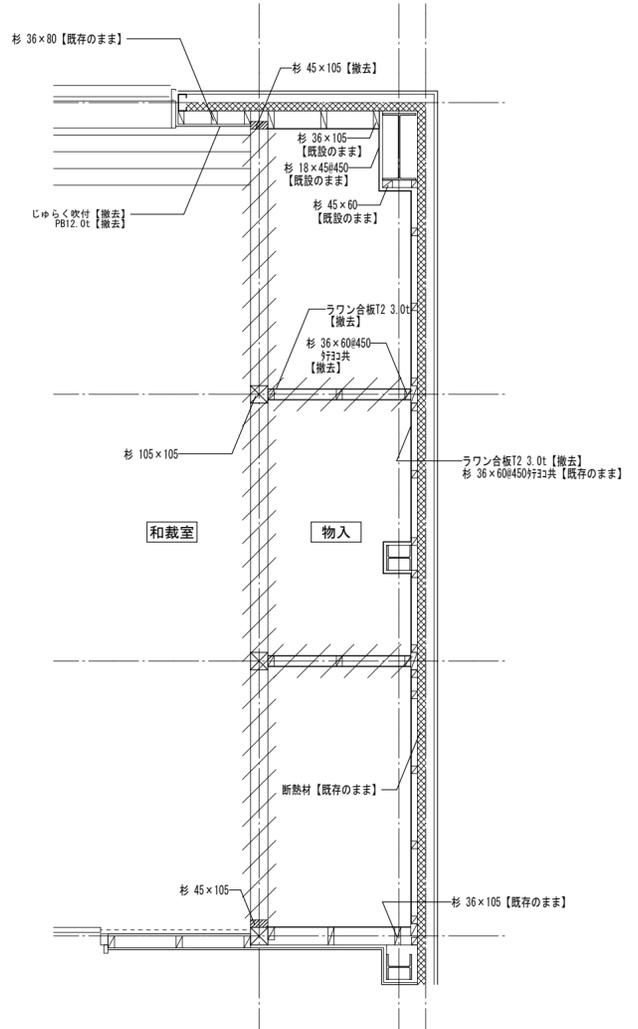
改修前 東立面図 1/100



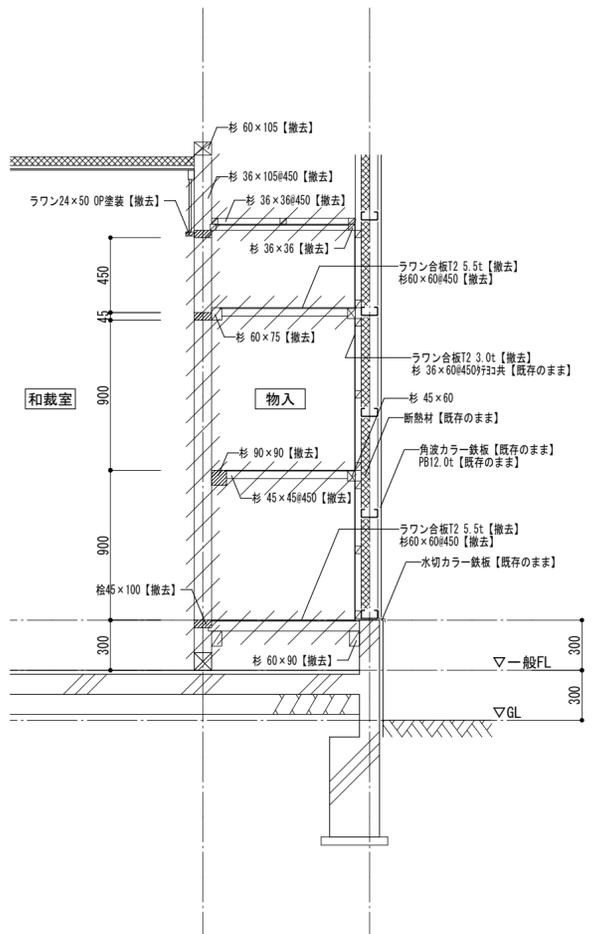
改修後 東立面図 1/100



改修前 倉庫 床撤去図 1/50



改修前 和裁室物入 平面詳細図 1/30



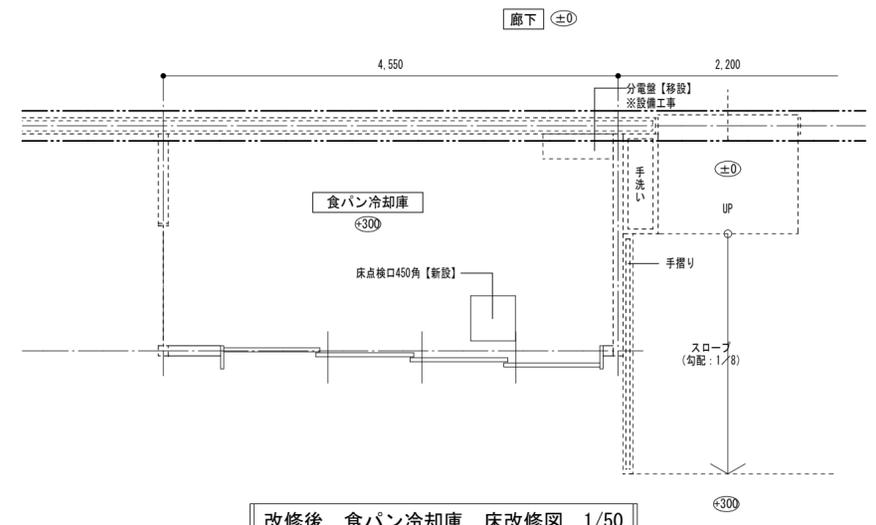
改修前 和裁室物入 断面詳細図 1/30

凡例

室名	改修する室を示す	撤去する仕器を示す
	防火上主要な間仕切壁：LGS100に両面PB12.5t+硬質PB9.5t重ね張り	あさひ園パン工房内で移設する仕器を示す
	撤去壁範囲（撤去高さは展開図を参照）※待記なき壁はLGS65下地	既設手すり
	既存のままの仕器を示す	床撤去範囲を示す

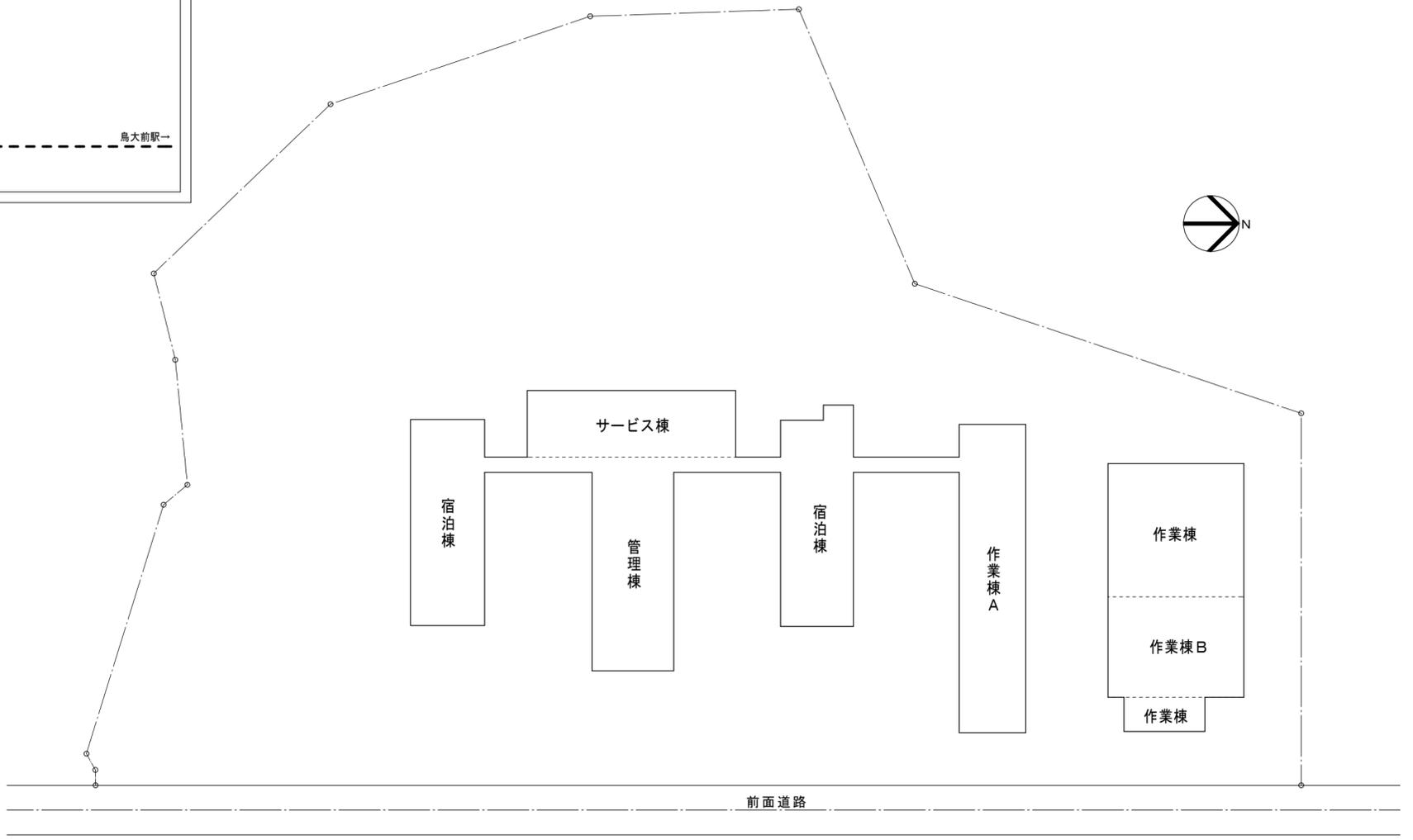
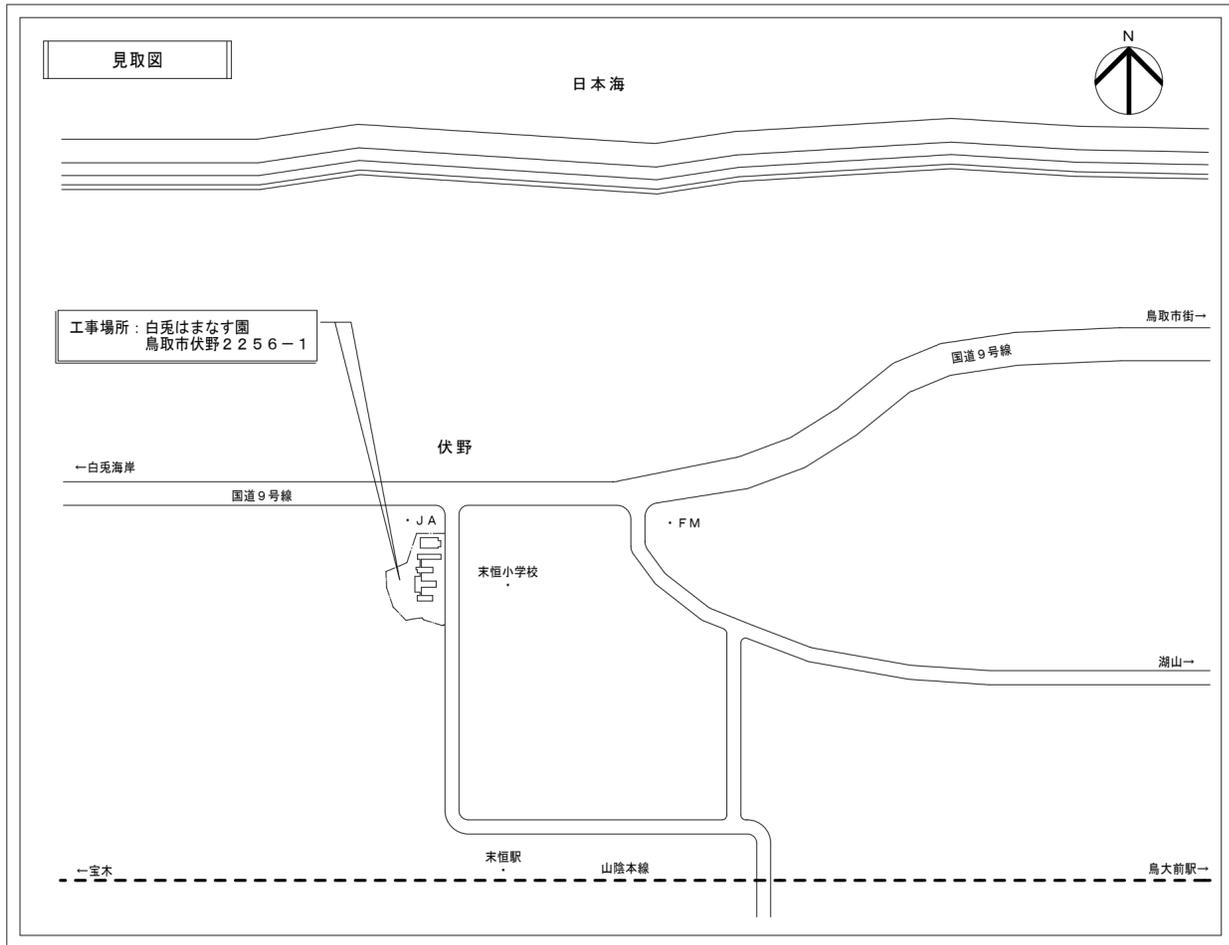
○床仕様
 塗床仕上げ【撤去】
 コンクリート金コテ下地【撤去】
 コンクリート50~80 ワイヤーマッシュ6×150×150敷込【撤去】
 キーストンプレート25t【撤去】
 鋼製床下地組み【設計耐荷重【長期】900kg/m²】【取外し・既存再利用】

○床撤去仕様
 カッターによりコンクリート、ワイヤーマッシュ、キーストンプレートの撤去後、端部を鋼製下地組により補強する。



改修後 食パン冷却庫 床改修図 1/50

凡例 // 撤去する壁を示す
 その他物入の壁は仕上材（ラワン合板3.0t）のみを撤去とし、木製下地材は既存のままとして仕上改修を行う



配置図 S=1/1000

伏野つばさ園パン工房改修工事

【参考】はまなす園位置図・配置図

CHECKED BY.

株式会社 白兔設計事務所

鳥取県知事 登録番号 第05-142
管理建築士 (一級建築士登録番号 202791) 萩田 浩明

PROJECT. NO	DATE	DRAWING BY.
2024-28	2024. 12	二級建築士登録番号 第4438号 加賀田 ゆかり
DRAWING. NO	SCALE	
A - 15	A2:1/1000 A3:1/1410	

電気設備工事仕様書

I. 工事概要

1 工事場所 鳥取市湖山町西三丁目113-1

2 建物概要

番号	建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積 (㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備考
1	障害者福祉センター伏野つばさ園	鉄骨造	1階	130.24	() 項	改修一式
2					() 項	
3					() 項	
4					() 項	
5					() 項	

3 工事種目 (●印の付いたものが対象工事種目)

工事種目	番号	1	2	3	4	5	屋外	備考
●電灯設備	○							
○動力設備	○							
●電熱設備								
●雷保護設備								
●受変電設備								
●電力貯蔵設備								
●発電設備								
○構内情報通信網設備	○							
○構内交換設備	○							
●情報表示設備								
●映像・音響設備	通							
○拡声設備	信	○						
○誘導支援設備	情	○						
●テレビ共同受信設備	報							
●監視カメラ設備	設							
●駐車場管制設備								
●防犯・入退室管理設備								
○火災報知設備	○							
●中央監視制御設備								
●医療関係設備								
●機械設備工事								
●建築工事								
●構内配電線路								
●構内通信線路								
●テレビ電波障害防除設備								

4 設備概要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

●印の付いたものを適用する。

電灯設備	●電気方式 ●非常用照明器具 ●誘導灯	幹線 ● 単相3線式100/200V ● 直流2線式100V 分岐 ● 単相2線式 (● 100V ● 200V) ● 直流2線式100V 光源 ● 蛍光灯 ● LED ● 白熱灯 (既設) ● 電池内蔵形 ● 電源別置形 ● 避難口 ● 階段通路 ● 廊下通路 ● 室内通路
動力設備	●電気方式	幹線 ● 三相3線式200V ● 単相2線式200V ● 単相3線式100/200V 分岐 ● 三相3線式200V ● 単相2線式 (● 100V ● 200V)
雷保護設備	●受雷部 ●避雷導線 ●接地極	●突針 ● 棟上げ導体 ● その他金属体 () ● 建築構造体利用 ● 引下げ導線 ● 建築構造体利用 ● 接地極埋設
受変電設備	●電気方式 ●契約電力 ●設備方式 ●機器類	高圧 三相3線式 6.6kV 低圧 三相3線式200V ● 単相3線式100/200V ● 単相2線式 (● 100V ● 200V) 改修工事 既存設備 ● kW 新設工事 ● 100kW未満 ● 100kW以上500kW未満 ● 500kW以上 ● 屋内形 ● 屋外形 ● キュービクル式配電盤 (● PF形 ● CB-1形 ● CB-2形) ● 高圧スイッチギア、変圧器盤 (CB-3形) 変圧器 三相 kVA、単相 kVA ● 油入 ● モールド 主遮断器 ● 限流ヒューズ ● VCB
電力貯蔵設備	●直流電源装置 ●交流無停電電源装置 (UPS)	用途 ● 非常用照明器具電源および受変電設備制御電源共用 ● 受変電設備制御電源専用 ● 非常用照明器具電源専用 蓄電池 ● HS形鉛蓄電池 ● MSE形鉛蓄電池 (Ah) 形式 ● 標仕によるUPS ● 簡易形UPS 用途 ● 電算機用 ●

発電設備	●自家発電装置 ●太陽光発電装置 ●風力発電装置	電気方式 三相3線式 ● 6.6kV ● 210V 機器類形式 ● キュービクル形 ● 簡易形 ● オープン形 発電機 (kVA以上) 原動機 ● ディーゼル ● ガスタービン 防油堤 ● コンクリート製 ● 鉄板製 (● 本工事 ● 別途工事) モジュール ● 結晶シリコン ● 薄膜 ● 風車 ● プロペラ形 ●
通信情報設備	○構内情報通信網設備 ○構内交換設備 ●情報表示設備 ●映像・音響設備 ○拡声設備 ○誘導支援設備 ●テレビ共同受信設備 ●監視カメラ設備 ●駐車場管制設備 ●防犯・入退室管理設備 ○自動火災報知設備 ●自動閉鎖設備 ●非常警報設備 ●ガス漏れ火災警報設備	●機器 ● 配管のみ ○ 配管及び配線 ●交換機 ● 局線中継台 ● 電話機 ● ボタン電話装置 ● 配管のみ ● 配管及び配線 ●マルチサイン装置 ● 出退表示装置 ● 時刻表示装置 ●増幅器 ● スピーカー ● プロジェクタ ● スクリーン ● その他 () 用途 ○ 一般放送 ● 非常放送 ● 個別放送 ●音声誘導装置 ● 身体障害者用インターホン装置 ● トイレ等呼出し装置 ●インターホン ● ●アンテナ (● UHF ● BS ● CS) ● CATV ●カメラ ● ビデオモニタ ● タイムラプスVTR ● 配管のみ ● 配管及び配線 車両検知方式 ● 光線式 ● ループコイル式 機器 (● 本工事 ※ 別途工事) 配管 (※ 本工事 ● 別途工事) 配線 (● 本工事 ※ 別途工事) ●受信機 (● P型 ● R型) ● 副受信機 ● 中継器 ○ 感知器 ● ●自動閉鎖 (● 回線 ● 単独 ● 火報受信機と一体) 感知器 (● 共用 ● 専用) 複合装置 ● 一体形 (※ 一般型 ● 防雨型) ● 単独 受信機 (● 回線 ● 単独 ● 火報受信機と一体 ● LPガス用 ● 都市ガス用)
中制央監視設備	●形式 ●監視制御対象設備 ●伝送方式	●警報盤 ● 表示操作盤 ● 監視制御装置 ●動力設備 ● 受変電設備 ● 自家発電設備 ● 防災設備 ● 照明制御 ● 給排水設備 ● 空調設備 ●アナログ方式 ● デジタル方式
構内配電線路	●電気方式 ●施工方法 ●外灯点滅方式	三相3線式 (● 6.6kV ● 200V) ● 単相3線式100/200V ● 単相2線式 (● 100V ● 200V) ● 地中埋設式 ● 架空線式 ● 手動 ● 自動 (● タイマー ● 自動点滅器 ● 中央監視)
構内配電線路	●用途 ●施工方法	●電話用 ● 時計拡声用 ● 火災報知用 ● インターホン用 ● 情報通信網用 ● CATV ● 地中埋設式 ● 架空線式
テレビ電防	●対策方策 ●責任分界点	●都市形CATVへの加入 ● 共同受信方式 (● 共同アンテナ ● 館内用アンテナ用) ●各戸の保安器一次側 ●

II. 特記仕様

1 一般事項

- 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様書のうち、○印の付いたものによる。
 - 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「標準仕様書」という。)
 - 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「改修標準仕様書」という。)
 - 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「標準図」という。)
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針(令和4年版)」(以下「監理指針」という。)を適用する。
- 機械設備工事及び建築工事を本工事を含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

2 特記事項

- 項目は番号に印の付いたものを適用する。
- 特記事項のうち選択する事項は○印の付いたものを適用する。
 - の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。○と※の付いた場合は共に適用する。
- 一般共通事項のうち (□ 7.8.9.11.12.31) 項は、○建築 ● 機械設備 工事仕様書による。

項目	特記事項															
①官公署その他への手続 ②電気保安技術者	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続き、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。 電気保安技術者の資格は標準仕様書第1編第1章第3節1.3.2によるものとし、一般用電気工作物に係る工事についても、自家用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。															
③電気工事士 ④工事安全計画書等 ⑤発生材の処理等	資格の区分 ● 1種 ※ 2種 建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。 引渡しを要するもの以外は、構外搬出適切処理とする。 特別管理産業廃棄物 ※ 無し ● 有り (● 機器類 ● 配管材料 ●) PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 再生資源の利用を図ると指定されたもの ※ 無し ● 有り (● コンクリート塊 ● 鉄筋コンクリート塊 ● アスファルト・コンクリート塊 ● 建設発生木材 ● 蛍光管 ●)															
⑥施工図等 ⑦完成写真等	提出した施工図等の著作権に係わる当該建物に限る著作権は発注者に移譲するものとする。 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「営繕工事写真撮影要領(平成24年版)」によるほか監督職員の指示による。下記ものを提出する。 <table border="1"><thead><tr><th>区分</th><th>分類・規格</th><th>撮影箇所</th><th>部数</th><th>電子データ・ネガの提出</th></tr></thead><tbody><tr><td>※ 工事写真</td><td>カラーサービスク</td><td>各工程工程毎</td><td>※ 1部 ● 部</td><td>● 要 ● 不要</td></tr><tr><td>● 完成写真</td><td>カラーサービスク</td><td>監督職員の指示による</td><td>※ 2部 ● 部</td><td>● 要 ● 不要</td></tr></tbody></table>	区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データ・ネガの提出	※ 工事写真	カラーサービスク	各工程工程毎	※ 1部 ● 部	● 要 ● 不要	● 完成写真	カラーサービスク	監督職員の指示による	※ 2部 ● 部	● 要 ● 不要
区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データ・ネガの提出												
※ 工事写真	カラーサービスク	各工程工程毎	※ 1部 ● 部	● 要 ● 不要												
● 完成写真	カラーサービスク	監督職員の指示による	※ 2部 ● 部	● 要 ● 不要												
⑧工事用水・電力 ⑨表示板	本工事に必要な工事用水、電力などの費用はすべて請負者の負担とする。 設ける。(建築工事、機械設備工事等一括して表示する) ※ 工事表示板 ● お願ひ表示板 記入要領等は監督職員の指示による。															
10足場	足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について(厚生労働省 基発第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 構内につくことが ※ できる ● できない															
⑪工事用仮設物																

⑫完成図等

区分	名称	部数
※ 完成図原図	完成図 ※ 原紙 ※ CADデータ ※ PDFデータ 施工図 ※ 原紙 ● CADデータ ● PDFデータ	1部
※ 完成図 2つ折製本	※ 完成図原図の陽面複写紙 ※ 完成図原図の陽面複写紙(縮小版) ● 施工図原図の陽面複写紙	※ 3部 ● 部
※ 完成図 ● A4版黒表紙製本 ※ A4版市販ファイル	※ 完成図原図の陽面複写紙 ※ 主要機器図 ※ 試験成績書	※ 2部 ● 部
※ 保守用説明書 A4版ファイル	※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表	※ 2部 ● 部
※ 保証書		1部
※ 官公署届出書類		1部

⑬他工事との取合い

他工事との取合い	電気設備	機械設備	建築
○コンクリート壁、床、梁貫通部	補強 ●	スリーブ・箱入 ●	※
○鉄骨造の開口及び補強	●	●	※
○照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート(くぎ処理共)	※	●	●
○軽量鉄骨壁のボックス取付用下地	※	●	●
●埋込分電盤・端子盤・プルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮枠 ●	補強 ●	※
●OAフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強	●	●	※
●埋込形機器取付用の天井、壁の下地材・仕上げ材	切り込み ●	補強 ●	※
●自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ	●	●	※
●電気室、自家発電機室などの基礎及びビット(蓋を含む)	●	●	※
●機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線	●	※	●
○機器用コントロールスイッチ(空調機、給湯器等)の取付及び配線	●	※	●
●テレビアンテナ	基礎 ●	アンカーボルト ●	※
○天井点検口	●	●	※
●自立型制御盤の基礎	※	●	●
●機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置 ●	屋上設置 ●	※

14土工事

⑮電線

⑯電線本数・管路等

17厚鋼電線管の溶融亜鉛メッキ

18露出配管の塗装

19波付硬質合成樹脂管(FEP)

20フラッシュプレート材質

21カバープレートの用途別表示

22耐震施工

埋め戻し土 ※根切土中の良質土 ●山砂の類 () ●真砂土 ()
建設発生土の処理 ●構外に搬出し適切に処理 ※構内敷きならし ●構内の指示する場所に堆積
本工事は環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。
EM電線類で規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。
通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたものとする。
盤内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものは除く。
ハーネスジョイントボックス用OAタップのケーブルはハロゲン及び鉛を含まない材料とする。
分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。
メッキ付着量 300g/㎡以上とする。(※ 屋外 ●)
塗装する部分 ●居室、廊下等 ●機械室 ● 屋外 ●
波付硬質合成樹脂管(FEP)を使用する場合は不燃又は難燃性とする。
○金属製(ステンレス、新金属も含む) ●樹脂製
シール等を貼付する。
設備機器の固定は「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説(平成8年版・建設大臣官房官庁営繕部監修)によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針2005年版」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)による。
1) 設計用水平地震力
機器の重量[kN]に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は、次による。
設計用標準水平地震度

設置場所	機器種別	● 特定の施設		○ 一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階注. 屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.0	1.0
	防振支持の機器		2.0	1.5	1.0
	水槽類		1.5	1.0	0.6
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器		1.5	1.0	0.6
	水槽類		1.0	0.6	0.4
地下及び1階	機器	1.0	0.6	0.4	0.6
	防振支持の機器		1.0	0.6	0.4
	水槽類		1.5	1.0	0.6

注) 上層階の定義は次(次頁)による。
2~6階建: 最上階、7~9階建: 上層2階、10~12階建: 上層3階、13階以上: 上層4階
重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換機 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ○ 自立分電盤)
2) 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
● ステンレス製 () ● 溶融亜鉛メッキを施した鋼材
外気に面する壁、スラブ等で打ちこみとなる位置ボックスは保温、結露防止処理を行う。
工事の施工に伴い既存部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならぬ補修する。
既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
探査方法 ※ 電磁誘導式 ● 放射線透過検査 ●

伏野つばさ園パン工房改修工事

電気設備工事仕様書(1)

CHECKED BY.

株式会社 白兔設計事務所

鳥取県知事 登録番号 第05-142
管理建築士(一級建築士登録番号 202791) 萩田 浩明

PROJECT NO.	DATE	DRAWING BY.
2024-28	2024.12	二級建築士登録番号 第4438号
DRAWING NO.	SCALE	加賀田 ゆかり
E-1	A2:- A3:-	

28 接地極
29 アスベスト含有建材の処理
30 室内空気中の化学物質の濃度測定
31 火災保険等
32 グリーン購入

接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極
● 共同接地	E A E D	10Ω以下	E B×3連-2組
● 共同接地	E A E C E D	10Ω以下	E B×3連-2組
● A 種	E A	10Ω以下	E B×3連-2組
● B 種	E B	Ω以下	E B×2連-2組
● C 種	E C	10Ω以下	E B×3連-2組
● D 種	E D	100Ω以下	E B×1
● 雷保護設備用	E L A	Ω以下	● E P-0、6×2 ● E B× 連-1組
● 高圧避雷器	E L H	10Ω以下	E B×3連-2組
● 交換機用	E t	10Ω以下	E B×3連-1組
● 通信用	E A t	10Ω以下	E B×3連-2組
● 通信用	E D t 及び E D a	100Ω以下	E B×1
● 電話引込口の保安器用	E L t	100Ω以下	E B×1
● 測定用	E o	-	E B×1

(連結又は単独の場合、E BはD=14 L=1500 または W=40 L=1200とする)
(測定用の場合、E BはD=10 L=1500 または W=30 L=1200とする)

建築改修標準仕様書 9章 環境配慮改修工事 1節 アスベスト含有建材の処理工事による。
処理を行うアスベスト含有建材の仕様等

建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲

※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者であること。
※ 官公署その他への手続きは、建築改修標準仕様書によるほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて必要な手続きを行う。

- 施工調査（分析によるアスベスト含有建材の調査）を行う。
分析方法は J I S A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。
- アスベスト粉じん濃度測定を行う。
(測定時期： 測定場所： 測定点：)
- 洗浄設備（洗眼、うがいの設備）及び更衣設備等を設ける。
- 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。
対象箇所 ()

実施する。
工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。
(保険の加入期限は、工事完成引渡しまでとする。)

グリーン購入は次のものとする。
● 照明制御システム ● 変圧器 ●

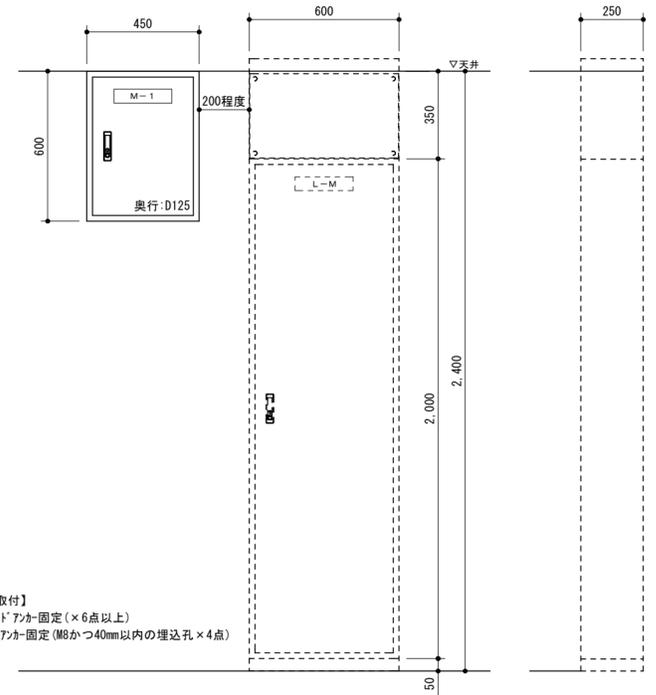
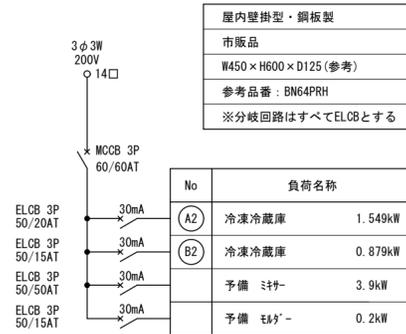
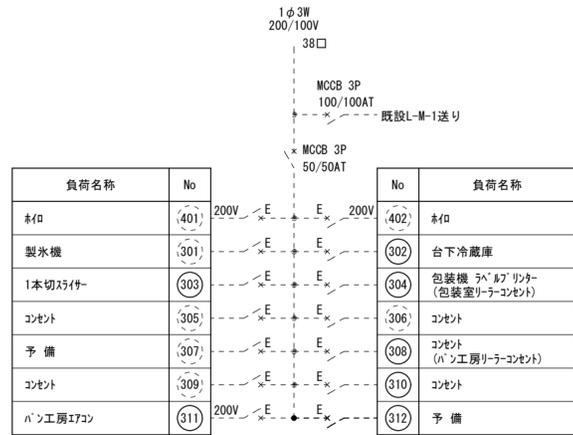
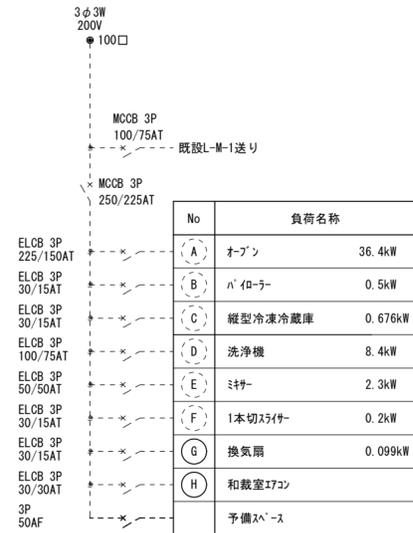
1 交換機	局線応答方式 (● 局線中継台方式 ● 分散中継台方式 ● ダイアルイン方式 ● ダイレクトインダイヤル方式 ● ダイレクトインライン方式) 停電補償時間 (分) ※ 本工事 ● 別途工事 ※ モジュラージャック ● 電話用プレート
2 保安器用接地	内線 / / 回線 局線 / / 回線 (現用 / 実装 / 容量)
3 壁付電話機との接続	● 一般電話機 台 ● 多機能電話機 台 ● ファクシミリ 台
4 回線数	● デジタルコードレス電話機 台 ● I P 電話機 台
5 電話機	桌上電話機 1 台につき次のものを見込む。 ● ボタン電話機 (● EM-BTIEE 0.4-2P ●) (※ 15m ●) ● 内線電話機 (● EM-TIEF 0.65-2C ● TIVF 0.65-2C) (※ 15m ●) ● 多機能電話機 (● EM-BTIEE 0.4-2P ●) (※ 15m ●) ● I P 電話機 (● EM-UTP 0.5-4P ●) (※ 15m ●)
6 電話機への配線	光出力 (● I 形 ● II 形 ● III 形) 解像度 (● A 形 ● B 形 ● C 形) コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
9 映像音響設備	1 プロジェクタ
10 拡声設備	1 増幅器 形式 (● 卓上形 ● ラック形) 定格出力 (W) 性能 (● Hi 形 ● Lo 形) ● 増幅器の入出力配線と外部配管 (壁ボックス等) の接続はコネクタによる。
11 通接	1 音声誘導装置 検出方式 (● 磁気方式 ● 無線方式 ● 画像認識方式)
12 火災報知設備	1 自動火災報知設備 2 自動閉鎖設備 3 ガス漏れ火災警報設備
13 構内配電線路	1 施工方法 埋設深さ ※ G L-300 以上、舗装のある場合は路盤下-300 以上とする。 ● G L-600 以上 (● 車路 ● 高圧配線 ● 幹線 ●) 2 地中箱 3 高圧負荷開閉器 ● 閉鎖形 (● 軽耐塩形 ● 重耐塩形) ● 地絡継電器付 (※ 方向性 ● 無方向性) ※ 別置制御装置までの制御ケーブルを付属すること。 4 高圧ケーブルの端末部 5 高圧ケーブルの屋外端末処理 6 標識シート 7 照明用ポール
14 構内通接線路	1 施工方法 埋設深さ ※ G L-300 以上、舗装のある場合は路盤下-300 以上とする。 ● G L-600 以上 (● ●) 2 地中箱 3 標識シート ● データ回線 ● 電話 ● C A T V ●
15 テレビ	1 調査仕様 図面に記載されていない事項は、すべて (一社) 日本 C A T V 技術協会の「建造物によるテレビ受信障害調査要領」及び「建造物によるテレビ受信障害調査要領 (地上デジタル放送)」の最新版により調査を行い、同協会の技術審査を受けること。 2 テレビ電波受信障害調査時期 3 受信する受信波及び地点数 4 報告書提出部数

名称	測点	取付高 (mm)
電力共通	取引用計器	地上~窓中心 1,800~2,000
	引込開閉器	地上~中心 1,800~2,200
	分電盤	床上~中心 1,500 (上端1,900以下)
	スイッチ	1,300
	” (多機能トイレ)	1,100
	コンセント (一般)	300
電	” (和室)	150
	” (台上)	台上~中心 150
	” (土間)	床上~中心 800~1,300
	” (車椅子用)	900
灯	ブラケット (一般)	2,100~2,300
	” (踊場)	2,000~2,500
	” (鏡上)	鏡上端~中心 150
	壁掛形制御盤	床上~中心 1,500 (上端1,900以下)
動	手元開閉器	1,500
	操作スイッチ	1,300
	端子盤	床上~下端 300
構内交換	保安器箱	天井下~上端 200
	壁付アウトレット	床上~中心 300
	” (和室)	150
電気時計	壁掛形観時計	床上~中心 1,500 (上限1,900以下)
	子時計	天井高×0.9
拡声	壁掛形スピーカ	床上~中心 天井高×0.9
	壁付アツチネータ	1,300

2 工事のため送電線及び配電線の近くで作業するときは、事前に中国電力に連絡し、事故防止に努めること。

品名	製造業者
1. 電力ケーブル	矢崎、日立、住友
2. 電力ケーブル	同上
3. 通信ケーブル	同上
4. 耐火・耐熱ケーブル	耐火・耐熱電線認定業務委員会の認定 (J C M A マーク) の表示をしたもの。
5. 波付硬質合成樹脂管	古河電工、未来工業、カナフレックス
6. 鋼製電線管	パナソニック、丸一、日鉄
7. 硬質塩化ビニル電線管	積水化学工業
8. 合成樹脂製可とう電線管	パナソニック、古河電工、未来工業
9. 蛍光灯	パナソニック、東芝、日立、三菱、大光、達磨
10. 白熱灯・LED	パナソニック、東芝、日立、三菱、大光、達磨、光電気通信
11. 非常用照明器具	上記製造業者のうち (財) 日本建築センターの性能認定マークが貼付されたもの。
12. 誘導灯	上記製造業者のうち誘導灯認定委員会の認定証票が貼付されたもの。
13. HID 灯	パナソニック、東芝、日立、三菱
14. 配線器具	パナソニック、東芝
15. 高圧配電盤	かわでん、東芝、永井、日立、増岡、三菱、パナソニック、内外、豊島、小林、富士オートメーション
16. 低圧配電盤	同上
17. 端子盤	同上
18. 配線用遮断器	パナソニック、東芝、日立、三菱、富士
19. 電磁開閉器	パナソニック、東芝、日立、三菱、富士、戸上
20. 保護継電器	パナソニック、東芝、日立、富士、オムロン
21. 水位継電器	パナソニック、日立、三菱、富士、オムロン
22. コンデンサ	パナソニック、東芝、日立、三菱
23. 変圧器 (高圧用)	同上
24. 高圧遮断器	東芝、日立、三菱、富士
25. 高圧気中開閉器	東芝、三菱、戸上、エナジーサポート
26. 自家発電機 (制御盤を含む)	東芝、日立、三菱、川崎、ヤンマー ただし防災用は左記のうち (社) 日本内燃力発電設備協会の認定証票が貼付されたもの。
27. 蓄電池	新神戸、日本電池、GS } ただし建築基準法及び消防法に使用する別置用のものは、左記のうち蓄電池設備認定委員会の認定証票が貼付されたもの。
28. 整流装置	同上
29. 電話交換機及び電話機	沖電気、日立、パナソニック、東芝、富士通 ただし (財) 電気通信端末機器審査協会の認定を受けている旨の表示をしたもの。
30. インターホン	パナソニック、東芝、アイホン
31. 火災報知装置	沖、東芝、能美、ホーチキ、パナソニック ただし、日本消防検定協会の検定合格証票が貼付されたもの。
32. 自動閉鎖装置	同上 ただし、(財) 日本建築センターの性能認定マークが貼付されたもの。
33. 非常警報装置	同上 ただし、非常警報設備認定業務委員会の認定証票が貼付されたもの。
34. 表示器	パナソニック
35. 電気時計	パナソニック
36. 拡声・非常放送装置	T O A、J V C ケンウッド、パナソニック、東芝 ただし、非常放送装置は非常用放送設備委員会の基準適合ラベルが貼付されたもの。
37. テレビ共同受信機器	マスプロ、ホーチキ、パナソニック
38. ハンドホール	イーエムシー西部、インテックス、ランデス、オーコ、カナフレックス
39. 避雷針	大阪、日本
40. コンクリート柱	ダイニチ、日本ネットワークサポート、中国高圧
41. ケーブルラック・レースウェイ	ネグロス、パナソニック、東芝
42. ガス漏れ警報受信機器	矢崎、パナソニック ただし日本消防検定協会又は高圧ガス保安協会の検定合格証票が貼付されたもの。
43. ガス検知器	同上 ただし、(財) 日本ガス機器検査協会の合格証票又は高圧ガス保安協会の検定合格証票が貼付されたもの。
44. セキュリティ、H A 機器	東芝、三菱、山武、アイホン、パナソニック
45. 中央監視制御機器	山武、ジョンソンコントロール、パナソニック

※ 送配電線の近くで作業するときは、前もって中国電力へ連絡すること。
※ 不許複製
※ (一社) 鳥取県設備設計事務所協会 作成

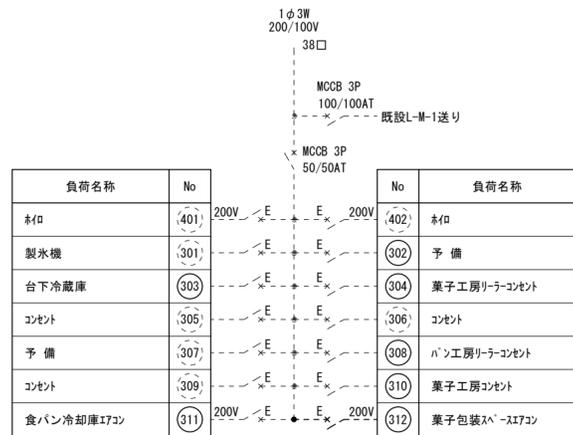
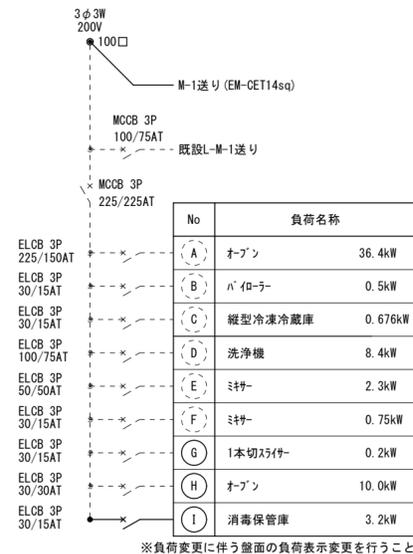


- 【L-M分電盤取付】
- 壁面ボルトアケ固定(×6点以上)
 - 床面ボルトアケ固定(M8かつ40mm以内の埋込孔×4点)

- L-M分電盤、M-1分電盤 参考配置図
- L-M分電盤は移設(取外し再取付)
 - M-1分電盤は新設(図中寸法は参考)

L-M分電盤 結線図 (改修前)

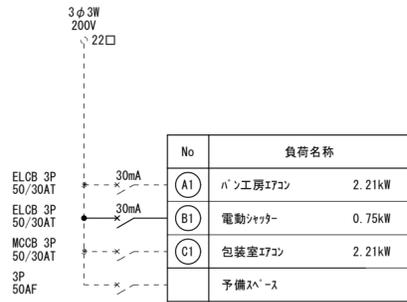
M-1分電盤 結線図



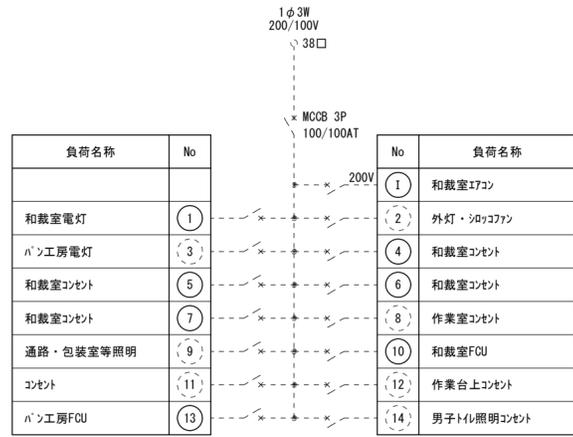
- 【改修内容(電灯)】
- 312回路の予備開閉器を200Vで使用する →EM-1E2.0を1m程度見込む
 - その他の開閉器は既設のまま

- 【改修内容(動力)】
- 予備スペースにELCB 3P 30/15A × 1 を新設
 - 主幹端子の一次側より、M-1は幹線を分岐(EM-CET14sq)
 - その他の開閉器は既設のまま

L-M分電盤 結線図 (改修後)

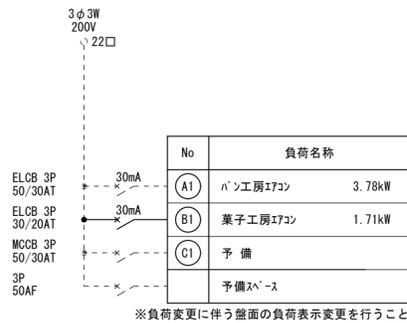
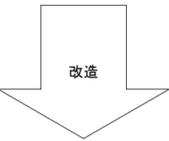


No	負荷名称	消費電力
A1	パン工房エアコン	2.21kW
B1	電動シャッター	0.75kW
C1	包装室エアコン	2.21kW
	予備スペース	



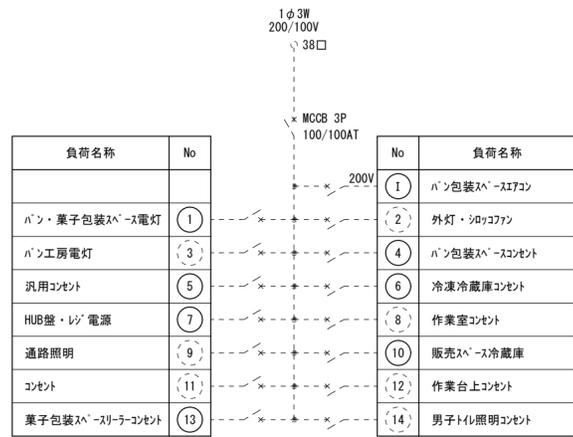
負荷名称	No	負荷名称	No
和裁室電灯	①	和裁室エアコン	①
パン工房電灯	③	外灯・シロコファン	②
和裁室コンセント	⑤	和裁室コンセント	④
和裁室コンセント	⑦	和裁室コンセント	⑥
通路・包装室等照明	⑨	作業室コンセント	⑧
コンセント	⑪	和裁室FCU	⑩
パン工房FCU	⑬	作業台上コンセント	⑫
		男子トイレ照明コンセント	⑭

L-M-1分電盤 結線図 (改修前)



No	負荷名称	消費電力
A1	パン工房エアコン	3.78kW
B1	菓子工房エアコン	1.71kW
C1	予備	
	予備スペース	

- 【改修内容(動力)】
- 開閉器ELCB 3P 50/30A を ELCB 3P 30/20A に変更
 - その他の開閉器は既設のまま



負荷名称	No	負荷名称	No
パン・菓子包装スペース電灯	①	パン包装スペースエアコン	①
パン工房電灯	③	外灯・シロコファン	②
汎用コンセント	⑤	パン包装スペースコンセント	④
HUB盤・レジ電源	⑦	冷凍冷蔵庫コンセント	⑥
通路照明	⑨	作業室コンセント	⑧
コンセント	⑪	販売スペース冷蔵庫	⑩
菓子包装スペースリライコンセント	⑬	作業台上コンセント	⑫
		男子トイレ照明コンセント	⑭

※開閉器改修無し

L-M-1分電盤 結線図 (改修後)

照明器具参考姿図

※図中、形状・寸法は参考とする。

A322	LED^-スライ 直付型 4,800lm以上	B162	LED^-スライ 直付型 3,000lm以上	C150	LED^*クラウド 1,300lm以上
A321	LED^-スライ 直付型 3,000lm以上	LSS9-2-30 LN		LRS1-13 LN	
A322:LSS9-4-48 LN A321:LSS9-4-30 LN					
D161	FHF16W×1 富士型	E162	FHF16W×2 富士型	F321	FHF32W×1 富士型
※既設品 FSS9-161 PH		※既設品 FSS9-162 PH		※既設品 FSS9-321 PH	
G322	FHF32W×2 富士型	X9L	LED非常灯 φ100低天井・小空間用(〜3m)	X9	白熱灯非常灯 JE3.6V9W×1
※既設品 FSS9-322 PH		X13L	LED非常灯 φ100低天井用(〜3m)	X13	白熱灯非常灯 JE3.6V13W×1
		X9L:K1-LRS11-1 X13L:K1-LRS11-2		※既設品 X9:K1-IRS4-JE9 X13:K1-IRS4-JE13	
		蓄電池:ニッケル水素電池 非常灯評定番号:LAL-E-004		電池内蔵型	
Ya-C	避難口誘導灯	Y20	避難口誘導灯		
SH1-FBF20-C		※既設品 SH1-FBF20-BL			
C級 壁・天井直付型 蓄電池:ニッケル水素電池 型式認定番号:IAS111-3618		B級・BL形 壁直付・天井直付・吊下兼用型 内照ハ形 電池内蔵型			

伏野つばさ園パン工房改修工事

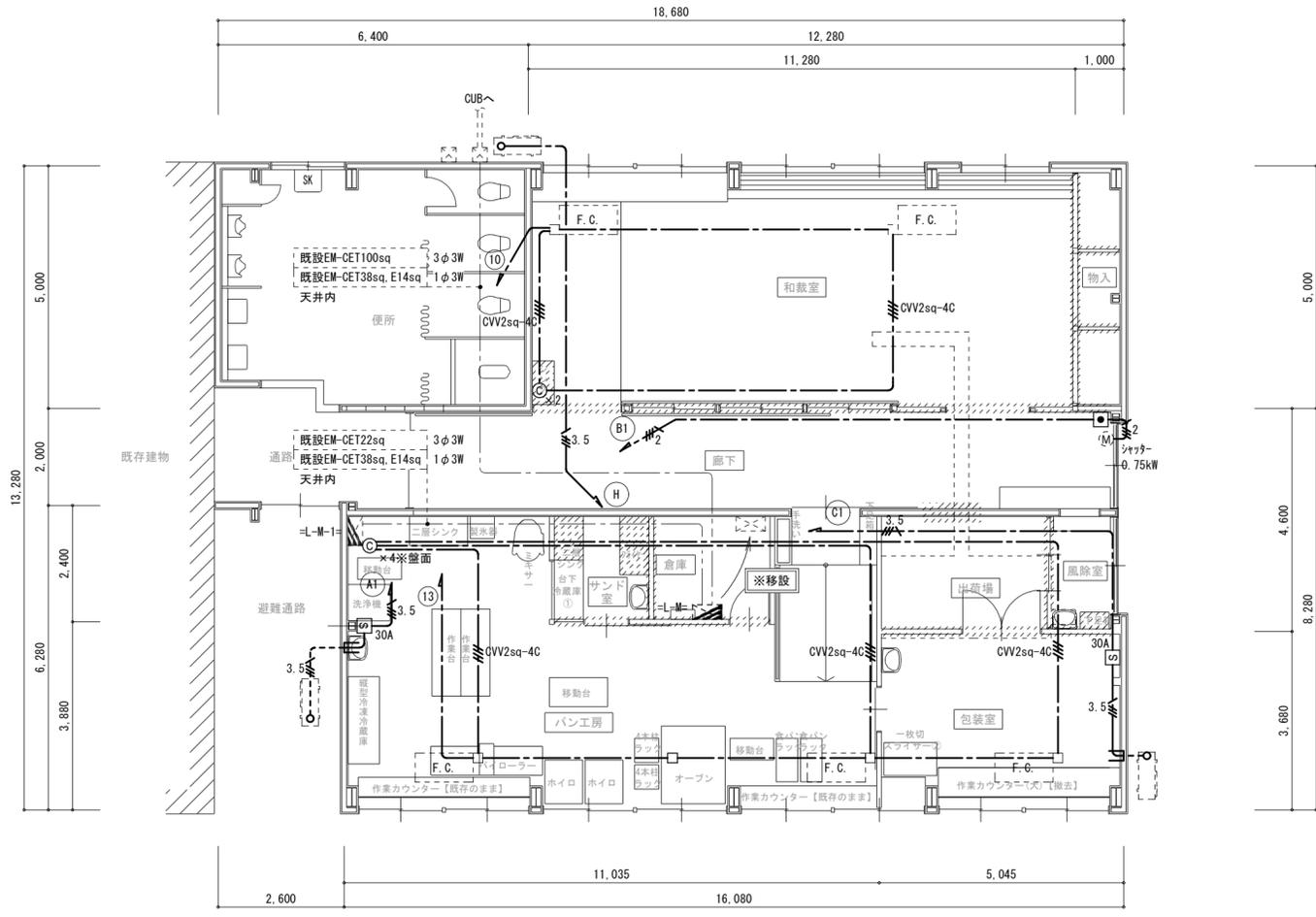
既設分電盤改修結線図(2)・照明器具参考姿図

CHECKED BY.

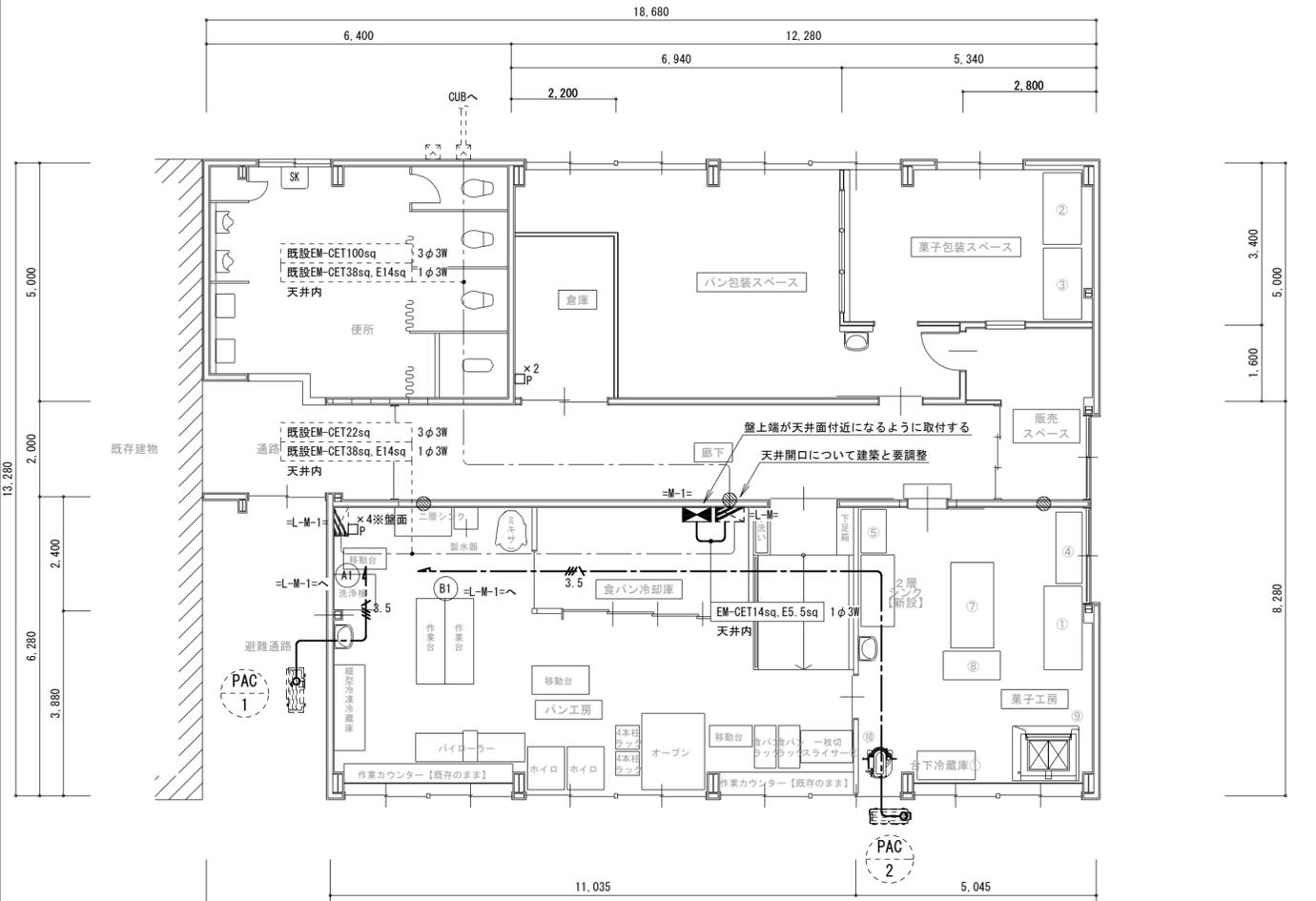
株式会社 白兔設計事務所

鳥取県知事 登録番号 第05-142
管理建築士(一級建築士登録番号 202791) 萩田 浩明

PROJECT NO	DATE	DRAWING BY.
2024-28	2024.12	二級建築士登録番号 第4438号 加賀田 ゆかり
DRAWING NO	SCALE	
E-4	A2:- A3:-	



改修前平面図 S=1/100
幹線・一般動力設備



改修後平面図 S=1/100
幹線・一般動力設備

注記

1. 既設建物を十分調査の上、施工すること。
2. 図中に示す配管配線及び機器を撤去すること。
3. 図中、細線の配管配線及びシボと並びに薄文字表記の機器は既設(残置)を示す。
4. 不用物のうち、壁・床打込配管は残置とする。
5. 図面表現のない不用配線についても併せて撤去すること。
6. 図中、指示なき配管配線は下記による。

—●—	WF 1.6-2C	天井内	撤去
—●—	CV 2sq-4C (1C7-X)	天井内	撤去
—●—	CV 3.5sq-4C (1C7-X)	天井内	撤去
—●—	CV 3.5sq-4C (1C7-X) (VE22-F24)	露出	撤去
7. 居ながら改修となる為、施設利用者や施設管理者の動線に留意して施工すること。
8. 改修内容について事前に電気主任技術者に連絡の上、注意事項等を聞き取りすること。

凡例

記号	名称	摘要
■	電灯動力分電盤	E-3, E-4参照
S 30A	手元開閉器	モーターレカ 3P7.5kW 30A 撤去
□	位置ボックス	撤去
◎	ファンコネクタコントローラ	モータースイッチ付 ※撤去後プレート補修 撤去
●	シャッター用押釦	モーター直入用 3P 撤去
(M)	電動シャッター	建築工事にて撤去

注記

1. 既設建物を十分調査の上、施工すること。
2. 図中に示す配管配線及び機器を新設すること。
3. 図中、細線の配管配線及びシボと並びに薄文字表記の機器は既設を示す。
4. 天井改修部に係る既設配線は、落下しないよう養生すること。
5. 図中、指示なき配管配線は下記による。

—●—	EM-CE 3.5sq-4C (1C7-X)	天井内・冷媒共巻
-----	------------------------	----------
6. 居ながら改修となる為、施設利用者や施設管理者の動線に留意して施工すること。
7. 改修内容について事前に電気主任技術者に連絡の上、注意事項等を聞き取りすること。
8. 天井改修しない部分(通路)を通る配線を敷設する場合には、必要に応じて天井「ド」の取り外し復旧を行うこと。

凡例

記号	名称	摘要
■	電灯動力分電盤	E-3, E-4参照
■	動力分電盤	E-3参照
□ P	フラッシュプレート	新金属 1個用
●	ホ-ド貫通 +防火区画貫通処理 ※全電気設備共通	ホ-ド貫通: φ75程度 区画貫通参考: PS060WL-1182-1

伏野つばさ園パン工房改修工事

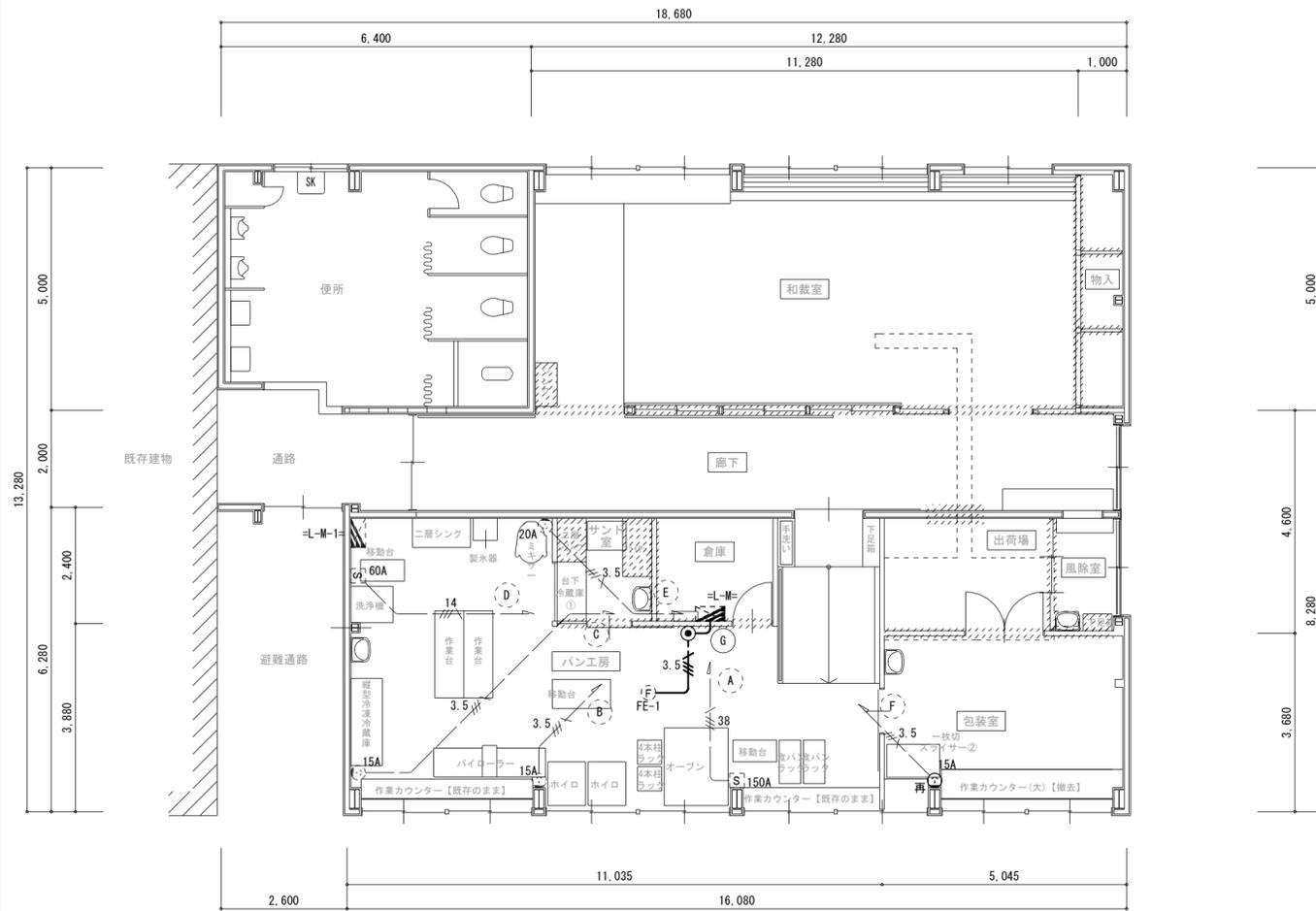
幹線・一般動力設備 平面図 撤去参考図

CHECKED BY.

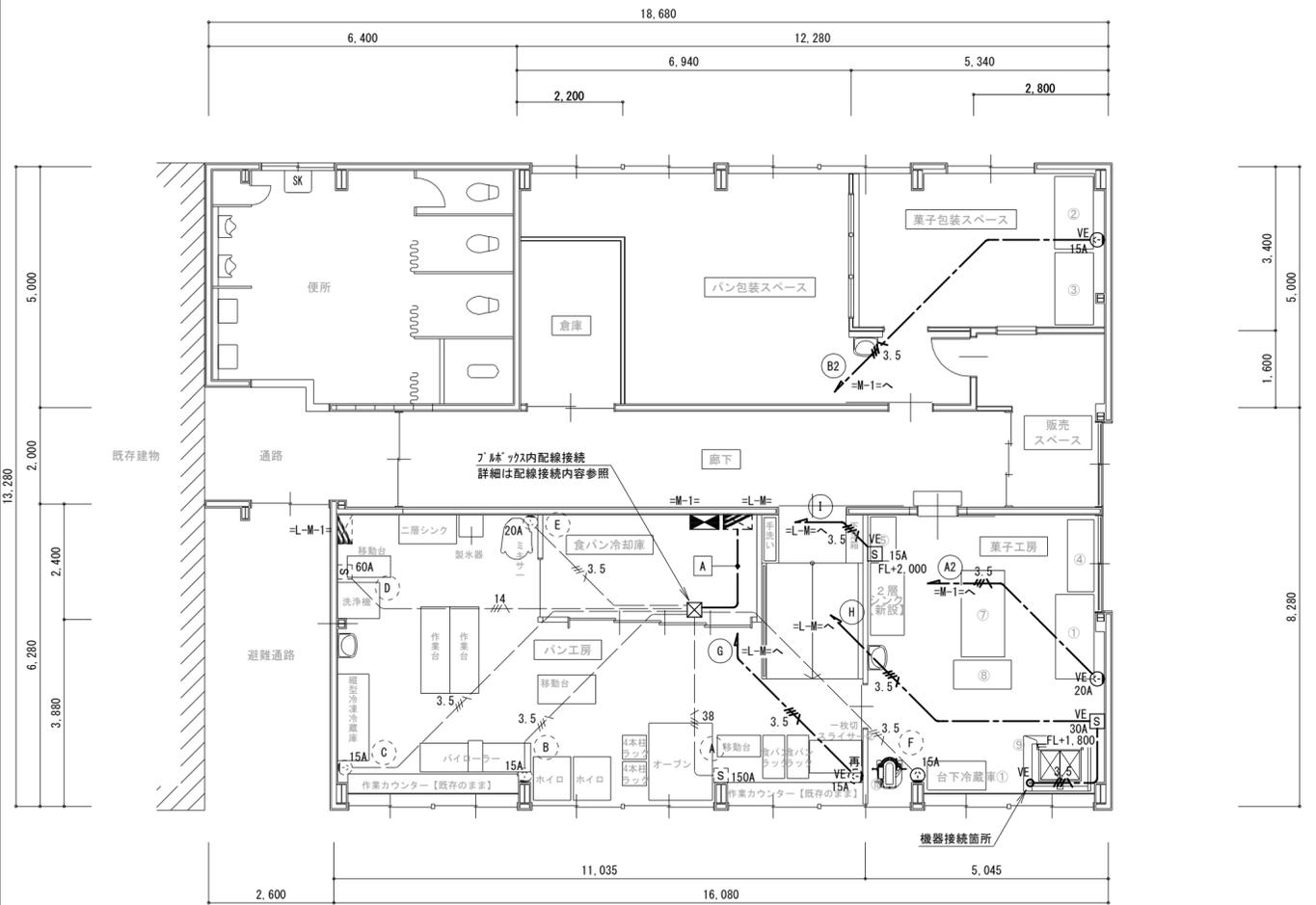
株式会社 白兔設計事務所

鳥取県知事 登録番号 第05-142
管理建築士(一級建築士登録番号 202791) 萩田 浩明

PROJECT NO	DATE	DRAWING BY.
2024-28	2024. 12	二級建築士登録番号 第4438号 加賀田 ゆかり
DRAWING NO	SCALE	
E-5	A2: 1/100 A3: 1/141	



改修前平面図 S=1/100
厨房動力



改修後平面図 S=1/100
厨房動力

【J'社'ツク'内配線接続内容】
 ●EM-CET38sq-EM-CET38sq ~1組
 ●EM-CET14sq-EM-CET14sq ~1組
 ●EM-CE3.5sq-4C-EM-CE3.5sq-4C ~4組

注記

1. 既設建物を十分調査の上、施工すること。
2. 図中に示す配管配線及び機器を撤去すること。
3. 図中、細線の配管配線及びシボ'並'びに薄文字表記の機器は既設(残置)を示す。
4. 不用物のうち、壁・床打込配管は残置とする。
5. 図面表現のない不用配線についても併せて撤去すること。
6. 図中、“再”付記シボ'は'取外し(再取付)を示す。
7. 図中、指示なき配管配線は下記による。
 - 天井内 撤去
 - 床下内 撤去
8. 居ながら改修となる為、施設利用者や施設管理者の動線に留意して施工すること。

凡例

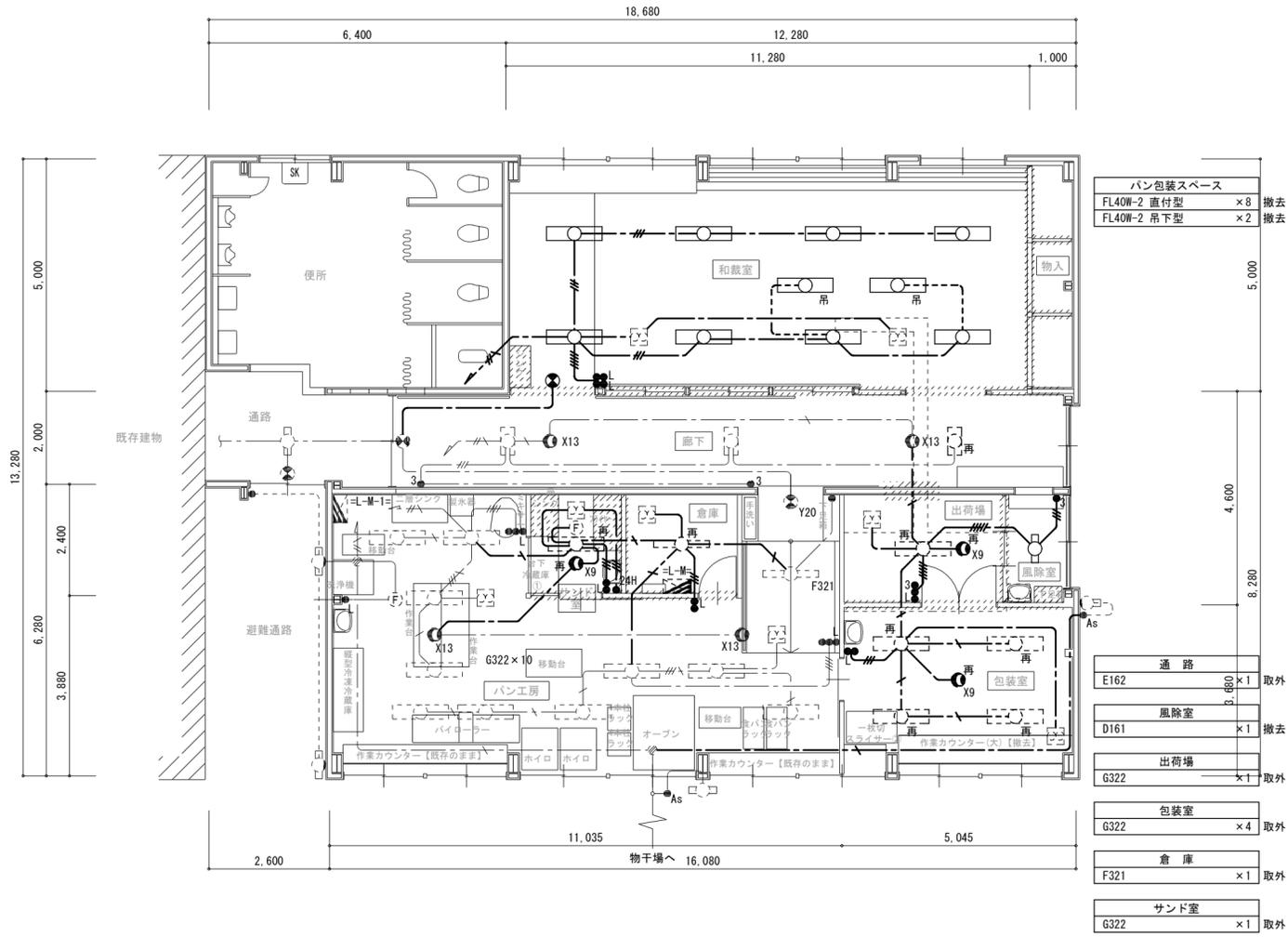
記号	名称	摘要
	電灯動力分電盤	E-3, E-4参照
	手元開閉器	3P60A
	手元開閉器	3P150A
	動力コンセント	接地3P15A
	動力コンセント	接地3P20A
	ファン用押釦	モーター直入用 2P

注記

1. 既設建物を十分調査の上、施工すること。
2. 図中に示す配管配線及び機器を新設すること。
3. 図中、細線の配管配線及びシボ'並'びに薄文字表記の機器は既設を示す。
4. 図中、“再”付記シボ'は'取外し機器の再取付を示す。
5. 図中、指示なき配管配線は下記による。
 - EM-CE 3.5sq-4C (107-ス) 天井内
 ※VE付記部分は、露出配管(HIVE22)にて配線保護を施す
6. 居ながら改修となる為、施設利用者や施設管理者の動線に留意して施工すること。
7. 天井改修しない部分(通路)を通る配線を敷設する場合には、必要に応じて天井'ド'の取り外し復旧を行うこと。

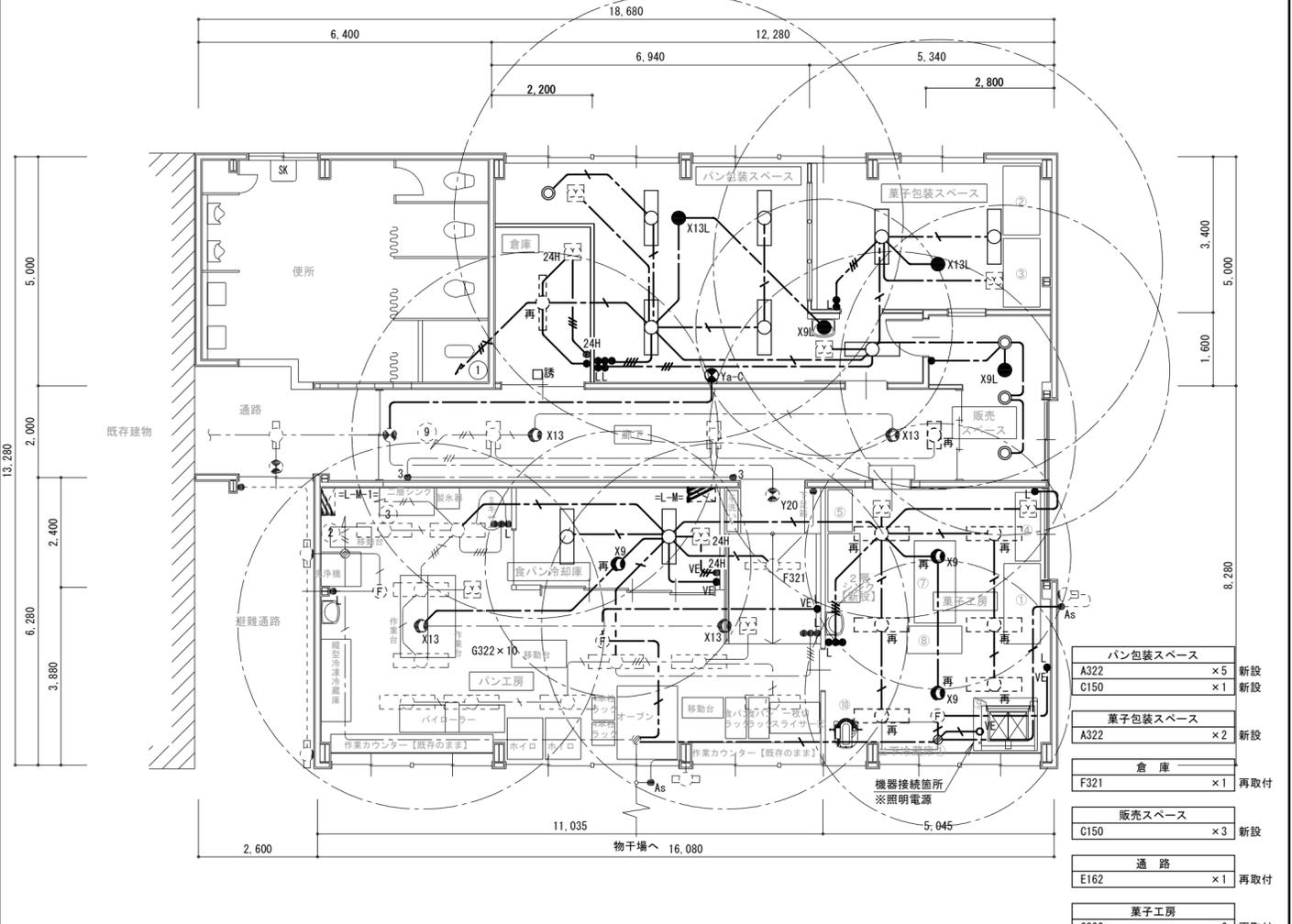
凡例

記号	名称	摘要
	電灯動力分電盤	E-3, E-4参照
	動力分電盤	E-3参照
	鋼製J'社'ツク'	さび止め塗装 SS400×400×150H ※床下に設置
	手元開閉器	MCCB3P15A 参考:BCD315N
	手元開閉器	MCCB3P30A 参考:BCD330N
	動力コンセント	接地3P15A 防水キャップ(リッド'線'接続含む)共
	動力コンセント	接地3P20A 防水キャップ(リッド'線'接続含む)共



改修前平面図 S=1/100
電灯設備

パン包装スペース		
FL40W-2 直付型	×8	撤去
FL40W-2 吊下型	×2	撤去
E162	通路	×1 取外し
D161	風除室	×1 撤去
G322	出荷場	×1 取外し
G322	包装室	×4 取外し
F321	倉庫	×1 取外し
G322	サンド室	×1 取外し



改修後平面図 S=1/100
電灯設備

パン包装スペース		
A322	×5	新設
C150	×1	新設
菓子包装スペース		
A322	×2	新設
倉庫		
F321	×1	再取付
販売スペース		
C150	×3	新設
通路		
E162	×1	再取付
菓子工房		
G322	×6	再取付
食パン冷却庫		
A321	×2	新設

注記

1. 既設建物を十分調査の上、施工すること。
2. 図中に示す配管配線及び機器を撤去すること。
3. 図中、細線の配管配線及びシボと並びに薄文字表記の機器は既設(残置)を示す。
4. 不用物のうち、壁・床打込配管は残置とする。
5. 図面表現のない不用配管についても併せて撤去すること。
6. 図中、指示なき配管配線は下記による。

WF 2.0-3C (1C7-X)	天井内
WF 1.6-2C	天井内
WF 1.6-3C (1C7-X)	天井内
WF 1.6-3C	天井内
WF 1.6-2C×2	天井内
WF 1.6-2C+3C	天井内
WF 1.6-2C	露出
7. 居ながら改修となる為、施設利用者や施設管理者の動線に留意して施工すること。

凡例

記号	名称	摘要
	電灯動力分電盤	E-3, E-4参照
	照明器具	天井付
	非常灯	天井埋込型 蓄電池内蔵
	避難口誘導灯	壁取付型 蓄電池内蔵
	埋込スイッチ	1P15A
	埋込スイッチ	1PL4A
	埋込スイッチ	3W15A
	換気スイッチ	ON-PFF + 強-弱
	ジョイントボックス	
	ファン・換気扇	機械設備工事

注記

1. 既設建物を十分調査の上、施工すること。
2. 図中に示す配管配線及び機器を新設すること。
3. 図中、細線の配管配線及びシボと並びに薄文字表記の機器は既設を示す。
4. 図中、“再”付記シボは取外し機器の再取付を示す。
5. 図中、指示なき配管配線は下記による。

EM-EEF 2.0-3C (1C7-X)	天井内
EM-EEF 1.6-2C	天井内
EM-EEF 1.6-3C (1C7-X)	天井内
EM-EEF 1.6-3C	天井内
EM-EEF 1.6-2C×2	天井内

 ※VE付記部分は、露出配管(HIVE22)にて配線保護を施す
6. ケブ配線において、新設壁立上下部はPF管にて保護のこと。
7. 居ながら改修となる為、施設利用者や施設管理者の動線に留意して施工すること。
8. 天井改修しない部分(通路)を通る配線を敷設する場合には、必要に応じて天井材の取り外し復旧を行うこと。

凡例

記号	名称	摘要
	電灯動力分電盤	E-3, E-4参照
	照明器具	天井付 E-4参照
	照明器具	天井付 E-4参照
	照明器具	天井付 E-4参照
	照明器具	天井付 E-4参照
	照明器具	天井付 E-4参照
	非常灯	天井埋込型 蓄電池内蔵 E-4参照
	避難口誘導灯	壁取付型 蓄電池内蔵 E-4参照
	埋込スイッチ	1P15A
	埋込スイッチ	1PL4A
	埋込スイッチ	3W15A
	換気スイッチ	ON-PFF + 強-弱
	ジョイントボックス	
	誘導灯用ボックス	中形(FL20W) 参考:FK21747C加工
	換気スイッチ	機械設備工事 ON-PFF + 強-弱
	ファン・換気扇	機械設備工事

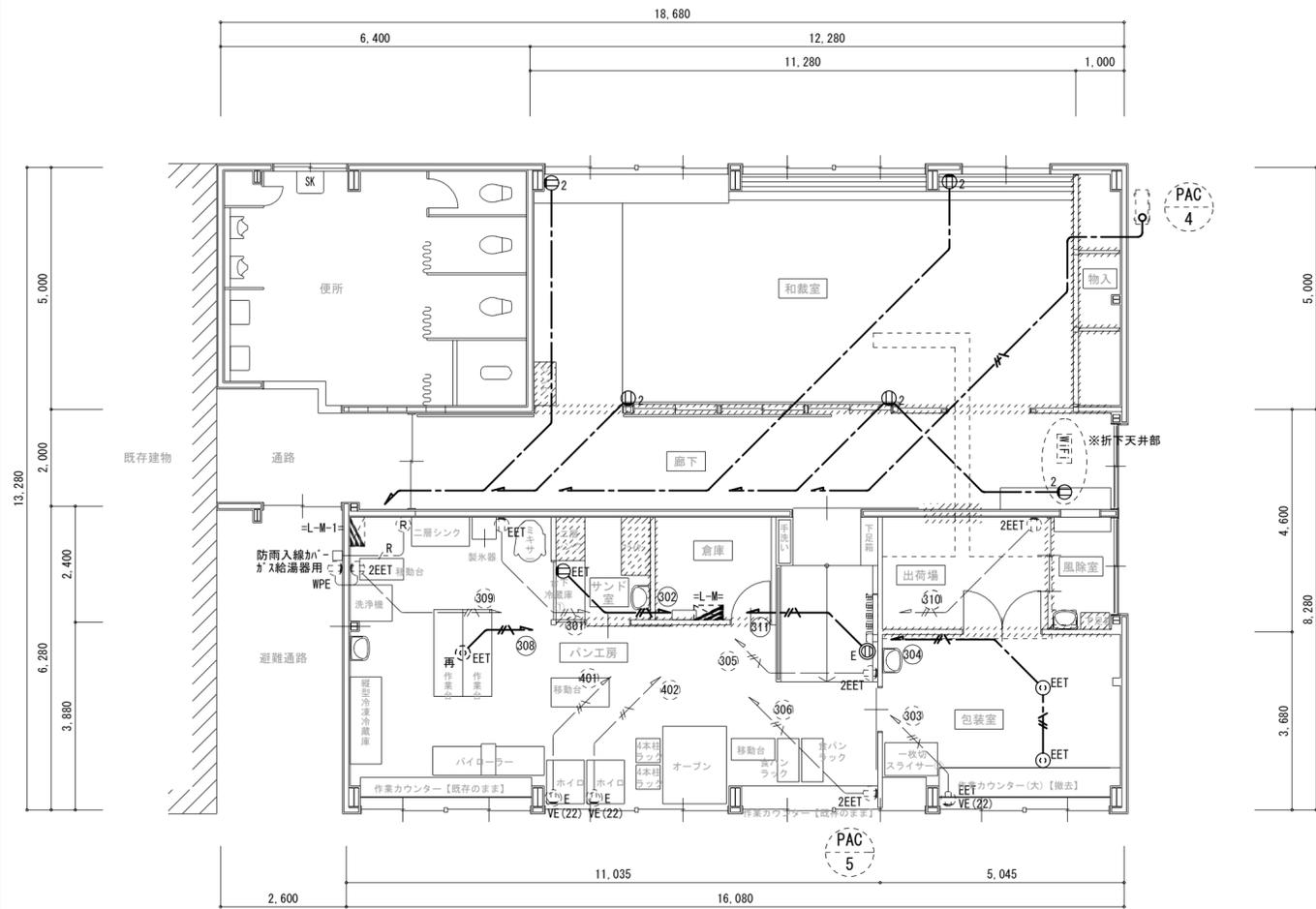
伏野つばき園パン工房改修工事
電灯設備 平面図 撤去参考図

CHECKED BY.

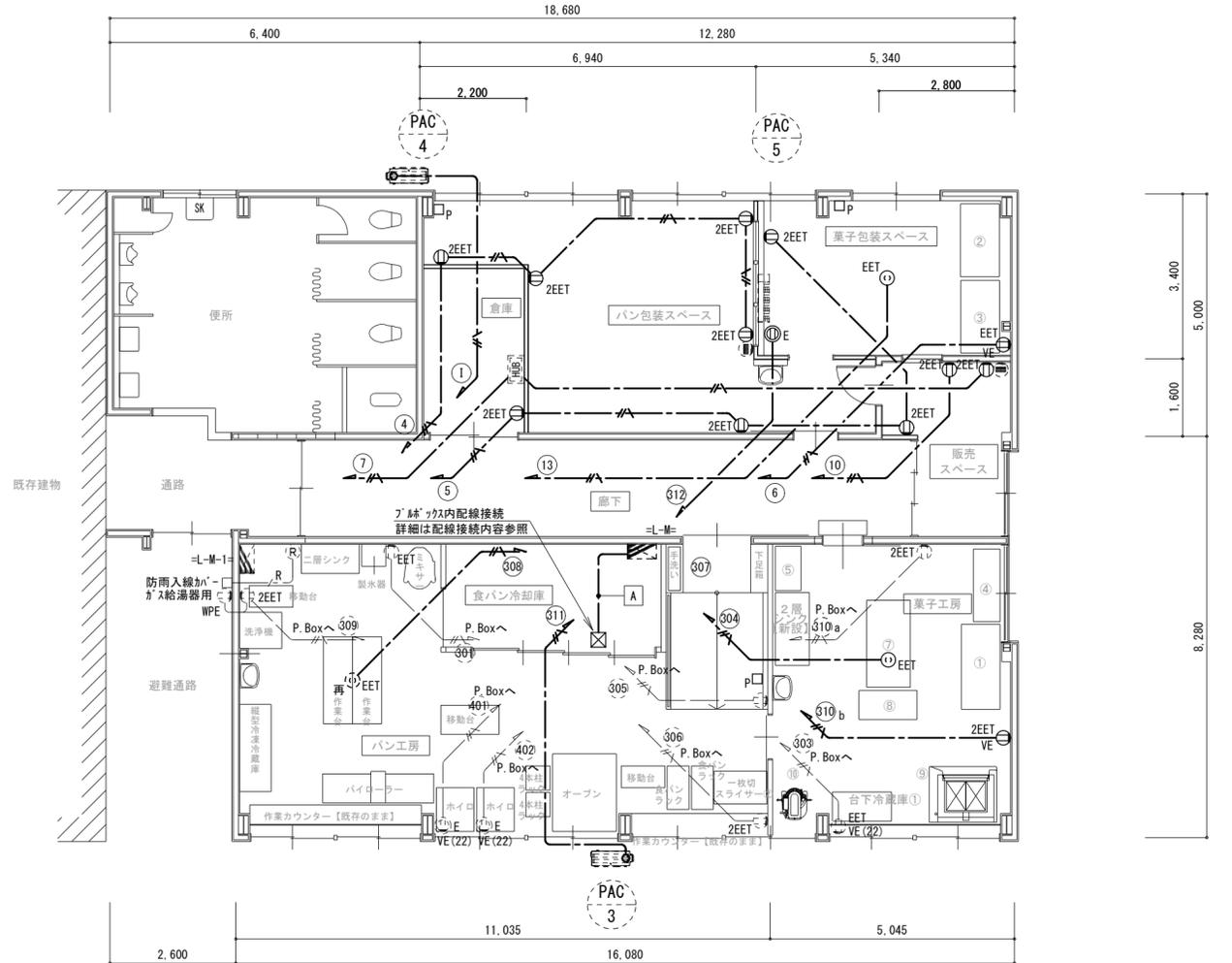
株式会社 白兔設計事務所

鳥取県知事 登録番号 第05-142
管理建築士(一級建築士登録番号 202791) 萩田 浩明

PROJECT NO	DATE	DRAWING BY.
2024-28	2024.12	二級建築士登録番号 第4438号 加賀田 ゆかり
DRAWING NO	SCALE	
E-7	A2:1/100 A3:1/141	



改修前平面図 S=1/100
コンセント設備



改修後平面図 S=1/100
コンセント設備

【ブルックス内配線接続内容】
●EM-EEF2.0-3C-EM-EEF2.0-3C ~8組

注記

1. 既設建物を十分調査の上、施工すること。
 2. 図中に示す配管配線及び機器を撤去すること。
 3. 図中、細線の配管配線及びシボと並びに薄文字表記の機器は既設(残置)を示す。
 4. 不用物のうち、壁・床打込配管は残置とする。
 5. 図面表現のない不用配線についても併せて撤去すること。
 6. 図中、“再”付記シボは取外し(再取付)を示す。
 7. 図中、指示なき配管配線は下記による。
- | | |
|-------------------|-----|
| WF 2.0-2C | 天井内 |
| WF 2.0-3C (1C7-S) | 天井内 |
| WF 2.0-3C (1C7-N) | 床下内 |
8. 居ながら改修となる為、施設利用者や施設管理者の動線に留意して施工すること。

凡例

記号	名称	摘要
	電灯動力分電盤	E-3, E-4参照
	埋込コンセント(壁付)	125V 2P15A×2
	埋込コンセント(壁付)	125V 2P15A×1, ET
	埋込コンセント(壁付)	125V 2P15A×2, ET
	埋込コンセント(壁付)	250V 2P15A
	埋込コンセント(天井付)	250V 2P15・20AE
	リレーコンセント	2P15AELK×2
	給湯用リコソ	
	7ヶ所ポイント	E-9参照

注記

1. 既設建物を十分調査の上、施工すること。
 2. 図中に示す配管配線及び機器を新設すること。
 3. 図中、細線の配管配線及びシボと並びに薄文字表記の機器は既設を示す。
 4. 図中、“再”付記シボは取外し機器の再取付を示す。
 5. 図中、指示なき配管配線は下記による。
- | | |
|-----------------------|----------|
| EM-EEF 2.0-3C (1C7-N) | 天井内・冷媒共巻 |
|-----------------------|----------|
- ※VE付記部分は、露出配管(HIVE22)にて配線保護を施す
6. ケブル配線において、新設壁立上下部はPF管にて保護のこと。
 7. 居ながら改修となる為、施設利用者や施設管理者の動線に留意して施工すること。
 8. 天井改修しない部分(通路)を通る配線を敷設する場合には、必要に応じて天井ボードの取り外し復旧を行うこと。

凡例

記号	名称	摘要
	電灯動力分電盤	E-3, E-4参照
	鋼製ブルックス	E-6参照
	埋込コンセント(壁付)	125V 2P15A×1, ET
	埋込コンセント(壁付)	125V 2P15A×2, ET
	埋込コンセント(壁付)	250V 2P15A
	埋込コンセント(天井付)	250V 2P15・20AE, ET
	リレーコンセント	2P15AELK×2
	フラッシュプレート	新金属 1個用
	給湯用リコソ	
	情報コンセント	E-9参照
	HUB収納盤	E-9参照

伏野つばさ園パン工房改修工事

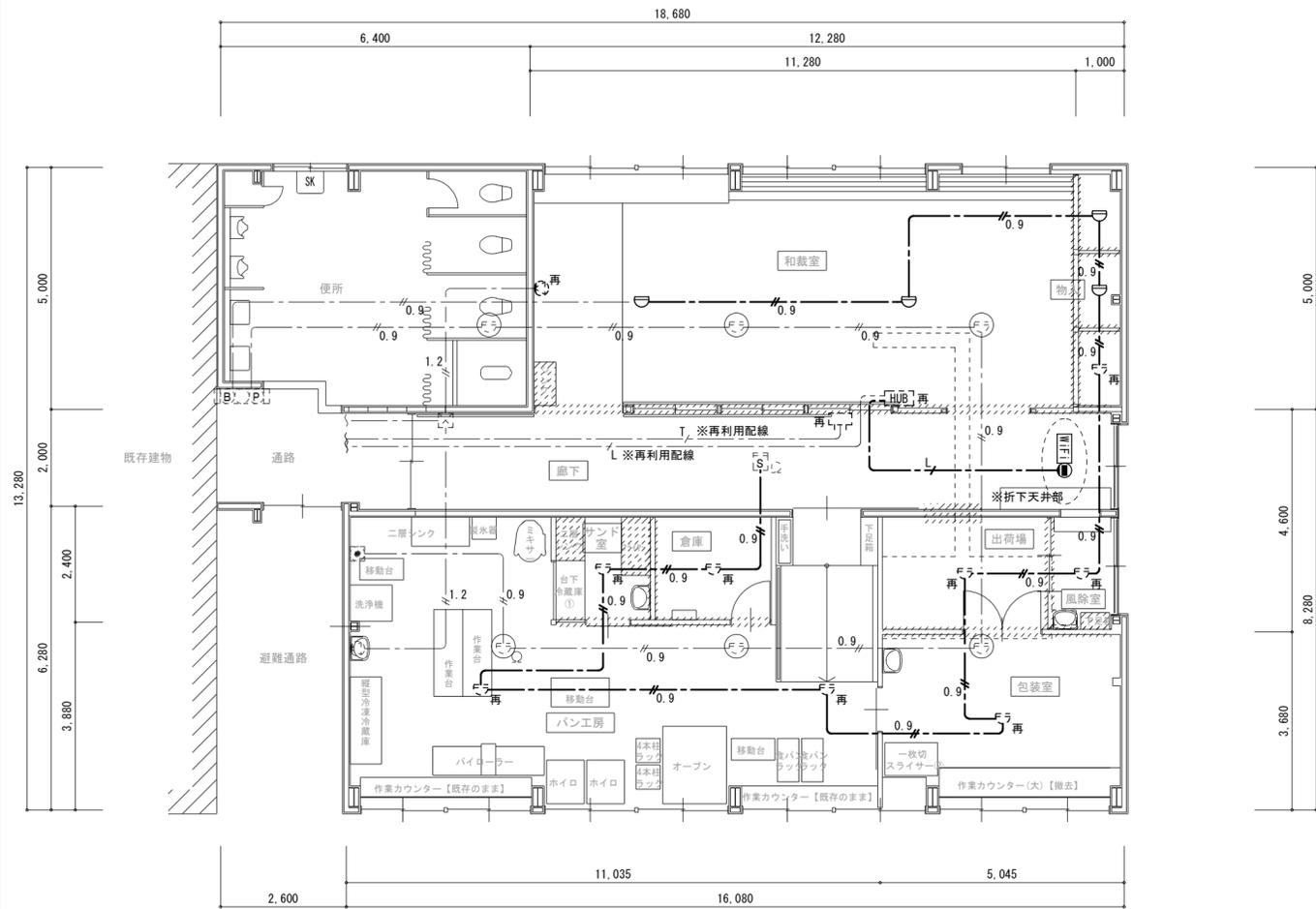
コンセント設備 平面図 撤去参考図

CHECKED BY.

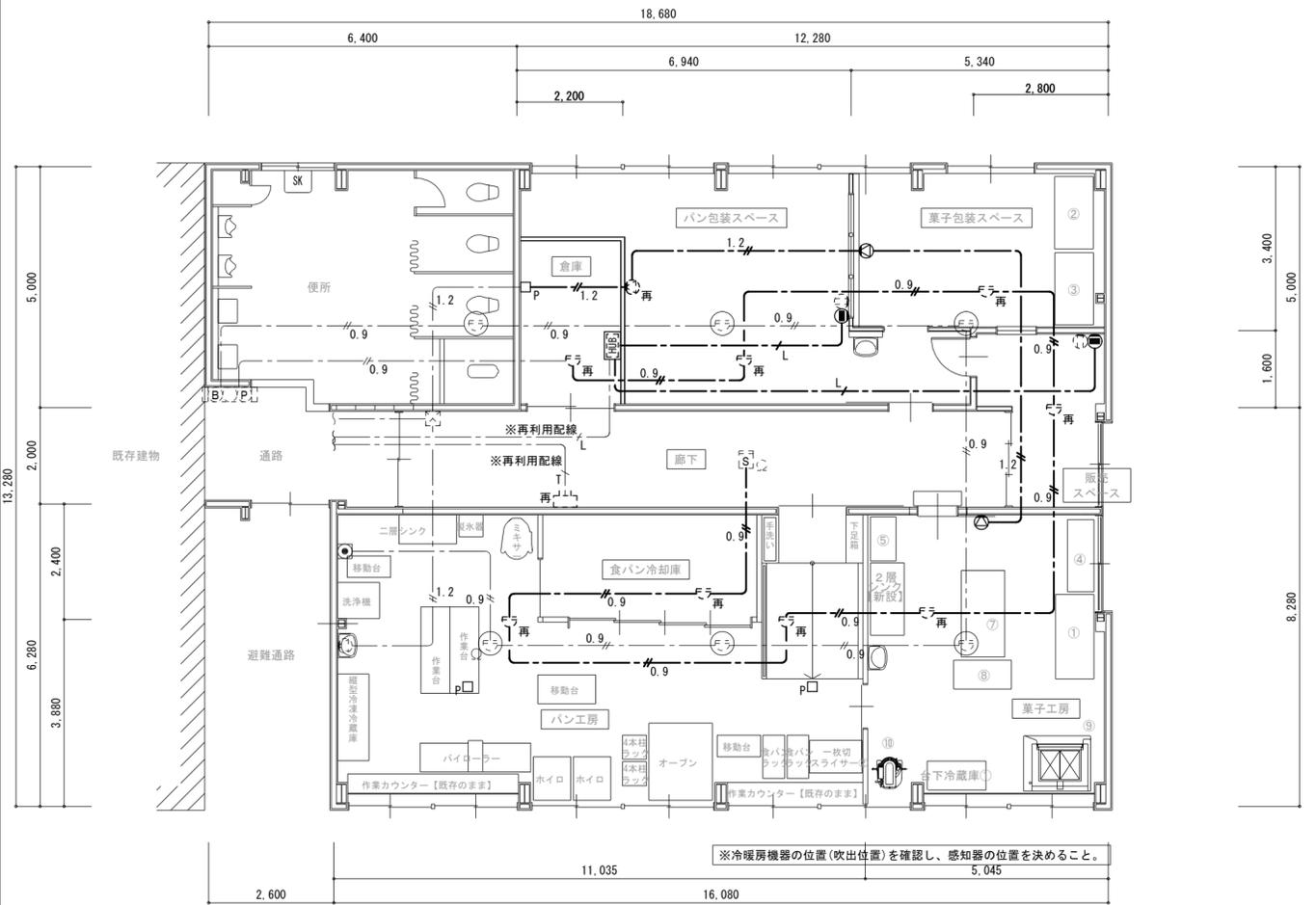
株式会社 白兔設計事務所

鳥取県知事 登録番号 第05-142
管理建築士(一級建築士登録番号 202791) 萩田 浩明

PROJECT NO	DATE	DRAWING BY.
2024-28	2024.12	二級建築士登録番号 第4438号 加賀田 ゆかり
DRAWING NO	SCALE	
E-8	A2:1/100 A3:1/141	



改修前平面図 S=1/100
通信・情報設備



改修後平面図 S=1/100
通信・情報設備

注記

1. 既存建物を十分調査の上、施工すること。
2. 図中に示す配管配線及び機器を撤去すること。
3. 図中、細線の配管配線及びシボと並びに薄文字表記の機器は既設(残置)を示す。
4. 不用物のうち、壁・床打込配管は残置とする。
5. 図面表現のない不用配線についても併せて撤去すること。
6. 図中、“再”付記シボは取外し(再取付)を示す。
7. 図中、指示なき配管配線は下記による。

0.9	AE 0.9-2C	天井内
1.2	AE 1.2-2C	天井内
L	UTP Cat. 5E-4P	天井内
T	EBT 0.4-2P	天井内
8. 居ながら改修となる為、施設利用者や施設管理者の動線に留意して施工すること。

凡例

記号	名称	摘要	
☐	ｽﾍﾞｯﾄ型感知器	差動式 2種 露出型	
⊖	ｽﾍﾞｯﾄ型感知器	差動式 2種 露出型 小屋裏設置	
⊙	回路試験器	小屋裏感知器用	
Ω	終端抵抗		
☐BPP	火報総合盤		既設
☐S	光電式煙感知器	2種 非蓄積型 露出	既設
⊖	ｽﾍﾞｯｶ	壁掛型	
⊖	情報コンセント	Cat. 5E	
☐PHS7ﾈｯﾄ	PHS7ﾈｯﾄ		移設
☐HUB	ｽｲｯﾁﾝｸﾞ HUB	5ﾎﾞｰﾄ	移設
☐WiFi	Wi-Fiｱｯｸｽﾞ ﾀﾝﾄ		撤去

注記

1. 既存建物を十分調査の上、施工すること。
2. 図中に示す配管配線及び機器を新設すること。
3. 図中、細線の配管配線及びシボと並びに薄文字表記の機器は既設を示す。
4. 図中、“再”付記シボは取外し機器の再取付を示す。
5. 図中、指示なき配管配線は下記による。

0.9	EM-AE 0.9-2C	天井内
1.2	EM-AE 1.2-2C	天井内
L	EM-UTP Cat. 5E-4P	天井内
T	EBT 0.4-2P	天井内
6. ケブル配線において、新設壁立上下部はPF管にて保護のこと。
7. 居ながら改修となる為、施設利用者や施設管理者の動線に留意して施工すること。
8. 天井改修しない部分(通路)を通る配線を敷設する場合には、必要に応じて天井ｶﾞｰﾄﾞの取り外し復旧を行うこと。

凡例

記号	名称	摘要	
☐	ｽﾍﾞｯﾄ型感知器	差動式 2種 露出型	
⊖	ｽﾍﾞｯﾄ型感知器	差動式 2種 露出型 小屋裏設置	
⊙	回路試験器	小屋裏感知器用	
Ω	終端抵抗		
☐BPP	火報総合盤		既設
☐S	光電式煙感知器	2種 非蓄積型 露出	既設
⊖	ｽﾍﾞｯｶ	壁掛型	
⊖	情報コンセント	Cat. 5E	
☐PHS7ﾈｯﾄ	PHS7ﾈｯﾄ		移設
☐HUB	HUB収納盤(WB-3A0相当)	既設ｽｲｯﾁﾝｸﾞ HUB(5ﾎﾞｰﾄ)収納 露出コンセント(2P15AELK×2)収納	
☐P	ﾌﾗｯｼｬﾌﾟﾚｰﾄ	新金属 1個用	

一般共通事項	26 溶接配管の検査	<ul style="list-style-type: none"> ガス配管 冷水水配管 冷却水配管 非破壊検査の適用（放射線透過検査、浸透探傷検査又は磁粉探傷検査） 抜取率（標準仕様書による） <ul style="list-style-type: none"> 地中埋設標を明示する箇所に設ける。 埋設表示用テープを埋設する。（ガス管、屋外給水管、屋外消火管） ポンプ、屋外設置機器及びピット内に使用するアンカーボルト、ナットはSUS304製とする。 屋外及びピット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または溶融亜鉛めっき仕上げとする。												
	27 埋設表示	下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。 <ul style="list-style-type: none"> 温度 湿度 風量 風速 じんあい 飲料水水質 一般飲料水適否検査 浄化槽放流水質 その他水質等 雑用水 空調用流体 												
	28 支持金物・固定金具	建築改修標準仕様書 9章 環境配慮改修工事 1節 アスベスト含有建材の処理工事による。 処理を行うアスベスト含有建材の仕様等												
	29 総合試運転調整	<table border="1"> <thead> <tr> <th>建材の内容・箇所</th> <th>仕様等</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲									
	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲											
	30 アスベスト含有建材の処理	<ul style="list-style-type: none"> 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者を活用するものとする。 官公署その他への手続きは、建築改修標準仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。 洗浄設備（洗眼、うがいの設備）及び更衣設備等を設ける。 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。 工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成に不ならい補修する。 既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。 調査方法 <ul style="list-style-type: none"> 放射線透過検査 探場の設置は、「手すり先行工法に関するガイドラインについて」（厚労省 基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する足場とし、足場の組立て等の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 												
	31 補修など	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。												
32 はつり	実施する。													
33 はつり工事における非破壊検査	工事的目的及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。 （保険の加入期限は、工事完成引渡しまで「概ね工期+21日」とする。）													
34 足場	グリーン購入は次のものとする。 <ul style="list-style-type: none"> 空調用機器（パッケージエアコン） 断熱材 その他 衛生器具 配管材 再生硬質塩化ビニル管 													
35 工事安全計画書等	対象工事													
36 室内空気中の化学物質の濃度測定	対象工事													
37 火災保険等														
38 グリーン購入														
39 鳥取県公共工事環境配慮指針														
40 建築物省エネ法														

空気調和設備 冷暖房設備 換気設備	1 設計用温湿度条件	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3"> </th> <th colspan="4">外気条件</th> <th colspan="4">室内（調整目標値）</th> </tr> <tr> <th colspan="2">一般</th> <th colspan="2">（ ）</th> <th colspan="2">一般</th> <th colspan="2">（ ）</th> </tr> <tr> <th>温度</th> <th>湿度</th> <th>温度</th> <th>湿度</th> <th>温度</th> <th>湿度</th> <th>温度</th> <th>湿度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏季</td> <td>36.0℃</td> <td>61.6%</td> <td>28.0℃</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>-0.6℃</td> <td>80.8%</td> <td>19.0℃</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		外気条件				室内（調整目標値）				一般		（ ）		一般		（ ）		温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	夏季	36.0℃	61.6%	28.0℃						冬季	-0.6℃	80.8%	19.0℃					
		外気条件				室内（調整目標値）																																							
		一般		（ ）		一般		（ ）																																					
		温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度																																				
	夏季	36.0℃	61.6%	28.0℃																																									
	冬季	-0.6℃	80.8%	19.0℃																																									
	2 冷却水管	※ SGP（白） ● SGP-VA ● SGP-PA																																											
	3 冷水・温水・冷水水管	※ SGP（白） ● SGP-HVA ● ステンレス鋼管（SUS304） ● 架橋ポリエチレン管（ファンコイル機器接続部に限る） ● ポリブテン管（ファンコイル機器接続部に限る）																																											
	4 膨張・空気抜・補給水管	※ SGP（白） ● ステンレス鋼管（SUS304）																																											
	5 蒸気給気管	※ SGP（黒）																																											
6 蒸気還水管	※ STPG370-Sch40（黒） ● ステンレス鋼管（SUS304）																																												
7 油・油用通気管	一般配管 ※ SGP（黒） 地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管																																												
8 冷媒管	※ 断熱材被覆鋼管																																												
9 空調用給水管	● ステンレス鋼管 ● SGP-VA ●																																												
10 空調用排水管	※ SGP（白） ◎ VP																																												
11 弁類	※ 5K ● 10K																																												
12 ファンコイルユニット	※ 流量調整弁 ● 定流量弁（ダイヤフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形）を取付ける。																																												
13 ダンパー	（ア）防煙ダンパー ※ 遠隔復帰式 ● 電気式（動作用電圧、電流はDC24V、0.7A以下とする。） （イ）ピストンダンパー ※ 遠隔復帰式 ●																																												
14 ダクト	● 低圧ダクト ● 高圧1ダクト ● 高圧2ダクト ● 長方形ダクト ● コーナーボルト工法（● 共板工法 ● スライドオンフランジ工法） （長辺1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする。） ● アングルフランジ工法 ● 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。																																												
15 吹出口・吸込口	ボックス ※ 亜鉛鉄板製 ● グラスウール製																																												
16 チャンパー等	シーリングディフューザーの接続は、標準図（施工47）を参考とする。 接続するダクトの施工が困難な場所ではフレキシブルダクトを使用してもよい。 線状吹出口には、（長さ+100）×300×300Hの接続チャンパーを設ける。 外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合には、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。 吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類に内貼する。 内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。 吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口（原則400×600）を取付ける。																																												
17 消音内貼り																																													

給湯設備	18 瞬間流量計及び流量測定口	形式はビトー管式（コック付）とする。 ● 着脱式 ● 固定式 下記の箇所、若しくは図示により取付ける。 <ul style="list-style-type: none"> 冷凍機類の冷却水出口 冷凍機類の冷却水出口 ボイラー又は熱交換器の温水出口 冷水水ヘッダーの各送り管 ユニット形空調機和機の冷水水入口 メカニカル形 ● 風速センサー形 機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付L形温度計 空気溜りを生ずるとされる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。 ※ 手動 ● 自動 自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工36（g）） 機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から2mの範囲とする。
	19 定風量・変風量ユニット	トラップ形式はフロートボール式（床置型） ※ FRP製保温型 ● FRP製 ● SUS製
	20 温度計	材質及び厚さ ● SS400（※3.2mm ● 4.5mm） ● SUS（※1.5mm ● 2.0mm） 煤煙濃度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける 煤じん量測定口（80φ×2） ※ 取付ける ● 取付けない
	21 冷水水管の空気抜き	油面計はゲージ式（側圧計）とする。 据付け方法 ● 標準図（施工30）（二重殻タンク・タンク室無し） ● 標準図（施工31）（タンク室有り） タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト 基礎杭 ※ 不要 ● 要（※別途工事 ● 本工事） 土留め工事 ● 要 ● 不要 タンクローリー用アース端子を設ける。 油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ● 機器表特記による。 ● 空調機和機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。
	22 空調機用トラップ	インバーター機の場合は表示された能力は、型番で選定する。
	23 鋼板製煙道	標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷水水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。
	24 オイルサーピスタック	※ 亜鉛鉄板製 ● 鋼板製（厚1.6mm） 形状 ● パネル形 ● スリット形 ● ダンパー形 取付け ● 天井取付 ● 壁取付 電気式（遠隔操作 ※ 不要 ● 要）
	25 地下オイルタンク	建築設備定期検査業務基準書2016年版（一財）日本建築設備・昇降機センター）の検査方法に準ずる。
	26 油面制御装置	● 有り（構成機能は、図示による） ● 無し ● 要（● 本工事 ● 別途工事） ● 不要 取付高さ ※ 1300mm ● mm
	27 フィルター等付属品	● 屋外、屋内露出の配線は、図面に表記のない限り金属管配線とする。 ◎ 天井隠べいの配線は、図面に表記のない限りケーブル配線とする。
28 パッケージ空調機の能力表示		
29 防振吊り及び支持金物		
衛生器具設備	4 1 ダクト	型番変更により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考品番の同等品以上のものとする。
	2 排煙口	※ 節水形 ● 標準形
	3 排煙口開放及び復帰方式	● 自動洗浄（●AC100V ●乾電池 ●自己発電） ● 手動洗浄 ● 洗浄水量4リットル/回以下
	4 排煙風量測定	電源供給方式 ● AC100V ● 乾電池 ● 自己発電
	5 中央監視制御盤装置	標準図（施工66）の（b）
	2 電源装置	● 親メーター ※ 借用（※直読 ● 遠隔表示） ● 子メーター ※ 買取 ● 借用（※直読 ● 遠隔表示）
	3 温度調節器等	（ア）一般配管 ◎ SGP-VB ● SGP-PB ● SUS304 ● SUS316 ● H1VP ● 架橋ポリエチレン管 （イ）土間配管 ◎ SGP-VD ● SGP-PD ● H1VP ● SUS304 ● SUS316 （ウ）屋外埋設配管 ● SGP-VD ● SGP-PD ● H1VP ● SUS304 ● SUS316 ● 水道配水用ポリエチレン管（75～100A） ● 水道用ポリエチレン管（50A以下）
	4 計装工事の配線	（エ）特記なき給水管の最小口径は20Aとする。 （オ）ビニル管の接合方法 ※ 接着接合 ● ゴム輪接合（直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする。） （カ）ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ※ 金属製継手 ● 融着継手 75A以上 ※ 融着継手
	1 中央監視制御盤装置	※ 口径65A以上の仕切弁及び止弁等は、ライニング弁とする。 ● 5K（受水槽以降の配管に使用） ● 10K（公営水道に直結する配管に使用） ● 公営水道事業者指定の止水栓又は弁（給水引込部に使用）
	2 電源装置	屋外に設置する水槽のマンホール蓋は保温形（二重蓋含む）とする。
3 温度調節器等		
4 計装工事の配線		
給湯設備	1 量水器	● 親メーター ※ 借用（※直読 ● 遠隔表示） ● 子メーター ※ 買取 ● 借用（※直読 ● 遠隔表示）
	2 配管材料	（ア）一般配管 ◎ SGP-VB ● SGP-PB ● SUS304 ● SUS316 ● H1VP ● 架橋ポリエチレン管 （イ）土間配管 ◎ SGP-VD ● SGP-PD ● H1VP ● SUS304 ● SUS316 （ウ）屋外埋設配管 ● SGP-VD ● SGP-PD ● H1VP ● SUS304 ● SUS316 ● 水道配水用ポリエチレン管（75～100A） ● 水道用ポリエチレン管（50A以下） （エ）特記なき給水管の最小口径は20Aとする。 （オ）ビニル管の接合方法 ※ 接着接合 ● ゴム輪接合（直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする。） （カ）ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ※ 金属製継手 ● 融着継手 75A以上 ※ 融着継手
	3 弁類	※ 口径65A以上の仕切弁及び止弁等は、ライニング弁とする。 ● 5K（受水槽以降の配管に使用） ● 10K（公営水道に直結する配管に使用） ● 公営水道事業者指定の止水栓又は弁（給水引込部に使用）
	4 水槽のマンホール	屋外に設置する水槽のマンホール蓋は保温形（二重蓋含む）とする。
	1 配管材料	（ア）屋内汚水管 ◎ VP ● RF-VP ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火二層管 （イ）屋内雑排水管 ◎ VP ● RF-VP ● SGP（白） ● 排水用塩ビライニング鋼管 （ウ）ポンプ排水管 ● VP（水道用） ● H1VP ● 排水用塩ビライニング鋼管（圧送排水鋼管用継手） （エ）通気管 ● VP ● RF-VP ● SGP（白） ● 排水用塩ビライニング鋼管 （オ）屋外排水管 ◎ VP ● RF-VP ◎ VU（地中） ● REP-VU（地中） ● RS-VU ● 卵形管 ● コンクリート管
	2 満水試験継手	3階以上にわたる排水管立て管に満水試験継手を ※ 取付ける ● 取付けない
	3 バイパスシャフト内配管の保温	※ 施工する ● 施工しない
	4 煙試験	※ 行なわなくてもよい ● 図示の系統のみ行なう
	1 配管材料	● SGP-HVA ◎ ステンレス鋼管 ● 架橋ポリエチレン管 ● 保温付被覆鋼管 ● 鋼管 沸騰器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。
	2 弁類	※ 5K ● 10K

消火設備	1 配管材料	（ア）一般配管 ● SGP（白） ● STPG （イ）土間下配管 ● SGP-VS ● STPG-VS （ウ）屋外埋設配管 ● SGP-VS ● STPG-VS ※ 10K ● 16K （ア）呼水タンク ※ 施工しない ● 施工する （イ）充水タンク ※ 施工しない ● 施工する （ウ）配管の保温は次による。（屋外露出箇所は種別e2・（ハ）・VIIによる） ● 屋外消火栓用（※ 施工しない ● 施工する） ● スプリングラー用（※ 施工しない ● 施工する） ● 連結排水用（※ 施工しない ● 施工する） ● 連結排水用（※ 施工しない ● 施工する）
	2 弁類	● 広範囲型2号消火栓 ● 易操作性1号消火栓 ● 屋内消火栓（● 1号 ● 2号）
	3 保温	● 素索 ● IG-541 ● IG-55 ● HFC-227ea ● HFC-23 ※ 手動 ● 自動手動切替式
	4 屋内消火栓	
	5 ガス系消火剤の種類	
	6 ガス系消火の起動方式	
	1 都市ガス設備	都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。
	2 配管材料	（ア）一般配管 ※ SGP（白） ● 合成樹脂被覆鋼管 （イ）土間下配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 （ウ）屋外埋設配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ● ガス用ポリエチレン管 ● 親メーター ※ 借用 ● 買取（取付け ※ 別途 ● 本工事） ● 子メーター ※ 買取 ● 借用（取付け ※ 本工事 ● 別途） ● 縦型 ● 横型 ● 借用 ● 買取 ● 標準図（施工72）の ● 要領（a） ● 要領（b） ● 要領（c） ● 標準図（施工73）の ● 要領（a） ● 要領（b） ● 不要 ● 要（※別途工事 ● 本工事）
	3 ガスメータ	● 併合処理（● 接触ばっ気方式 ● 長時間ばっ気方式 ● 回転板接触方式） ● ユニット型 ● 現場施工型 ● 処理対象人員 人 ● 処理水量 m3/d ● 流入BOD 200mg/L ● 放流水質BOD 20mg/L以下 ● T-N mg/L以下 ● T-P mg/L以下 ※ 自然流下 ● ポンプ排水 ● 砂 ● 根切土の中の良質土 ● 不要 ● 要（図示による） ※ 製造者標準仕様（ロック式） ● MHA型（ポルト式） 3ヶ月相当分を納入する。
	4 バルク貯槽	
5 容器廻りの配管		
6 容器転倒防止		
7 ガス漏れ警報器		
1 処理種別及び方式	● 小規模合併処理（● 分離接触ばっ気方式 ● 嫌気ろ床接触ばっ気方式 ● 脱窒ろ床接触ばっ気方式） ● その他性能評価を受けた方式（ ）	
2 型式		
3 処理能力		
4 放流水の水質		
5 排水方式		
6 埋戻し土		
7 土留め工事		
8 マンホールふた		
9 消毒薬		
[Ⅲ] 機材等		
この工事に使用する機材は下記に記載されているもの他、同等品以上とする。 設計図書の商品番号は、特定の製品を限定しない。 同等品以上とする場合には、同等品承諾願いを提出し監督員の承諾を得ること。		
品名	メーカー名	
1. 管・継手材料 (1) 管材料 (2) 継手材料 (3) 伸縮継手 (4) 可とう継手・防振継手	JISマーク表示品・水マーク表示品 JISマーク表示品・水マーク表示品 テクノフレックス センシン 東洋バルブ 荏原 テラル 川本 日立 テクノフレックス	
2. 弁類 3. 衛生器具及び付属品 4. ポンプ類 (1) うず巻ポンプ・多段ポンプ (2) 水中ポンプ (3) 電動真空給水ポンプ 5. 水槽（FRP・鋼板・ステンレス） 6. 消火器具 (1) 消火栓 (2) 炭酸ガス消火装置 (3) スプリングラー消火・泡消火 7. 排水金物 8. マンホール蓋 9. 鋼製ボイラー・温水ヒーター 10. 鋼鉄製ボイラー 11. F.F.ファンヒーター 12. エアコン 13. ガスヒートポンプ 14. 冷凍機等 (1) 往復動冷凍機 (2) 遠心冷凍機 (3) 吸込冷凍機 15. 冷却却塔 16. 空調機 (1) ファンコイルユニット型 (2) ユニット空調機 17. 放熱器 18. 放熱器・トラップ・減圧弁・温度調節弁 19. 空調用自動制御機器・制御盤 20. 吹出口・吸込口・ダンパー 21. 製缶類 22. 送風機・換気扇 23. ガス器具（湯沸し器類） 24. 煎湯機 25. 尿浄化槽（汚水処理施設） 26. 水処理装置 27. メーター類 28. 全熱交換機 29. タンク付属部品・レベルメーター 30. グリーストラップ 31. 熱交換機 32. 床暖房 33. 塩ビ製樹脂	荏原 テラル 川本 日立 荏原 テラル 川本 日立 荏原 川本 昭和 積水 日立 森松 NYK西日本 西日本クリスタル 立売堀 能美 ホーチキ 能美 ホーチキ 立売堀 小島 ホーコス 小島 日本サーモエナー 三浦 巴 前田 サンポット 日立 荏原 パナソニック（三洋） 昭和 日本サーモエナー 三浦 巴 前田 ダイキン 三菱電機 サンポット パナソニック（三洋） 日立 ダイキン 三菱電機 三菱重工 パナソニック（三洋） 日立 東芝キャリア ダイキン 三菱電機 三菱重工 パナソニック（三洋） ヤンマー ダイキン 東芝キャリア 日立 三菱電機 三菱重工 パナソニック（三洋） ダイキン 東芝キャリア 日立 荏原 三菱重工 川重 矢崎 日立 荏原 パナソニック（三洋） 空研 東芝キャリア 日立 三菱電機 三菱重工 パナソニック（三洋） 矢崎 ダイキン 東芝キャリア 日立 三菱電機 三菱重工 パナソニック（三洋） 昭和 木村 前田 矢崎 ダイキン 東芝キャリア 日立 三菱電機 三菱重工 パナソニック（三洋） 昭和 木村 昭和 木村 前田 フジマン ベン 本山 ヨシタケ 山武 ジョンソン パナソニック（三洋） ホーコス 空研 木村 ホーコス 森松 前田 中国金属 テラル 荏原 パナソニック（三洋） 三菱電機 東芝キャリア ダイキン リンナイ パロマ ノーリツ パーパス LIXIL TOTO 中西 パナソニック（三洋） LIXIL タニコ マルゼン ホシザキ 福島 アムズ ダイキ LIXIL テラル 前田 日立 ノンロ ミウラ テラル 金門 愛知 東洋計器 矢崎 三菱電機 テラル 空研 パナソニック（三洋） 木村 ダイキン 工技研究所 ホーコス 日販 木村 前田 三菱電機 パナソニック（三洋） ミサト アロン 積水	
※ 送配電線の近くで作業をするときは、前もって中国電力へ連絡すること。 ※ 不詳複製 ※ （一社）鳥取県設備設計事務所協会 作成		

伏野つばさ園パン工房改修工事		DESIGN BY		株式会社 白兔設計事務所		鳥取県知事 登録番号 第05-142 管理建築士（一級建築士登録番号 202791） 萩田 浩明	PROJECT NO 2024-28	DATE 2024.12	DRAWING BY 二級建築士登録番号 第4438号 加賀田 ゆかり
機械設備工事 特記仕様書（2）							DRAWING NO M-2	SCALE A2:- A3:-	

改修前

冷暖房機器表 (撤去)

記号	名称	機器仕様	電気容量(参考)	台数	備考
PAC 1	パッケージエアコン	天吊形 112型	電源: 3φ200V	1	設置場所: パン工房
		定格冷房能力: 10.0 kW	圧縮機: 1.900 kW		
		定格暖房能力: 11.2 kW	送風機(内): 0.180 kW		
		付属品: ワイヤードリモコン、転倒防止金具、 室外機架台H=300(溶融亜鉛メッキ仕上げ)、その他標準付属品共	送風機(外): 0.065×2 kW		
PAC 2	パッケージエアコン	天吊形 112型	電源: 3φ200V	1	設置場所: 包装室
		定格冷房能力: 10.0 kW	圧縮機: 1.900 kW		
		定格暖房能力: 11.2 kW	送風機(内): 0.180 kW		
		付属品: ワイヤードリモコン、転倒防止金具、 室外機架台H=300(溶融亜鉛メッキ仕上げ)、その他標準付属品共	送風機(外): 0.065×2 kW		
PAC 3	パッケージエアコン	天吊形 140型	電源: 3φ200V	1	設置場所: 和裁室
		定格冷房能力: 12.5 kW	圧縮機: 3.00 kW		
		定格暖房能力: 14.0 kW	送風機(内): 0.160 kW		
		付属品: 標準パネル、ワイヤードリモコン、転倒防止金具、防振ゴム、 室外機架台H=300(溶融亜鉛メッキ仕上げ)、その他標準付属品共	送風機(外): 0.200 kW		
PAC 4	パッケージエアコン	壁掛 56型	電源: 1φ200V	1	設置場所: 和裁室
		定格冷房能力: 5.6 kW	圧縮機: 1.50 kW		
		定格暖房能力: 6.3 kW	送風機(内): 0.053 kW		
		付属品: ワイヤードリモコン、転倒防止金具、防振ゴム、 壁掛用室外機架台(溶融亜鉛メッキ仕上げ)、その他標準付属品共 ※壁掛用架台は撤去とする。	送風機(外): 0.050 kW		
PAC 5	パッケージエアコン	壁掛 56型	電源: 1φ200V	1	設置場所: パン工房
		定格冷房能力: 5.6 kW	圧縮機: 1.50 kW		
		定格暖房能力: 6.3 kW	送風機(内): 0.040 kW		
		付属品: 室外機架台H=300(溶融亜鉛メッキ)、その他標準付属品共 ※室外機架台は撤去とする。	送風機(外): 0.040 kW		
FCU 1	ファンコイルユニット	天吊型 FCU-6	圧縮機: kW	5	設置場所: パン工房×2 包装室 和裁室×2
		定格冷房能力: 顕熱: 2.87kW 潜熱: 3.58kW	送風機(内): kW		
		定格暖房能力: 5.89kW	送風機(外): kW		
		付属品:			

特記 (撤去)

1. 図中の機器・配管は参考とし、現地確認の上施工すること。
2. 室外機撤去時は冷媒回収作業を行い、適切に処分すること。

凡例 (撤去)

記号	名称	使用場所		管種
—R—	冷媒管	一般配管	屋外、露出	冷媒用被覆銅管
		一般配管	屋内、天井内	冷媒用被覆銅管
—D—	ドレン管	地中埋設	屋外	硬質ポリ塩化ビニル管 VP
		一般配管	屋外、露出	硬質ポリ塩化ビニル管 VP
		一般配管	屋内、天井内	硬質ポリ塩化ビニル管 VP
—H—	温水送リ管	一般配管	屋内、天井内	配管用炭素鋼管(白) SGP-白
—HR—	温水還リ管	一般配管	屋内、天井内	配管用炭素鋼管(白) SGP-白
—#—	配管切断			

改修後

冷暖房機器表

記号	名称	機器仕様	電気容量(参考)	台数	備考
PAC 1	パッケージエアコン	厨房用天吊形 160型 同時ツイン	電源: 3φ200V	1	設置場所: パン工房
		定格冷房能力: 14.0 kW	圧縮機: 3.500 kW		
		定格暖房能力: 16.0 kW	送風機(内): 0.040×2 kW		
		付属品: ワイヤードリモコン、転倒防止金具、防振ゴム、 室外機架台H=300(溶融亜鉛メッキ仕上げ)、その他標準付属品共	送風機(外): 0.200 kW		
PAC 2	パッケージエアコン	天カセ4方向 80型	電源: 3φ200V	1	設置場所: 菓子工房
		定格冷房能力: 7.1 kW	圧縮機: 1.600 kW		
		定格暖房能力: 8.0 kW	送風機(内): 0.050 kW		
		付属品: 標準パネル、ワイヤードリモコン、転倒防止金具、防振ゴム、 室外機架台H=300(溶融亜鉛メッキ仕上げ)、その他標準付属品共	送風機(外): 0.060 kW		
PAC 3	パッケージエアコン	天カセ2方向形 40型	電源: 1φ200V	1	設置場所: 食パン冷却庫
		定格冷房能力: 3.6 kW	圧縮機: 0.700 kW		
		定格暖房能力: 4.0 kW	送風機(内): 0.050 kW		
		付属品: 標準パネル、ワイヤードリモコン、転倒防止金具、防振ゴム、 室外機架台H=300(溶融亜鉛メッキ仕上げ)、その他標準付属品共	送風機(外): 0.040 kW		
PAC 4	パッケージエアコン	壁掛 56型	電源: 1φ200V	1	設置場所: パン包装スペース
		定格冷房能力: 5.6 kW	圧縮機: 1.50 kW		
		定格暖房能力: 6.3 kW	送風機(内): 0.053 kW		
		付属品: ワイヤードリモコン、転倒防止金具、防振ゴム、 室外機架台H=300(溶融亜鉛メッキ仕上げ)、その他標準付属品共 ※ドレンアップメカ追加(参考: オーケー機材 K-KDU573KV)	送風機(外): 0.050 kW		
PAC 5	パッケージエアコン	壁掛 56型	電源: 1φ200V	1	設置場所: 菓子包装スペース
		定格冷房能力: 5.6 kW	圧縮機: 1.50 kW		
		定格暖房能力: 6.3 kW	送風機(内): 0.040 kW		
		付属品: ワイヤードリモコン、室外機架台H=300(溶融亜鉛メッキ)、 その他標準付属品共 ※ドレンアップメカ追加(参考: オーケー機材 K-KDU573KV)	送風機(外): 0.040 kW		

凡例

記号	名称	使用場所		管種
—R—	冷媒管	一般配管	屋外、露出	冷媒用被覆銅管 (JCDA 0009)
		一般配管	屋内、天井内	冷媒用被覆銅管 (JCDA 0009)
—D—	ドレン管	一般配管	屋内、天井内	硬質ポリ塩化ビニル管 VP (JIS K6741)
		一般配管	屋外、露出	硬質ポリ塩化ビニル管 カラーVP (JIS K6741)
-----	既設配管			
E-----	キャップ止め			
(R)	ACリモコン			ワイヤード 露出スイッチボックス2個用共

特記

1. 図中の電気容量は、機器を特定するものではなく参考値とする。
2. 冷媒管のサイズ、配線仕様は採用メーカーに合わせる。

伏野つばさ園パン工房改修工事

機械設備工事 冷暖房設備 改修前・改修後 機器表

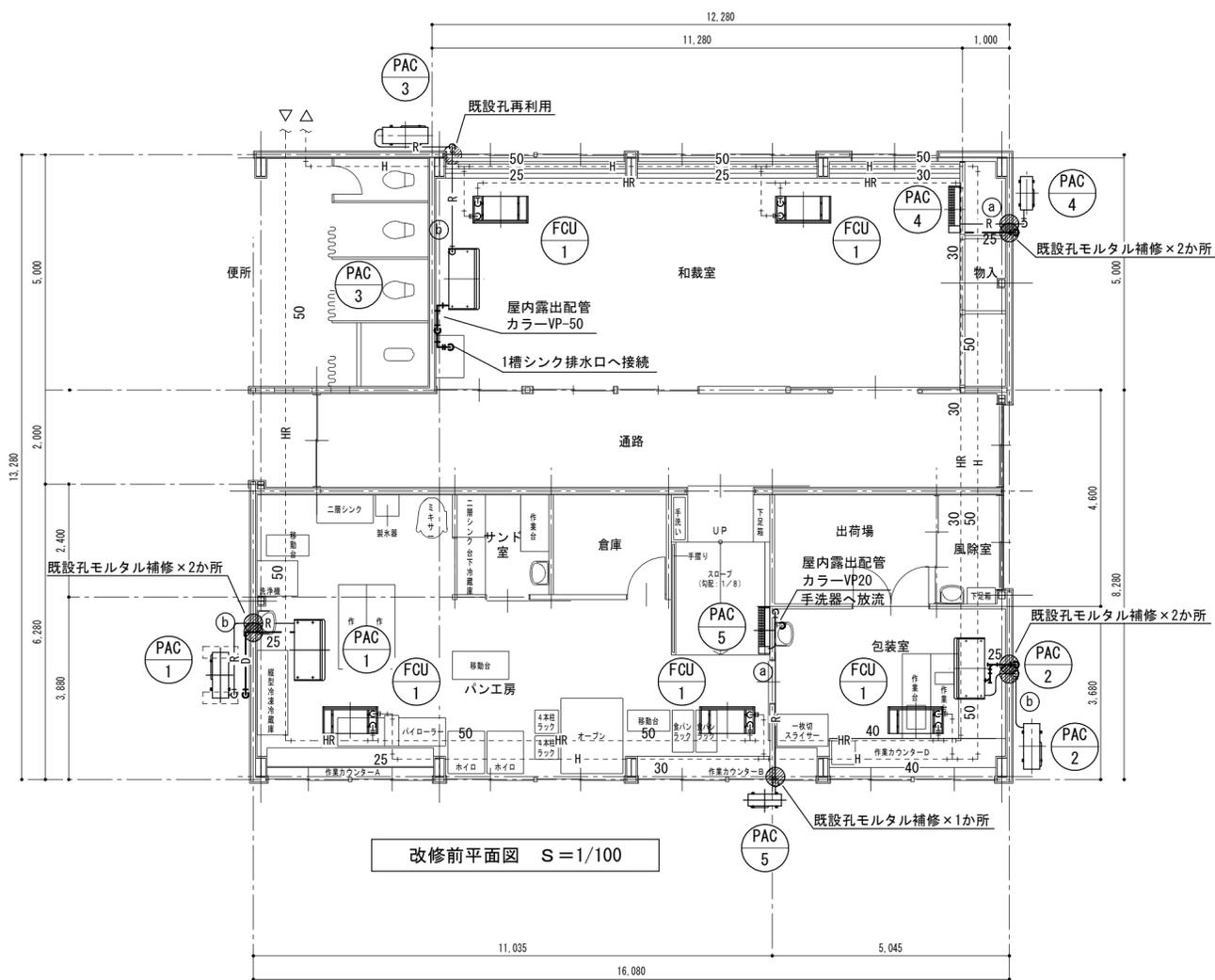
CREATED BY:

株式会社 白兔設計事務所

鳥取県知事 登録番号 第05-142
管理建築士(一級建築士登録番号 202791) 萩田 浩明

PROJECT NO	DATE	DRAWING BY
2024-28	2024.12	二級建築士登録番号 第4438号 加賀田 ゆかり
DRAWING NO	SCALE	
M-3	A2:- A3:-	

改修前



改修前平面図 S=1/100

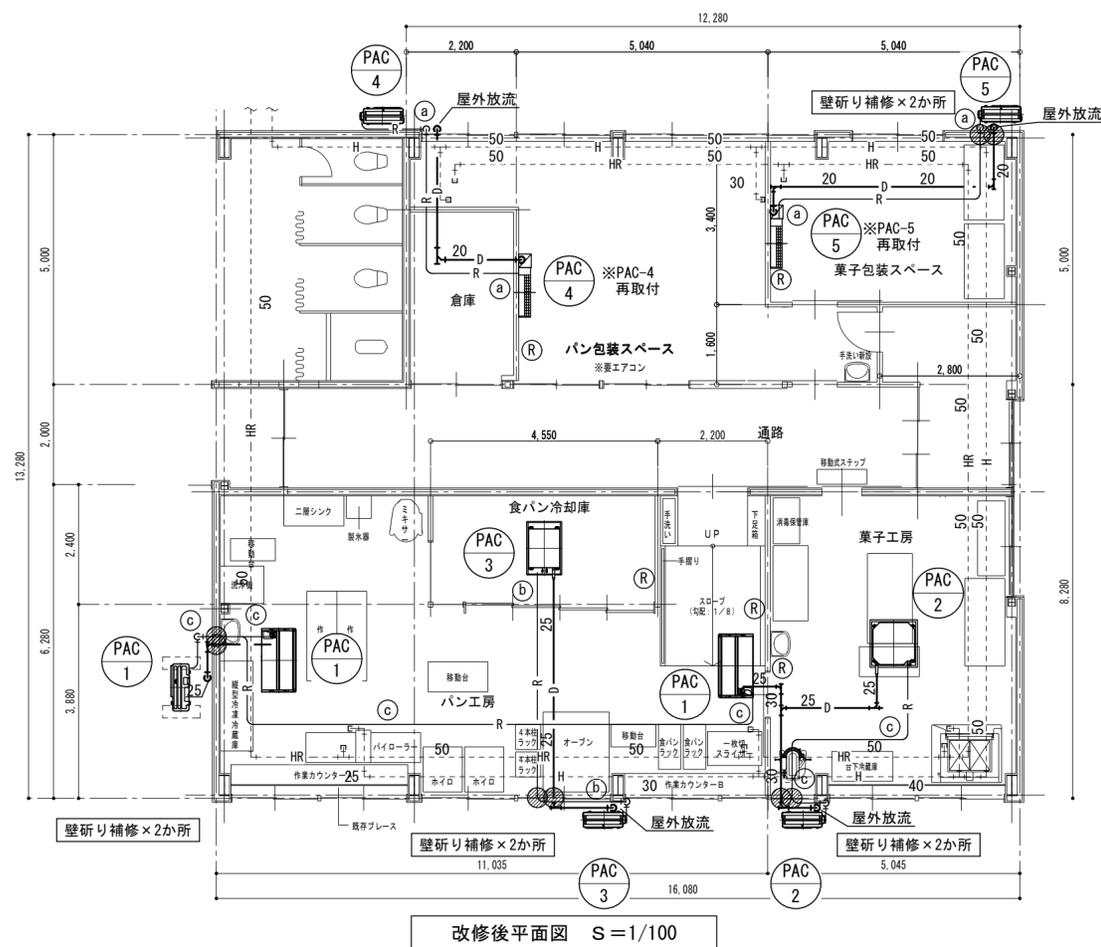
冷媒管サイズ (参考)

記号	液管	ガス管
(a)	φ6.35	φ9.52
(b)	φ9.52	φ15.88

特記

- 太線は撤去器機・配管を示す。
- 破線部は既設器機・配管を示す。
- 露出冷媒管は特記なき場合配管樹脂カバー仕上げとする。
- 既設の配管口径・管種は参考とし、現地確認の上施工すること。

改修後



改修後平面図 S=1/100

冷媒管サイズ (参考)

記号	液管	ガス管
(a)	φ6.35	φ9.52
(b)	φ6.35	φ12.70
(c)	φ9.52	φ15.88

特記

- 冷媒管のサイズ、配線仕様は採用メーカーに合わせる。
- 室内機～室外機間の渡り配線は特記なき場合、冷媒共巻きとする。
- 室内外渡り線はEM-EEF 2.0-3C E1.6とし、リモコン線はEM-MEES 0.75sq-2Cとする。
- リモコン線の露出部は、A型金属モールで保護すること。
- 露出冷媒管は配管化粧カバー仕上げとし、露出ドレン管はカラーVPとする。

伏野つばさ園パン工房改修工事

機械設備工事 冷暖房設備 改修前・改修後 平面図

CREATED BY

株式会社 白兔設計事務所

鳥取県知事 登録番号 第05-142
管理建築士(一級建築士登録番号 202791) 萩田 浩明

PROJCT. NO	DATE	DRAWING BY
2024-28	2024. 12	二級建築士登録番号 第4438号 加賀田 ゆかり
DRAWING NO	SCALE	
M-4	A2:1/100 A3:1/141	

改修前

機械器具表 (撤去)

Table with 9 columns: 記号, 名称, 仕様, 相φ, 電圧V, 容量W, 台数, 設置場所, 備考. Lists equipment to be removed, including ceiling fans and exhaust fans in various rooms like bakery and packaging.

フードリスト

Table for food exhaust calculation with columns: 室名, フード番号, フードサイズ, 面風速による換気量, 設計排気量, 備考. Includes entries for bakery and packaging rooms.

注1) フードは幕板付とし材質はSUS304 厚1.0以上(ミカゲ仕上げ)とする。

特記

(撤去)

- 1. 撤去材は適切に場外搬出および処分を行うこと。
2. 図中の電気容量は、機器を特定するものではなく参考値とする。
3. 既存機器の仕様・ダクトルートは参考とし、現地を調査・確認の上、工事を行うこと。

改修後

換気機器表

Table with 5 columns: 記号, 名称, 機器仕様, 電気容量(参考), 台数, 備考. Lists new ventilation equipment including ceiling fans and exhaust fans with detailed specifications and room locations.

※機器のスイッチ等は電気設備工事とし、24H換気用スイッチは電気設備へ支給とする。

特記

- 1. 換気ファンの電動機出力はJISC9603による。
2. 図中の電気容量は、機器を特定するものではなく参考値とする。

伏野つばさ園パン工房改修工事

機械設備工事 換気設備 改修前・改修後 機器表

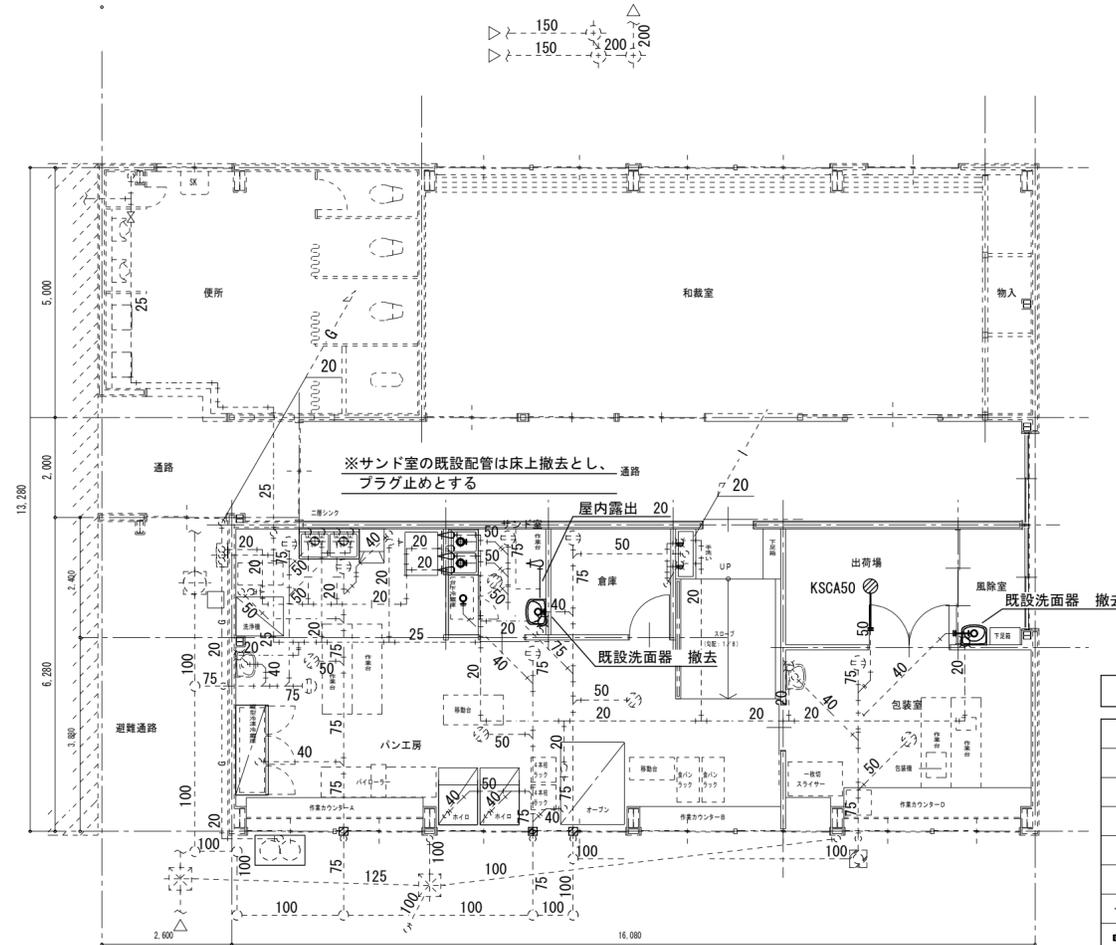
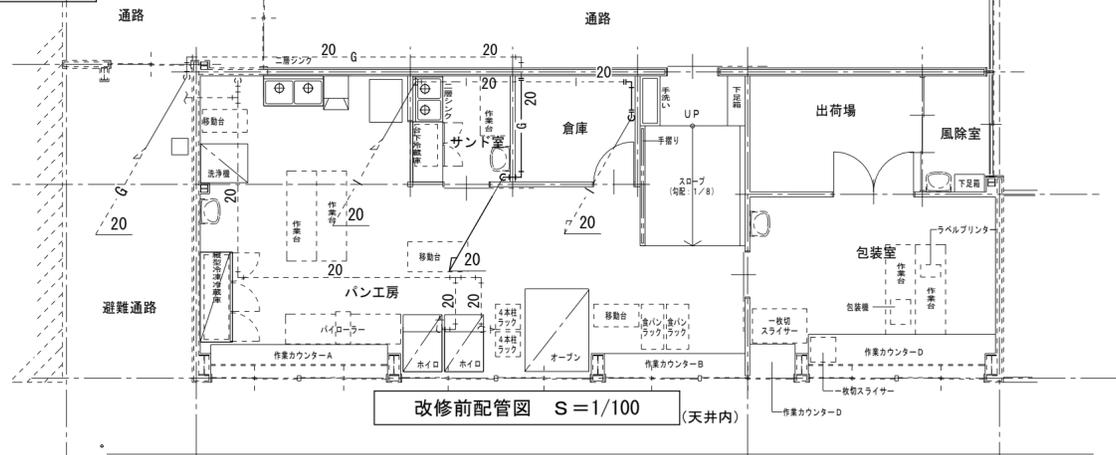
DESIGNED BY

株式会社 白兔設計事務所

鳥取県知事 登録番号 第05-142
管理建築士(一級建築士登録番号 202791) 萩田 浩明

Table with columns: PROJECT NO, DATE, DRAWING NO, SCALE, DRAWING BY. Contains project details like 2024-28, 2024.12, M-5, and drawing name.

改修前



凡例

記号	名称
□	単水栓
■	混合水栓
⊖	床上掃除口
⊙	掃兼ドレン
○	汚水栓
— —	配管接続
— —	配管キャップ止め
---	既設配管
●	機械研り補修

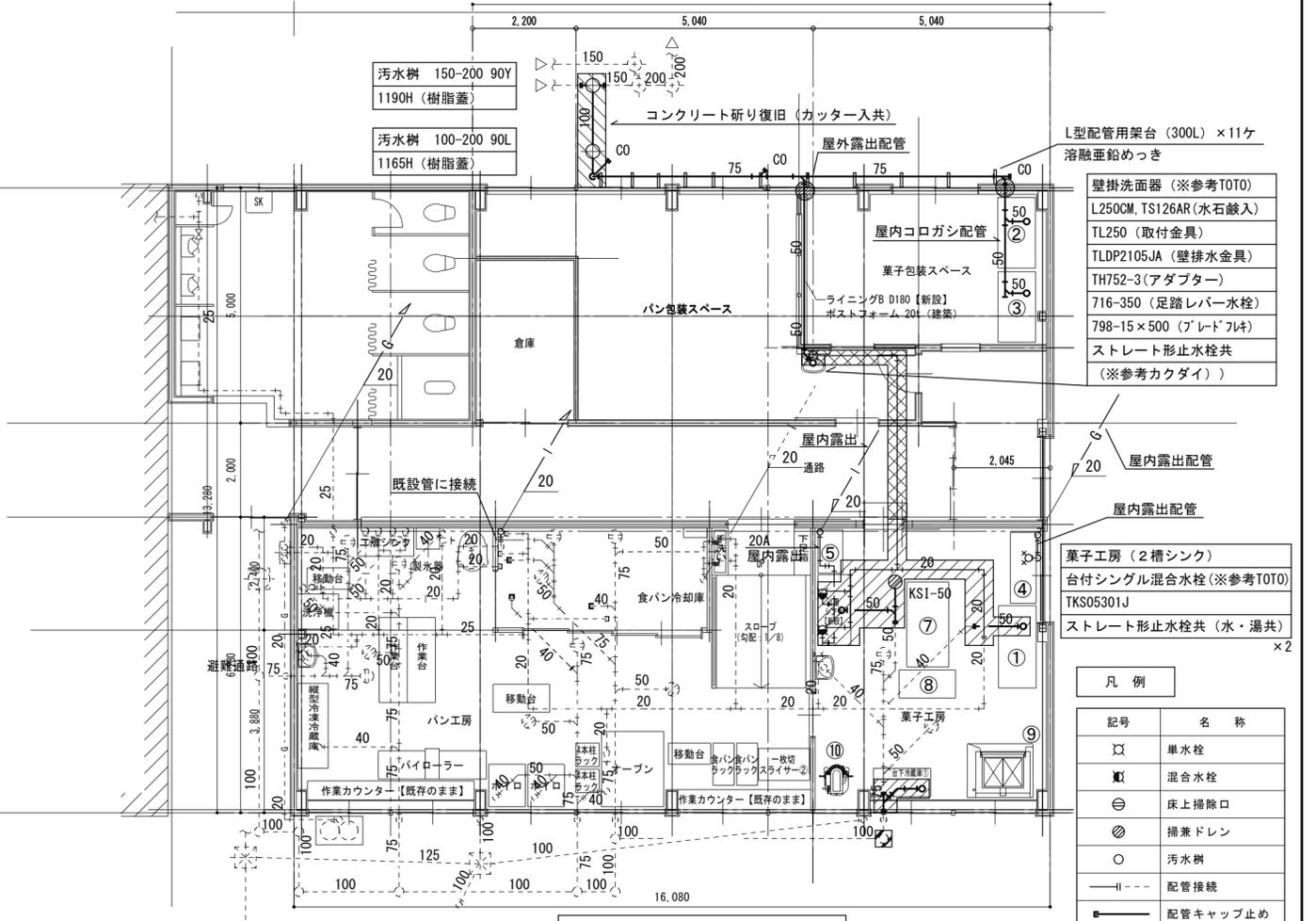
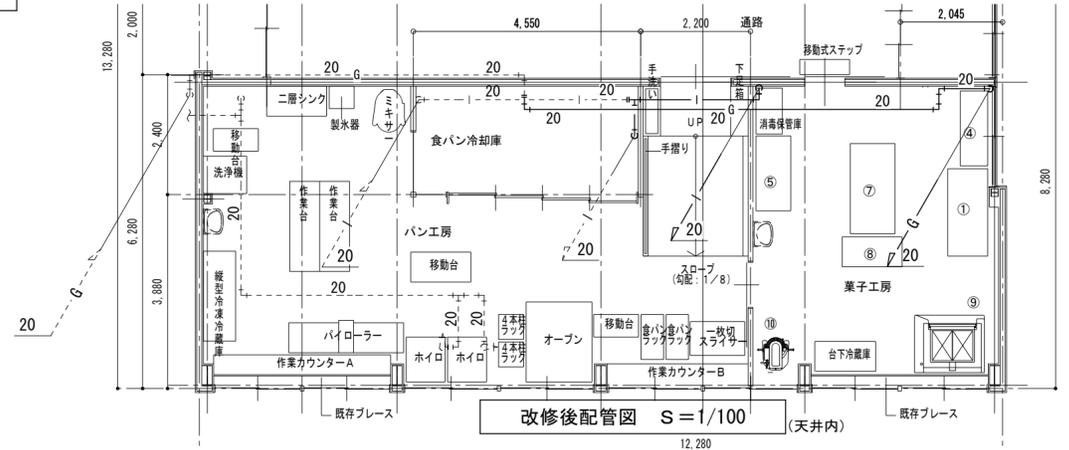
特記

1. 実線部は撤去器具・配管を示し、細点線は既設器具・配管を示す。
2. 既存機器の仕様・配管ルートは参考とし、現地を調査・確認の上、工事を行うこと。

凡例

記号	名称	使用場所	管種
---	給水管	一般配管 屋内、隠ぺい	耐衝撃硬質ポリ塩化ビニル管 H1VP
		土間配管	耐衝撃硬質ポリ塩化ビニル管 H1VP
---	排水管	地中埋設 屋外	硬質ポリ塩化ビニル管 VU
		一般配管 屋内、隠ぺい	硬質ポリ塩化ビニル管 VP
		土間配管	硬質ポリ塩化ビニル管 VP
— —	給湯管	一般配管 屋内、隠ぺい	耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 HT-VP
		一般配管 屋内、露出	耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 HT-VP
— —	ガス管	一般配管 屋内、隠ぺい	配管用炭素鋼鋼管 SGP-白
		一般配管 屋内、露出	配管用炭素鋼鋼管 SGP-白

改修後



- L型配管用架台 (300L) × 11ヶ
溶融亜鉛めっき
- 壁掛洗面器 (※参考T0T0)
 - L250CM, TS126AR (水石蝕入)
 - TL250 (取付金具)
 - TLDP2105JA (壁排水金具)
 - TH752-3 (アダプター)
 - 716-350 (足踏レバー水栓)
 - 798-15 × 500 (プレート)
 - ストレート形止水栓共 (※参考カクダイ)

- 菓子工房 (2槽シンク)
- 台付シングル混合水栓 (※参考T0T0)
- TKS05301J
- ストレート形止水栓共 (水・湯共) × 2

凡例

記号	名称
□	単水栓
■	混合水栓
⊖	床上掃除口
⊙	掃兼ドレン
○	汚水栓
— —	配管接続
— —	配管キャップ止め
---	既設配管
●	機械研り補修

特記

1. 実線部は新設器具・配管を示し、細点線は既設器具・配管を示す。
2. 斜線部はコンクリート撤去復旧 (機械設備) 範囲を示す。
3. 点線部、斜線部はコンクリート撤去復旧 (建築) 範囲を示す。
4. 給湯管の屋内露出管の保温外装は合成樹脂製カバーとする。
5. 厨房機器ドレン用配管差込部には防臭キャップを設けること。

凡例

記号	名称	使用場所	管種
---	給水管	一般配管 屋内、隠ぺい	塩ビライニング鋼管 SGP-VB (JWWA K116)
		土間配管	塩ビライニング鋼管 SGP-VD (JWWA K116)
---	排水管	地中埋設 屋外	硬質ポリ塩化ビニル管 VU (JIS K6741)
		一般配管 屋内、隠ぺい	硬質ポリ塩化ビニル管 VP (JIS K6741)
		土間配管	硬質ポリ塩化ビニル管 VP (JIS K6741)
— —	給湯管	一般配管 屋内、隠ぺい	一般配管用ステンレス鋼鋼管 SUS (JIS G3448)
		一般配管 屋内、露出	一般配管用ステンレス鋼鋼管 SUS (JIS G3448)

伏野つばさ園パン工房改修工事

機械設備工事 給排水衛生設備 改修前・改修後 平面図

CREATED BY

株式会社 白兔設計事務所

鳥取県知事 登録番号 第05-142
管理建築士 (一級建築士登録番号 202791) 萩田 浩明

PROJCT. NO	DATE	DRAWING BY
2024-28	2024. 12	二級建築士登録番号 第4438号 加賀田 ゆかり
DRAWING NO	SCALE	
M-7	A2:1/100 A3:1/141	